

平成 30 年度

教育要覧



「関門”ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～」
平成 29 年 4 月 28 日 日本遺産 認定！！

下関市教育委員会

下 関 市 民 憲 章

平成 19 年 2 月 13 日 制定

わたしたちは、美しい自然と古い歴史に恵まれたふるさと下関市を愛します。

わたしたちは、下関市民であることに誇りと責任を持って、互いに心を寄せあい、新しい理想のまちづくりをめざしてこの憲章をかかげます。

- わたしたちは **し** 自然の恵みを大切にします。
- わたしたちは **も** 燃え立つ心を大切にします。
- わたしたちは **の** 伸びゆく力を大切にします。
- わたしたちは **せ** 先人の訓えを大切にします。
- わたしたちは **き** 協働の営みを大切にします。

市の花「ハマユウ」



市の動物「クジラ」



市の鳥「ペンギン」



市の木「クスノキ」



市の花木「ツツジ」



市の花木「サクラ」



市の魚「フク」



市の虫「ホタル」

は じ め に

本市では、「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を基本理念とし、その実現に向けたまちづくりを推進しております。そのまちづくりの基礎となる教育について、本市教育委員会では「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～ ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育 ～」を教育理念とし、様々な教育課題に取り組んでいるところです。

私は、教育行政を推進するにあたり、本市教育委員会の教育理念である「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志」を追求したいと考えています。

夢に挑戦し、夢をかなえるのは、学び続けることで成長した、未来の自分です。「生き抜く」とは、社会の変化に合わせて自分を変化させていくことです。変化し成長するために必要な資質は学ぶ力です。1人1人が学ぶ力を身につけ、学び続けることが、より豊かな人生を歩むためには欠かせません。

しかし、その学ぶ力は、自分の幸せだけでなく、より豊かな社会を形成する力ではなくてはなりません。そのためには、郷土下関に対する誇りや何のために生きるかを自らに問う「志」を育てる取組が必要になります。

おりしも、道徳科が今年度から小学校で導入され、来年度には中学校で導入予定となっており、郷土に対する誇りや志を育てる教育を向上させる切り札として、道徳科導入を捉え、その充実に力を入れて参ります。

本市では全国に先駆けてすべての市立小中高等学校をコミュニティ・スクールに指定しています。この制度の充実と同時に、生涯学習や文化的環境の整備に力を入れることが、社会全体の教育への関心や学びに対する意識を高め、子どもたちの学ぶ意欲、学ぶ力を育む地域社会の創造につながると考えています。

「学ぶ力」の育成に力を入れ、「子どもを育てるのなら学びのまち下関で」と言われるような本市教育の実現に力を尽くしていく所存です。

このたび刊行いたします本書は、本市教育委員会の取組を紹介するとともに、委員会内各課所館で取り組んできた事業の成果を取りまとめた内容となっております。

皆様方におかれては、本書をご高覧いただき、本市教育行政に対してなお一層のご理解とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

下関市教育委員会
教育長 児玉 典彦

目 次

～ 本 編 ～

◆ 下関市の教育

1 下関市の概要	1
2 教育委員会	2
(1)教育長・教育委員	2
(2)教育委員会議決事項等	3
3 下関市教育理念	5
4 平成 29 年度教育施策の実施状況	6
1. 子供たち一人ひとりの生きる力を育てます	6
2. 学校の教育力を高めます	10
3. 社会全体の教育力を高めます	13
4. 生涯を通じて学ぶ機会を提供します	15

～ 資料編 ～

I 学校教育関連資料

1 下関市学校教育指導上の努力点	22
2 市立学校一覧	23
(1)幼稚園	23
(2)幼保連携型認定こども園	25
(3)小学校	27
(4)中学校	29
(5)高等学校	29
3 平成 30 年度研修計画	31
4 平成 30 年度研究事業一覧	32
5 下関市教育研究会	33
(1)平成 30 年度部会一覧	33
(2)研究主題	33
6 下関市教育祭	33
(1)概要	33
(2)講演内容	33
(3)実践発表及び実践報告	33
7 外国語指導助手派遣推進事業	34
8 特別支援教育	35
(1)特別支援学級設置状況	35
(2)通級指導教室活動実態	37
(3)平成 30 年度就学支援状況	37
(4)特別支援学級生徒の進路状況	38
(5)下関市特別支援教育支援員配置状況	38
(6)平成 30 年度に新設された特別支援学級	38

9 就学援助	38
(1)就学援助費	38
(2)特別支援教育就学奨励費	38
10 下関市奨学金制度	39
11 園・学校訪問	39
12 学校保健	40
(1)平成 29 年度健康診断における疾患・異常	40
(2)平成 29 年度負傷・疾病の種類別災害発生状況	41
(3)平成 29 年度児童・生徒の体位比較	42
13 学校給食	42
(1)学校給食実施状況	42
(2)献立の作成から実施まで	42
(3)平成 29 年度就学援助費(給食費)	43
(4)学校給食共同調理場	43
14 生徒指導	44
15 教育相談	45
(1)相談体制	45
(2)平成 29 年度教育相談受理状況	45
II 生涯学習関連資料	
1 社会教育委員	46
2 図書館	46
(1)中央図書館	46
(2)長府図書館	47
(3)彦島図書館	47
(4)菊川図書館	48
(5)豊田図書館	48
(6)豊浦図書館	48
(7)豊北図書室	48
3 公民館活動	49
(1)公民館運営審議会	49
(2)公民館設置状況	49
(3)公民館利用状況	50
4 下関市生涯学習プラザ	51
5 生涯学習センター	52
(1)豊田生涯学習センター	52
(2)豊北生涯学習センター	52
6 菊川ふれあい会館	53
7 その他社会教育施設	54

(1)豊浦ふれあいセンター	54
(2)宇賀ふれあいセンター	54
(3)小野ふれあいセンター	54
8 成人教育	55
(1)生涯学習まちづくり出前講座	55
(2)市民文化セミナー	58
(3)関門海峡・温故知新塾	58
(4)市民学級	58
(5)社会教育関係団体	60
(6)PTA地域活動	60
9 家庭教育	61
(1)地域ふれあい活動	61
(2)家庭教育学級(幼稚園・こども園)	62
(3)家庭教育学級(小学校)	63
(4)女性団体の育成	64
10 下関みらい塾事業	64
11 豊田ホテルの里ミュージアム	66
12 青少年教育	67
(1)青少年健全育成事業	67
(2)青少年非行防止対策業務	69
(3)青少年教育施設	70

Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館	72
2 歴史博物館	73
3 東行記念館	75
4 考古博物館	76
5 土井ヶ浜遺跡・ 人類学ミュージアム	79
6 烏山民俗資料館	81
7 豊北歴史民俗資料館	82
8 文化財保護	84
(1)下関市文化財保護審議会	84
(2)施設	85
(3)調査・保存修理	85
(4)市内の文化財	86
9 埋蔵文化財調査	96
(1)埋蔵文化財調査実績	96
(2)周知の埋蔵文化財包蔵地 (遺跡)件数	96
(3)愛護・普及活動	96
(4)埋蔵文化財関係印刷物	97
(5)主な埋蔵文化財発掘調査 成果概要	97
(6)史跡管理・保存活用	98

Ⅳ その他資料

1 教育委員会	99
(1)機構及び事務分掌	99
(2)職員配置	100
(3)教育費予算	101
2 教育年譜	102

表紙

「関門海峡が「関門」ノスタルジック“海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として日本遺産に認定」

平成29年4月28日、本市と北九州市が連携して取り組み、「関門」ノスタルジック“海峡～時の停車場、近代化の記憶～」と題した、関門海峡をテーマとしたストーリーが、文化庁において平成29年度の日本遺産に認定されました。山口県では初の認定となります。

◆ 下関市の教育

1 下関市の概要

(1) 下関市の概況

本州の最西端に位置し、日本海・関門海峡・瀬戸内海と三方を海に開かれた下関市は、早くから大陸文化流入の先進地として開け、各域に多くの遺跡・文化財が残されている。

気候は温暖で、緑に富んだ景観は海の青とともに美しく、風水害の少ない住み良い自然環境をもつ都市である。

特に関門海峡は、対岸の門司と「呼べば応える」といわれるほどに狭く、関門橋の架橋下ではわずか700mたらずであり、また、この海峡は幾度も歴史上の舞台となった。

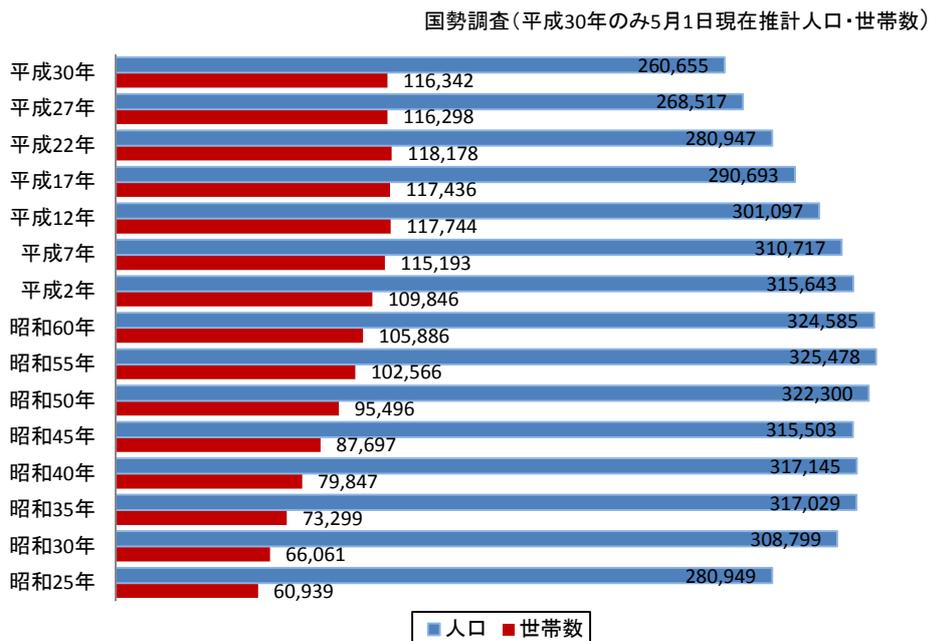
本市は、明治22年全国で初めて市制が施かれた31市の中の一つ赤間関市として誕生した。やがて山陽本線の開通、関門連絡船や関釜連絡船の就航等によって、九州はもとより大陸への門戸として再び活況を呈した。昭和20年、戦災によっていったんは市街が焼土と化したのが、まもなく復旧を遂げ関門国道トンネルや中国縦貫自動車道・関門橋の開通、関釜フェリー航路の開設や山陽新幹線の乗入れなどと、交通体系も大規模な整備がなされた。

平成17年2月には、豊浦郡4町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）との合併により新しい下関市が誕生し、平成17年10月には中核市へ移行した。

現在、下関市は、関門海峡や響灘をはじめとする豊かな自然や歴史、地場産業に蓄積された高度な技術などを活用し、中核市にふさわしい「自然と歴史と人が織りなす交流都市」を目指して躍進している。

【面積】	715.89 k m ²	(平成27年10月1日現在)
【人口】	260,655人	(平成30年5月1日現在)
【世帯】	116,342世帯	(平成30年5月1日現在)

(2) 人口・世帯数の推移



2 教育委員会

(1) 教育長



教 育 長
児 玉 典 彦

教育委員



教育長職務代理者
小 田 耕 一



委 員
藤 井 悦 子



委 員
吉 村 邦 彦



委 員
伊 東 ま さ 子

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

役 職 名	氏 名	職 業	任 期
教 育 長	児 玉 典 彦	公 務 員	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 33 年 3 月 31 日
教 育 長 職 務 代 理 者	小 田 耕 一	無 職	自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 33 年 4 月 19 日
委 員	藤 井 悦 子	歯科医院 事 務 長	自 平成 27 年 4 月 20 日 至 平成 31 年 4 月 19 日
委 員	吉 村 邦 彦	会 社 役 員	自 平成 30 年 4 月 20 日 至 平成 34 年 4 月 19 日
委 員	伊 東 ま さ 子	バイオリン 奏 者	自 平成 28 年 4 月 20 日 至 平成 32 年 4 月 19 日

(2) 教育委員会議決事項等（平成 29 年度）

開催日	会議区分	議 案 件 名
H29. 4. 24	定例会	下関市立小・中学校教科用図書の採択実施要領等の一部改正について
		平成 29 年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について
H29. 5. 29	定例会	下関市教育功労者表彰（篤行表彰）について
		下関市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則
		平成 29 年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について
		平成 30 年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について
		下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について
		下関市社会教育委員の委嘱について
		下関市文化財保護審議会委員の委嘱について
H29. 6. 29	臨時会	議案審議なし（報告事項のみ）
H29. 6. 29	定例会	平成 29 年度教育予算の補正（6 月）について
		下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について
		下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について
		教育委員会及び教育機関の職員の任免について
H29. 7. 28	定例会	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について
		教育功労者表彰（篤行表彰）について
		平成 30 年度使用下関市立小学校教科用図書の採択について
		下関市立美術館協議会委員の委嘱について
		下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について
		豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について
		豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について
H29. 8. 30	定例会	平成 29 年度教育予算の補正（9 月）について
		平成 30 年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について
		平成 30 年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
H29. 9. 28	定例会	下関市立豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の委嘱について
H29. 10. 31	定例会	教育功労者表彰について
H29. 11. 24	定例会	平成 29 年度教育予算の補正（12 月）について
		下関市立図書館基本計画の策定について
		下関市菊川ふれあい会館の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		下関市菊川青年交流館の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
H29. 12. 26	臨時会	議案審議なし（報告事項のみ）
H29. 12. 26	定例会	平成 30 年度下関市立幼稚園・小学校・中学校教職員人事異動方針について
		平成 29 年度下関市立学校教材審査会委員の委嘱について

開催日	会議区分	議 案 件 名
H30. 1. 24	定例会	平成30年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択変更について
H30. 2. 27	定例会	平成30年度教育予算について
		「下関市いじめ防止基本方針」の改定について
		「下関市立図書館基本計画」について
H30. 3. 8	臨時会	平成30年度小・中学校教職員の人事異動について
		平成30年度幼稚園教員の人事異動について
		平成30年度校務技士・学校給食調理員の人事異動について
		教育委員辞職の承認について
H30. 3. 27	定例会	下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会広報広聴事務取扱規程の一部を改正する訓令
		下関市教育委員会職員職名規程の一部を改正する訓令
		平成30年度使用下関市立小・中学校一般図書の追加採択について
		豊田ホテルの里ミュージアムの設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		下関市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則
		教育委員会及び教育機関の職員の任免について

3 下関市教育理念

夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志

～ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育～

現在、少子高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展に伴い、家庭や地域社会の変容、個人の生活スタイルの多様化など、私たちを取りまく環境は大きく変化しています。

こうした変化や複雑化・多様化する様々な課題に柔軟に対応し、誰もが未来に向けてよりよく生きることができるよう、生涯にわたって学び続けることが大切です。そして、学びから得た力を自分のためだけでなく、社会全体のために役立てようとする心情・態度を育てることが、現在求められています。

そこで、下関市教育委員会では、上記の教育理念を掲げ、教育のさらなる充実・発展に努めてまいります。

「夢への挑戦」には、自分の可能性を信じ、夢に向かってあきらめずに挑戦してほしいという願いが込められています。

夢へ挑戦するためには、「生き抜く力」が必要となります。

【生き抜く力】

- どのような状況においても、主体的に課題を探求する力
- 柔軟に物事をとらえ、的確に判断し、行動する力
- 他者を思いやり、感謝する心や感動する心などの豊かな人間性
- たくましく生きるための健康や体力
- 世界的な視野をもち、多様な集団において人間関係を形成し、協働する力

このような力を身につけて、郷土の自然や人、歴史、伝統、文化に「誇り」をもち、「志」を胸に抱いて社会で活躍する人材を育てていきたいと考えます。

「ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育」には、学校、家庭、地域において、誰もがつながり、子どもも大人も一緒になって学び続ける姿を思い描いています。生涯にわたって学び続ける大人の姿を見て、子どもたちもあこがれの念を抱き、未来への希望を強くもつことができるでしょう。

わたしたちは一人ではありません。みんなが支え合い、かかわり合うことによって、より一層輝く可能性を生み出すことができます。大人から子ども、過去から未来へのつながりを大切にして、わくわくするような未来をともに創っていきましょう！

4 平成 29 年度教育施策の実施状況

1. 子供たち一人ひとりの生きる力を育てます

(1) 確かな学力の育成

①基礎基本の定着と学力の向上

ア) 学習指導の充実 〈教育研修課〉

各学校における授業改善を推進するために、「下関スタンダード（授業の基礎・基本 vol.1・2）」「授業づくりと評価の手引き【改訂版】（県教育委員会作成）」を配付するとともに、研修会を開催し、効果的な活用の仕方等について周知を図った。併せて、指導主事による計画的な学校訪問や研修支援訪問、学校からの要請に応じた訪問等を行い、「子供の実態を踏まえた授業」「かかわり合いのある授業」「見通しと振り返りのある授業」の更なる推進を図った。若手教員（1～3年目）の指導力の向上については、若手育成 1000 日プラン（たんぼぼ作戦）の実施により、定期的に指導助言を行うとともに、特に支援を要する教員には重点的に関わるように努めた。

また、学習指導の充実に向けて、中学校区ごとに児童生徒の課題を協議する学力向上連絡協議会を開催し、学力の向上に向けた共通取組事項を定め、学習規律や家庭学習の手引きを作成する等、積極的な取組が行われている。

イ) 学力調査の活用 〈教育研修課〉

全国学力・学習状況調査及び県確認問題（4月）と山口県学力定着状況確認問題（10月）を利用して、各校の課題に応じた指導助言を行うことで、年間2回の検証・改善サイクルの確立を推進した。

また、各学校が児童生徒の実態や学校の課題に応じて必要と考える知能検査や学力検査など各種調査を実施できるよう体制を整備している。

ウ) 学力向上プランの活用 〈教育研修課〉

確かな学力の定着に向けて教員の授業力向上を目指し、第3期となる下関市学力向上プランを作成し、本市における重点事項等について周知を図るとともに、各学校において作成された学力向上プランの作成・活用について、年間2回の検証・改善のサイクルを確立し、より効果のある計画となるよう指導助言を行った。

エ) 家庭学習の充実 〈教育研修課〉

学びの習慣化に向けて指導の工夫・改善を図るため、各校において「家庭学習の手引き」の作成とその活用を奨励した。また、中学校区で開催する下関市学力向上連絡協議会において学力向上に向けた取組について協議し、小中連携の9年間の連続した学びを意識して、中学校区で共通の「家庭学習の手引き」の作成やノーメディア・デーや中学校の定期試験に合わせた小学校における学習週間の設定等を行う校区が増加している。

②時代の進展に対応した教育の推進

ア) 小中連携の促進 〈教育研修課〉

小中連携については、コミュニティ・スクールの取組がより一層進み、小・中学校の共通課題に応じ各中学校区での協議会設置や合同の研修会、熟議の開催など、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに小・中学校がめざす児童生徒像に向けて協力できる体制が更に整ってきている。

また、小・中学校間における「乗り入れ授業」や「出前授業」の取組を進めている学校が増えてきており、小・中学校における接続期のなめらかな連携及び教員の小中連携にもつながっている。小中連携に関する研修会を実施し、小中連携の効果的な進め方等について学ぶ機会を提供した。

さらに、県教育委員会の小中連携に関わる指定事業を受け、特に授業力向上の面での連携を深め、研修会等で他の校区にもその成果を広めた。

イ) へき地・複式教育の充実 〈教育研修課〉

へき地及び複式学級を有する学校（11校）の学校運営や学習指導等についての改善を図るため、指定校研究協議会を豊田中小学校で開催し、公開授業及び部会ごとの研究協議、研究の取組紹介等を行った。学習の個別化、活躍の場の保障等といった、一人ひとりを大切にしたい指導が小規模校の強みであることを再認識するとともに、地域の特色を生かした教育の推進について研修を行い、理解を深めた。

ウ) 情報教育の推進 〈教育研修課／学校支援課〉

学校におけるICTの活用推進及び更なる充実を図るため、ICT推進委員会を開催した。併せて、ICT活用推進研修会を開催して、校務の電子化や情報発信の仕方、デジタル教材等の活用及び情報モラルについて講義や演習を行った。

また、タブレット端末の導入に伴い、その管理や基礎的な使用方法に関する研修会を行うとともに、タブレット端末の基本的な操作や活用例を掲載した事例集を作成するなど小・中学校におけるICT活用のための環境整備等を行った。

さらに、校務の電子化に向けて、小学校指導要録の電子化ソフトをICT推進委員会において作成し、校務の効率化を図ることができるよう環境整備を行った。

エ) 外国語教育の充実 〈教育研修課〉

外国語指導助手（ALT）を下関商業高等学校及び市立認定こども園、幼稚園、小・中学校に派遣し、外国語教育の充実に努めるとともに、ALTとの交流を通して国際交流及び相互理解の促進を図った。高等学校と中学校での英語科授業への派遣と、小学校外国語活動での補助として、14人のALTを延べ2,400日程度派遣した。

小学校外国語活動に係る研修会では、指導経験に応じたプログラムを用意し、模擬授業等を通じて、指導力と実践力の向上を図った。また、2日間のイングリッシュ・キャンプでは、ALTとの様々なコミュニケーション活動を通して、英語に対する興味・関心を高めるとともに、国際理解を深めることができた。

新たに平成29年度から始まった派遣研修（釜山グローバルビレッジ）では、英語による研修を通して、英語教育指導力の向上を図るとともに、中核となって英語教育を牽引していく人材の育成を図っている。

また、各学校における外国語活動が円滑に進むよう、年間計画や時間割の作成例などについて情報提供を行った。

③ キャリア教育の推進

ア) 発達段階に応じたキャリア教育の推進 〈教育研修課〉

平成29年度は、小中連携・一貫教育研修会においてキャリア教育を柱とした小中連携の在り方について、中学校区ごとに協議等を行った。参加者は、演習の中で、持参したキャリア教育の全体計画・年間指導計画をもとに、各中学校区での取組や今後の方向性について協議した。

昨年度は、市産業立地・就業支援課が実施した「未来創造jobフェア」に市内中学生が参加し、市内の企業について学ぶなど下関市にふさわしいキャリア教育を推進することができた。

④ ビジネス教育の推進

ア) ビジネス教育の推進 〈下関商業高等学校〉

ビジネス社会に適応できる人材を育てるため、ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得、保護者・地域との連携、学校行事・部活動の活性化を図った。特に、簿記等に関しては、税理士試験（財務諸表論）に2名、日本商工会議所簿記検定1級に2名、全国経理教育協会主催簿記能力検定上級に1名の生徒が合格し、これに続く可能性のある生徒もおり、高大連携授業の結果が出せる体制が整ってきた。

イ) 情報処理教育の充実 〈下関商業高等学校〉

生徒が下関商業高等学校コンピュータシステムを利用できるように、パソコン等電算機器及び校内ネットワーク貸借を行った。

(2) 豊かな心の育成

① 思いやりのある豊かな心を育む教育の推進

ア) 道徳教育の充実 〈教育研修課〉

「特別の教科 道徳」の全面実施に向けて、小学校においては、学校の道徳教育の目標や重点内容項目の明確化、各学校の実情に合った道徳教育の全体計画及び別葉の作成に取り組んだ。中学校においては、「私たちの道徳」の積極的な活用と年間計画への位置付けを呼びかけるだけでなく、県教育委員会が作成した指導資料の紹介をすることで、道徳教育推進教師の役割や特色ある道徳教育の実践事例・取組の啓発を行った。

また、県教育委員会から「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト（平成28・29年度指定：西山小学校、平成29・30年度指定：東部中学校）の指定を受けるとともに、道徳教育研修会の開催等を

通して、授業の質の向上に努めた。

イ) 人権教育の充実 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「山口県人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図るとともに、初任者研修、フォローアップ(2・3年次)研修、6年次研修、中堅教諭等資質向上研修など、全ての義務研修において人権教育に関する研修講座を実施し、計画的に人権教育の研修を行った。

ウ) いのちの教育の充実 〈教育研修課〉

「下関市いのちの日」における「命の尊厳」について考える取組の充実として、外部講師を招いた講演会を実施するなど、保護者、地域関係機関と連携した取組を進め、自他の生命を尊重する心や思いやりの心を育む取組の充実を図った。「特別の教科 道徳」等との関連を図りながら、計画的、継続的に実施することが必要である。

エ) 特別活動の充実 〈教育研修課〉

特別活動の推進により、子供たちがより良い生活や望ましい人間関係を築くことを目指している。

各小・中学校においては、9年間を通じた自然体験活動やボランティア活動等、体験活動の充実やAFPY等、人間関係づくりのプログラムを計画的に実施することで特別活動の充実を図っている。

※AFPY…他者とかがわり合う活動を通して個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方や行動のあり方を学び合う山口県独自の体験学習法

オ) 読書活動の充実 〈教育研修課〉

各学校においては、朝読書や図書ボランティア等による読み聞かせなど、家庭や地域と連携しながら継続した読書活動を進めている。

また、平成27年度から市内に5人の学校司書を配置し、教員との連携による学校図書館のセンター機能(読書・学習・情報)の向上を図っている。平成28・29年度は、勤務形態を配置校と兼務校にすることにより、勤務する学校数を増やし、取組の拡大を図った。また、学校司書を対象とした研修会を年間3回行い、学校司書の資質向上を図った。学校司書を配置し、3年が経過したことから、これまでの成果と課題を検証し、今後の取組につなげていきたい。

カ) 姉妹校交流 〈下関商業高等学校〉

下関商業高等学校から生徒4人及び教職員2人が韓国の開成高等学校を訪問し、交流式典、親善交歓会等の相互交流を行い、両国の善隣友好を担える人材の育成を行った。

また、鹿児島商業高等学校から生徒35人及び教職員8人が下関商業高等学校を訪問し、交流会、生徒会交流等を行った。

②ふるさと学習の推進

ア) ふるさと学習に対する支援 〈教育研修課〉

下関歴史マップ(2,400部)を作成し、小学校6年生児童全員に配付した。併せて、夏季休業中の自由課題として「大すき ふるさと下関 歴史マップ」の作品募集を行い、平成28年度の25校463点から応募数が増加し、27校781点の応募があった。維新の部・歴史の部の市長賞、教育長賞、優秀賞、優良賞の計30人を下関市教育センターで表彰(10月10日)し、入賞作品は、ゆめシティ、川棚公民館、菊川ふれあい会館、豊田ホテルの里ミュージアム、豊北歴史民俗資料館の5会場にて展示を行うなど、ふるさと学習の充実を図った。

③つながりを基盤とした青少年健全育成の推進

ア) 生徒指導推進体制の充実 〈学校教育課〉

小・中学校におけるいじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題の未然防止、早期発見・対応の充実とともに、登下校時を含む児童生徒の安全確保、学校教育に対する保護者からの指摘等に対して、生徒指導推進室が積極的に学校を訪問し、指導・支援の充実を図った。

イ) 青少年補導センターにおける補導、相談の実施 〈生涯学習課〉

青少年補導センター 青少年補導委員 208人

・街頭補導回数	214回	・街頭補導従事者数	391人
・合同補導回数	50回	・合同補導従事者数	483人

- ・校区補導回数 1,278回 ・校区補導従事者数 7,652人
- ・補導件数 2,394件 ・ヤングテレホン 相談件数 533件

④不登校児童・生徒の適応指導の充実

ア) 不登校児童生徒への個別支援の実施 〈学校教育課〉

不登校児童生徒に対して、教育支援教室「かんせい」における体験活動や学習支援、東亜大学大学院附属臨床心理相談研究センターと連携しての発達支援、「教育相談室」における相談活動等を実施した。

また、学校だけでは対応が困難なケースは「カウンセリングアドバイザー*」や「スクールソーシャルワーカー*」を派遣し、状況の改善に努めた。

※「カウンセリングアドバイザー」緊急に市教育委員会から派遣する臨床心理士

※「スクールソーシャルワーカー」社会福祉士及び精神保健福祉士の資格をもった福祉の専門家

イ) ふれあいDAYキャンプの実施 〈学校教育課〉

夏季休業中に、自然体験・社会体験を通して集団や社会に適応する力を養うために「ふれあいDAYキャンプ」を実施した。川遊びや野外炊事、凧づくりの活動は、仲間づくりや異年齢の交流を通じて社会性や協調性、思いやりの心を育てる貴重な場となった。

(3) 健やかな体の育成

①体力の向上

ア) 体力向上プログラムの充実 〈教育研修課〉

全ての小・中学校において体力向上プログラムを作成し、体育科及び保健体育科の授業改善とともに、「柔軟性の向上に向けた取組」、「1校1取組」など、児童生徒や学校の実態に応じた継続的な取組を行った。

イ) スポーツ大会の運営・支援 〈教育研修課〉

小・中学校体育連盟主催の事業に対して支援を行うことにより、児童生徒の体力・競技力の向上を図った。

ウ) 選手派遣の支援 〈教育研修課〉

小・中学校体育連盟への補助事業を通して選手派遣を支援することにより、保護者の負担を軽減し、多くの選手が、より多くの大会に参加しやすい環境をつくるよう努めた。

②健康教育の推進

ア) 健康教育に関する研修会・調査研究の実施 〈教育研修課〉

各学校の健康教育の中核を担う、保健体育科担当教諭及び栄養教諭等を対象とした研修会を開催した。

イ) 望ましい生活習慣形成の啓発 〈教育研修課〉

「早寝、早起き、朝ごはん」など、望ましい生活習慣を形成するために、各校での生活アンケートの活用など、校長会や校内研修会等において指導助言を行った。

全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙における生活習慣に関する結果にも着目し、今後の取組について検討する必要がある。

③食育の推進

ア) 地場産給食の推進 〈学校保健給食課〉

地場産食材を使用した学校給食を通じて、地元の農林水産物への理解や郷土愛の醸成に努めた。

- ・地場産食材の地域品目別使用割合

	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度
県内産品	61 %	59 %	59 %	55 %	50 %
市内産品	28 %	29 %	29 %	30 %	27 %

イ) 食育推進ボランティアの活用 〈学校保健給食課〉

小・中学校へ食育ボランティアを派遣し、食育教室を実施した（8回）。

併せて市内の生産者等に対して、食育ボランティアへの参加協力を行った。

ウ) 食に関する指導の充実 〈教育研修課〉

市内全小・中学校において、栄養教諭、学校栄養職員による児童生徒の食生活の実態に沿った食に関する授業実践や食に関する指導を行った。また、食に関する指導の学習効果を上げるために、栄養教諭や学校栄養職員の資質向上、授業力向上につながる研修を進めた。

さらに、食に関する指導研修会（栄養教諭配置校訪問）では、授業研究や参加者のグループ協議などを通して、参加者の学校の実態に応じた食育推進の取組についての支援を行った。

エ) 学校給食の充実 〈学校保健給食課〉

栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の保持増進、体位の向上を図っている。地元の農業や食文化への理解を深めるため、地元の食材を取り入れることで、学校給食の目標の1つである食育の推進を図った。

(4) 子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進

①特別支援教育の推進

ア) 下関市教育支援委員会の開催 〈学校教育課〉

障害のある子供の状況を正しく理解し、一人ひとりの可能性が最大限に伸長される適切な就学先や必要な教育支援について審議するため、下関市教育支援委員会^(*)を開催した。前年度と比較して審議対象児童生徒数は、ほぼ横ばいの状態であるが、教育支援委員会前に実施する就学相談会を含め、児童生徒及び保護者への丁寧な聞き取りや、一人ひとりの状況に即した審議を行うことができた。

〔(*)平成27年4月1日に下関市就学指導委員会から改称〕

イ) 小・中学校への特別支援教育支援員の配置 〈学校教育課〉

特別な支援を必要とする子供が就学する小・中学校において、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な支援・介助を行う特別支援教育支援員を配置した。

年度当初の配置後も、学校との情報共有を密に行いながら児童生徒の状況把握に努め、支援の必要性の高い学校へ順次追加配置を行う等、きめ細かな支援体制を整えた。

ウ) 特別支援学級就学に対する助成 〈学校教育課〉

児童生徒の特別支援学級への就学について、就学に関しての特別な事情を配慮し、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の推進を行った。

エ) 特別支援学級の設備整備 〈学校支援課〉

小・中学校の特別支援学級における教育活動に必要な教材や備品などの整備を行った。

2. 学校の教育力を高めます

(1) 学校の組織力の向上

①組織力を高める取組

ア) 評価を生かした組織的な取組 〈学校教育課／教育研修課〉

市内各小・中学校が、学校評価、教職員評価、授業評価及び各調査結果を通して学校の状況を明らかにするとともに、課題を共有しながら、学校運営協議会委員等、学校関係者からの意見・要望等を取り入れ、実効性のある重点目標を設定した。

また、学校通信やホームページ、保護者会等を通して学校評価の結果を公表することで、学校の課題を家庭、地域と共有し、保護者や地域の意見を反映させる取組を進めた。

②教職員の適切な配置

ア) 教職員の適正な人事管理 〈学校教育課〉

各学校において、教職員一人ひとりがそれぞれのモチベーションやキャリアステージに応じた資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、特色ある学校づくり、確かな学力の育成や体力の向上、生徒指導の充実、キャリア教育の推進等の諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、全市的な視野に立って、人事異動を行った。

イ) 非常勤講師の活用 〈学校教育課〉

山口県教育委員会と連携し、非常勤講師の配置によって、学校の実情に応じた、よりきめ細かな指導が行える体制を整えた。

③校種間の連携の推進

ア) なめらかな接続のための体制づくり 〈教育研修課〉

幼小連携を図るための研修会を開催し、幼児教育長期研修生による報告や校種を越えた情報交換や意見交流を行った。

同じ中学校区の小学校と各園が、各自持参したアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを参考に、各地区での幼小連携カリキュラムを作成したことで、より連携が深まってきている。

小中連携の取組としては、小・中学校の共通課題に応じて各中学校区で協議会を設置したり、小・中学校合同の研修会を開催したりするなど、小・中学校教職員の相互理解が増し、互いに協力して児童生徒を育てていこうとする意識が高まるとともに協力できる体制が更に整ってきている。

また、小中一貫教育についての研究を行うため、名陵中学校区を平成 28・29 年度の 2 年間指定校区とし、取組を進めてきた。

中高連携については、下関地域中高連携教育推進協議会を年 3 回開催し、県立高等学校の再編整備等に関する情報を共有することができた。

イ) 小中一貫教育の推進 〈教育研修課〉

小中一貫教育の推進のため、平成 27 年度に「下関市新しい学校づくり推進委員会小中一貫教育部会」を立ち上げ、下関市の実情に合った小中一貫教育の研究を開始している。特別委員として学識経験者を講師に迎え、継続的な指導を受けるとともに、先進地視察等を行った。また、平成 28 年度より 2 年間、「小中一貫教育研究推進校」として、名陵中学校区を指定し、地域の特色を生かした名陵中学校区にふさわしい小中一貫教育のあり方について研究に取り組んだ。特に平成 29 年度は、全教科やふるさと学習における小中一貫カリキュラムを作成し、9 年間を通して児童生徒の成長へつなげる取組が進んでいる。

また、平成 28 年度から小中連携・一貫教育に関する中核市研修を新規で実施し、教員への研修機会を確保している。

平成 30 年度からは、長成中学校区を研究推進校として、一小学校一中学校におけるよりよい小中一貫教育のあり方について研究していく。

(2) 教職員の指導力の向上

①指導力を高める研修の実施

ア) 教職員の経験に応じた研修の実施 〈教育研修課〉

幼稚園、小・中学校、高等学校教職員の資質向上を図るため、初任者、2 年次、3 年次、6 年次及び 10 年経験者を対象に、職務に関する専門的知識と実践上の課題について、それぞれの経験に応じた研修を実施した。研修においては、実際の授業を参観したり、模擬授業を行ったりするなど、実践的な研修になるよう運営の工夫を行っている。

今後は、教育公務員特例法（昭和 24 年法律第 1 号）等の一部改正に基づき教員の研修体制の見直し等を慎重に行い、これからの学校教育を担う教員の資質の向上を目指していく必要がある。

イ) 教職員の専門性を高める研修の実施 〈教育研修課〉

教職員の資質向上を図り、より質の高い教育を提供するため、認定こども園、幼稚園・小・中・高等学校教職員に対して、中核市として市独自に教職員研修講座を全 56 講座開催した。

また、下関市教育センター供用開始に併せ研修内容を整理し、学校図書館及び小中連携・一貫教育に関する研修会等、教職員のニーズや学校における様々な教育問題に対応した研修会を行っており、研修後のアンケートからは、受講者の満足度がいつも高い結果となっている。

さらに、自主研修会「わくわく教師塾」や他校交流研修事業を引き続き行い、教職員が自ら学び合う文化の創造と学び続ける教職員を目指している。

ウ) 下関市教育祭の実施 〈教育研修課〉

平成 29 年 8 月 23 日、海峡メッセ下関において、1,561 人の教職員及び P T A 関係者の参加を得て開催した。主な内容としては、実践発表「感動のある学校づくり（文洋中）」、「地域と連携した極小規模校のチャレンジ～コミュニティ・スクールを生かした実践～（栗野小）」、研修報告「第 1 回釜山グローバル・ビレッジ派遣研修報告」、教育講演「歴史が教えてくれる日本人の生き方」及び教職員研究物の展示を行った。

また、教育長メッセージとして、年に 1 回、教育長の思いを市内の全教職員に直接伝えることができる場を設定し、教育に対する思いを一つにする機会となっている。

今後は、業務改善の点から、学校への負担がかからない運営をしていく必要がある。

[趣旨] 教育関係者が本市教育に関与する者としての自覚を深め、教育意欲の高揚を図るとともに、本市教育の現状と課題を認識し、これからの進むべき方向性を確認することにより、教育理念である「夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志 ～ともに学び ともに育み 未来(あす)を創る 下関の教育～」の実現に真に努めること。

エ) 指導主事等の派遣による校内研修などへの支援体制の充実 〈教育研修課〉

全ての市立認定こども園・幼稚園、小・中学校に、年1回研修支援訪問を行うとともに、各園・学校からの要請に応じて、その都度校内研修等に指導主事等を派遣し、教職員の指導力向上のための支援を行った。また、担当園・学校や専門分野を決めて日常的に指導主事等が園・学校訪問を行うことにより、学力向上や生徒指導、特別支援教育、新学習指導要領に関する情報提供等、園・学校の課題に応じたきめ細かな支援に努めた。園・学校と教育委員会が連携を図りながら、研修の成果や課題、今後の方向性を確認する場となっている。

さらに、県教育委員会の園・学校訪問にも同行し、県市が協力して、学校の研修の充実、教員の授業力向上に向けて支援を行った。

②教育センターの整備・運営

ア) 教育センターの整備・運営 〈教育研修課／教育政策課〉

平成28年1月29日に整備工事が完成し、平成28年3月22日から上田中町庁舎で執務していた教育委員会事務局の一部が移転し教育センターの運用を開始し、3年目を迎えている。

教育センター研修室等全体の平成29年度の稼働率は約71.2パーセント、利用延べ人数は40,152人となった。

各種研修・会議等が実施されており、教職員の研修拠点として有効活用されている。

(3) 教育環境の整備

①市立学校の適正規模・適正配置の推進

ア) 市立小・中学校の適正規模・適正配置の推進 〈教育政策課〉

第2期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画(計画期間：平成27年度～平成31年度)に基づき学校統合に向けた合意形成を進めるため、「学校統合に関する意見交換会」を17回開催した。

本計画に示す統合対象校のうち、豊北地区の神玉小学校(児童数31人)及び神田小学校(児童数16人)において、平成29年12月に保護者、地域住民、関係団体の代表の方などによる「学校統合検討協議会」が設置され、協議の結果、平成30年1月に「平成31年4月に現在の滝部小学校との統合を目標とする」ことが確認され、翌月に各検討協議会より「学校統合に関する要望書」が市長及び教育長へ提出された。

適正規模・適正配置事業を積極的かつ効果的に進めるため、教育に関する専門的知識や経験を有する職員(適正規模アドバイザー)を、引き続き配置することで、学校との緊密な連携や保護者・地域住民に対するわかりやすく説得力のある説明等を行い、一層の事業推進を図った。

②私学教育の振興

ア) 私学に対する助成 〈学校教育課／教育政策課〉

私立学校等の特色ある教育事業を促進し、本市の学校教育の発展を図るため、私立中学校、私立高等学校及び私立専修学校に対し、事業の実施等に係る経費の一部を助成した。

③学校給食施設の管理運営

ア) 学校給食施設の衛生管理 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、学校給食従事者の研修や給食施設の改善を図り、衛生管理の徹底に努めた。

イ) 給食施設の管理運営 〈学校保健給食課〉

子供たちに安全・安心で栄養に配慮した学校給食を提供するために、^{ちゅう}厨房機器の更新を行うとともに、給食施設の維持管理や食材調達の円滑化に努めた。

④安全な施設、教材教具等の整備**ア) 学校施設の耐震化 〈学校支援課〉**

「下関市立小・中学校耐震化計画」に基づいて、計画的かつ効率的に学校施設の耐震化を行い一定のめどが立った。

イ) 学校施設の長寿命化 〈学校支援課〉

小・中学校施設の9割が建築後25年を経過している状況において、小・中学校施設の老朽化対策を効率的・効果的に進めるため、従来の建替ではなく、長寿命化改修によりコストを抑えながら学校施設の安全面や機能の改善を図り、児童生徒に安全で機能的な教室環境を提供する。

老朽化により劣化の進行した学校施設の構造体（柱、梁、壁、床等）の耐久性と建物の安全性を向上させながら、内外装を改修し、機能や性能を現在の学校が求められる水準まで引き上げる小・中学校長寿命化事業に取り組んでおり、長寿命化事業対象校舎の基礎調査を実施中である。

ウ) 学校施設の整備 〈学校支援課〉

小・中学校の安全で安心な教育環境を維持するため学校施設の修繕、改修工事等を実施した。

エ) 教材教具の整備 〈学校支援課〉

小・中学校における教材教具の整備を図った。

オ) 学校図書の実施 〈学校支援課〉

小・中学校の図書室における学校図書の充実を図った。

⑤就学に対する支援**ア) 奨学金の貸付 〈学校教育課〉**

有用な人材育成のため、向学心があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸し付け、支援した。

奨学金の貸付けを必要とする生徒及びその保護者への周知に努めた結果、平成30年度奨学金の申請者（平成29年度選考）は、昨年度の2人から7人に増加した。

イ) 学用品費等の援助 〈学校教育課〉

義務教育について、経済的理由によって就学が困難な市立学校（県立中等教育学校を含む。）の児童生徒の保護者へ就学援助を行った。

ウ) 遠距離通学に対する援助 〈学校教育課〉

片道の通学距離が小学校は4キロメートル以上、中学校は6キロメートル以上の児童生徒を対象に、通学費の援助を行った。

エ) スクールバスの運行 〈学校教育課〉

豊田、豊浦、豊北地区において、スクールバスの運行を実施した。

3. 社会全体の教育力を高めます**(1) 家庭の教育力の向上****①家庭への学習支援****ア) 家庭の教育力を高めるための講座の実施 〈生涯学習課〉**

家庭教育の充実を図るため、こども園、幼稚園及び小学校において保護者を対象に家庭教育学級を開催した。また、昨年度に引き続き平成29年度も、「大人の学び塾」と題して、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

②家庭教育を支える組織の育成**ア) 社会教育団体の育成 〈生涯学習課〉**

下関市PTA連合会及び下関市連合婦人会に補助金を交付した。

(2) 地域の教育力の向上**①青少年健全育成の体制づくり****ア) 青少年健全育成のための体制整備と啓発 〈生涯学習課〉**

青少年健全育成のための市民運動を展開し、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、教育・啓発活動を行った。

イ) 青少年団体への支援 〈生涯学習課〉

青少年団体の育成を図るため、補助金を交付した。

②青少年の交流活動の場づくり

ア) 多様な体験活動の実施 〈生涯学習課〉

青少年の自立心と協調性を育成する目的で、「チャレンジ・アドベンチャー」などの野外活動を実施した。

イ) 青少年交流施設の活用の促進 〈生涯学習課〉

青年の家において、青少年の規律ある共同生活と研修を通じて交流を深め、人間関係を育て、学校・地域・職場の活動に貢献できる青少年の育成を図った。

また、菊川青年交流館において、青年の交流を通じた自主的活動（青年団活動）の振興促進を図った。

③地域活動を支える指導者の育成

ア) 指導者に対する研修の実施 〈生涯学習課〉

子供の指導者として活動している人及び指導者になろうとする人を対象に、身近な救急法や社会教育の推進とまちづくりについて学び、指導者の資質の向上を図った。

(3) 学校・家庭・地域の連携

①地域とともにある学校づくりの推進

ア) 学校における生徒指導に対する地域連携の強化 〈学校教育課〉

児童生徒の問題行動等に係る実態を把握し、保護者や地域、児童相談所や警察等の関係機関との連絡調整も踏まえ、学校とともに対処策を多角的に検討するなど適切な支援に努めている。

取組の一つとして学校・家庭等に「スクールソーシャルワーカー」を派遣し、生徒指導上の課題解決に向けて対応した。

イ) コミュニティ・スクールの推進 〈教育研修課〉

平成 24 年度に、全ての小・中学校に下関市コミュニティ・スクール運営協議会が設置され、下関市コミュニティ・スクールとして指定し、平成 26 年 7 月には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 47 条の 6 の規定に基づき、下関市学校運営協議会規則（平成 26 年教育委員会規則第 8 号）を定め、全ての学校が法にのっとったコミュニティ・スクールへと移行した。

また、地域と学校をつなぐコーディネーターの全小・中学校への配置が平成 27 年 6 月に完了し、研修会等を行った。また、中学校区ごとの研修会や学校運営協議会委員を対象とする研修会を開催し、コミュニティ・スクールへの周知を図った。

地域において学校運営協議会等を活用した熟議の実施等の支援を行い、学校や地域の特色を生かした地域とともにある学校づくりを引き続き目指す。

平成 29 年度の各学校の取組をまとめた「下関市立小・中・高等学校コミュニティ・スクール実践事例集」を作成し、学校に配付した。昨年度は、全国各地から本市のコミュニティ・スクールへの視察が 17 件あるなど、全国的に注目されている。

ウ) 学校運営協議会の活性化 〈教育研修課〉

学校や地域の「願い」を実現するために、全小・中学校が家庭・地域と一体となり、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を目指して学校運営協議会を実施している。

また、小・中学校が合同で学校運営協議会を実施するなど、小中連携も進んでいる。さらには、学校運営協議会委員を対象に、講演会や実践発表を行った。

エ) 学校応援団の組織化 〈教育研修課〉

学校応援団には、公民館、ボランティア団体、PTA、地域住民、地域企業、自治会、民生委員、食生活改善推進委員等多くの団体や個人が学校応援団として活動している。

地域住民・保護者ボランティアによる学校支援体制づくりを目指し、学校に必要な支援内容の明確化と計画的な実施、地域住民と教職員とが協働する場の創出などに取り組んだ。

オ) 学校と地域との連携の強化・促進 〈教育研修課〉

学校と学校応援団、地域をつなぐコーディネーターを全小・中学校に配置し、スムーズな連携、効果的な取組を促進した。

また、コーディネーターの資質向上及び活動充実のため、各学校のコーディネーターを対象とした情報交換会を行った。

②地域の子供を地域で育てる活動の促進

ア)「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」の実施 〈生涯学習課〉

地域の教育力向上を図ることを目的として、地域住民等の参画による「ふるさと下関協育ネット」及び「放課後子供教室」を実施した。

- ・ふるさと下関協育ネット事業の実施・・・24 小学校、12 中学校
- ・放課後子供教室の実施・・・22 教室

イ)「放課後子供教室」の「放課後児童クラブ」との連携の推進 〈生涯学習課〉

「放課後子ども総合プラン」に基づき、一体型を中心とした放課後子供教室の放課後児童クラブとの連携の推進を図った。

4. 生涯を通じて学ぶ機会を提供します

(1) 図書館の充実

①図書館の充実

ア) 図書館基本計画の策定 〈図書館政策課〉

下関市立図書館の基本理念・基本目標を示す下関市立図書館基本計画については、平成 30 年 3 月に公表した。

今後、この基本計画に基づき、各図書館で作成する年次計画を遂行することにより、図書館サービスの充実を図る。

イ) 図書館サービスの向上 〈図書館政策課〉

- ・図書等の資料の整備・充実

総貸出冊数 1,357,469 冊

総貸出件数 329,951 件

図書購入費 46,543 千円

- ・図書館の施設整備

各地域図書館の維持管理に係る修繕を行った。また、彦島図書館、長府図書館、豊田図書館及び豊浦図書館にWi-Fi 接続機器を設置し、下関市立図書館全館で利用者のためのインターネットによる情報検索環境を整備した。

②子供の読書活動の推進

ア) 学校貸出用図書の充実と人材の育成 〈図書館政策課〉

学校貸出用図書を整備し、幼稚園・保育所や小・中学校等に貸出を行った。

(2) 生涯学習の推進

①公民館など生涯学習拠点施設の整備と活用の促進

ア) 公民館等の整備と管理運営 〈生涯学習課〉

生涯学習の推進及びコミュニティ活動拠点として設置している公民館等（公民館 34 館、その他社会教育施設 6 施設）の管理運営を行った。

併せて、指定管理者制度のもと、生涯学習プラザの管理運営を行った。

イ) 公民館学級の実施 〈生涯学習課〉

各公民館を中心に、地区市民学級や地域ふれあい活動を開催し、地域住民の知識や技能を高めた。

ウ) 各種講座の開催 〈生涯学習課〉

市民のリクエストに応じて職員等が出向く「下関市生涯学習まちづくり出前講座」や本市と北九州市が提携した「関門海峡・温故知新塾」を開催するなど、多様な学習機会の提供に努めた。また、成人向けに豊かな生き方を学ぶ「市民文化セミナー」第1分野「歴史・文化」などの文科系分野セミナーに加え、平成27年度より第2分野「自然・科学」などの理科系分野セミナーも開設した。

また、ジャンルを問わず第一線で活躍している方々に、その専門とする世界と自らの人生について語ってもらう機会をつくり、子供たちに夢や希望を与え、未来へ向けて羽ばたく人材を育成することを目的とする事業として、「下関みらい塾」を開催した。

(3) 芸術・学術文化活動の推進

①美術館の環境整備

ア) 美術館の環境整備 〈美術館〉

設置から30年以上が経過したハロゲン化物消火設備の取替工事を実施した。

②博物館など学術文化拠点の環境整備

ア) 新博物館の整備と長府博物館の改修 〈歴史博物館〉

新博物館建設計画は、博物館資料の収集保管、調査研究、展示活動を行う新館の建設と、教育普及・学習支援活動を行う旧長府博物館の改修とで構成されている。新館は、平成28年11月18日に開館し、昨年度が初めて通年開館となったが、市内外から多くの観覧者があり順調に運営することができた。しかしながら、旧長府博物館改修については、改修費用等の課題があり進捗していない。

イ) 共通収蔵庫の整備と土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムのリニューアル

〈土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム／文化財保護課〉

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムの敷地内に市域の人類学、考古学及び民俗学に係る資料のうち滅失するおそれのある資料を集約的に保管する各博物館等施設共通の収蔵施設を設置し、市域にある文化財の収集及び適切な保存を図るとともに、これを市民及び観光客に公開することを整備目的として、平成28年度に土井ヶ浜整備事業基本構想検討委員会を立ち上げ、3回の委員会を開催した。

ウ) 日清講和記念館の改修 〈歴史博物館〉

日清講和記念館については、平成28年4月1日から歴史博物館の分館として位置付けるとともに、博物館法（昭和26年法律第285号）に基づく博物館登録を行った。

昭和12年竣工の日清講和記念館の建物については、経年による劣化が著しいことから、劣化調査及び耐震改修等に係る協議を市関係課所と行ったが、第2次総合計画実施計画に未掲載となったため、引き続き検討することとなった。

近年は、台湾、中国、韓国などの東アジア諸国からの来館者が急増していることに加え、日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の構成資産となったことから、日本語のほか、中国語（簡体、繁体）、韓国語のリーフレットを作成するとともに、SNSによる情報発信を積極的に行なって観覧者の利便性の向上を図った。

エ) 考古博物館のリニューアル等 〈文化財保護課〉

開館以来22年が経過し、設備の老朽化が進み、常設展示の固定化や教育普及事業の定型化などの課題にも直面している。社会変化やライフスタイルの多様化による市民ニーズに対応し、学校教育から生涯学習まで市民と一体となって活動していく博物館となるよう、将来の博物館の方針を含めたりリニューアル計画を立案するための現況把握を行った。

オ) 豊田ホテルの里ミュージアムの展示リニューアル 〈文化財保護課〉

開館後14年を経過した豊田ホテルの里ミュージアムの展示をリニューアルし、本市の自然史博物館として整備するための検討を進めた。

カ) 積極的な学術資料の収集 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、(1)下関の美術の歴史に係る作品、(2)下関の美術の歴史を美術全体の中で位置付けることができる作品、(3)芸術的価値の高い作品を対象とする収集方針に従い、収蔵品の充実に努めている。平成29年度は、合計65件の美術資料（作品及び資料）を収集した。収集区分別にその内訳を示すと、購入5件（度会洞玉作「黄石公・張良図」など絵画5件）、寄贈57件（狩野晴臯作「仙人高士図」など絵画35件及び殿敷 侃作「作品（黒）」など版画14件、林 百非「墨蹟」など資料8件）、寄託3件（狩野芳崖作「鍾馗図」の絵画1件及び資料2件）である。

歴史博物館は、本市の中核的な歴史系博物館・文化財保存公開機関として、博物館展示の質的向上を図るとともに、本市ゆかりの文化財等の散逸を防ぐため、系統的な資料収集及び市内外に所在する本市ゆかりの文化財（古文書、歴史資料、美術工芸品など）の収集を行っている。昨年度は、寄贈が193件564点、寄託が94件127点あり、合わせて287件691点の資料を収集している。主な寄贈資料には、東海道五十三駅画題や自画賛・句書などの田上菊舎遺品、伊藤博文・山県有朋・坂本龍馬などの書状、木戸孝允詩書などからなる国香家資料、長府藩士丸山家資料、長府毛利家旧蔵の蒔絵櫛台や蒔絵目録箱などがある。また、寄託資料には、高杉晋作の代表的な詩書を含む長府藩士梶山家資料や下関の陶芸資料などがある。なお、平成28年度から開始した長府毛利家遺品の計画的な公有化（購入）については、予算は措置されていたものの所有者の事情により平成29年度は不執行とした。ただし、平成30年度から再び公有化を行なう予定であり、計画の終期を平成32年度から平成33年度に延伸した。

豊北歴史民俗資料館においては、長府博物館の民具資料及び豊田文化財資料室の民具資料を移管した。

烏山民俗資料館においては、市域の近代観光関連資料及び市域の近代温泉文化に関する資料の調査・収集を実施した。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、市域の生物調査及び化石・岩石調査を行い、多数の標本を収集した。

考古博物館においては、歴史博物館所蔵の山口県指定文化財心光寺古墳出土品を移管した。

キ) 調査研究の充実と関係機関との連携 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、特別展「川原慶賀の植物図譜—シーボルトの見た日本」を埼玉県立近代美術館、長崎歴史文化博物館との共同企画として実施した。平成 28 年度から着手された準備作業において、共同研究も進め、その成果を展覧会の企画構成及び展覧会図録の発行として発表した。また、長門市を拠点に活動し、下関市立美術館ともゆかりの深い美術作家・殿敷 侃の作品・資料の収集に際して、作家の出生地である広島市の広島市現代美術館と共同して調査を行った。

考古博物館では、研究紀要第 22 号を刊行した。また、山口県博物館協会が主催する研修会に積極的に参加し、博物館活動の現状と課題などについて討議した。

また、日本博物館協会中国支部が主催する総会に参加し、加盟する博物館施設との議論を深めた。また、新潟大学災害・復興科学研究所及び土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムとの共同研究として、地質ボーリング調査資料に基づく響灘沿岸地域における海岸低地の古地理復元、縄文時代の海進、津波堆積物の有無、弥生時代の水田立地と自然災害の影響等について基礎的研究を実施した。

歴史博物館では、次の取組を行った。

a) 展覧会の共同開催

東行記念館と高杉晋作没後 150 年記念企画展「焦心録」を共同開催した。

b) 関連団体主催の博物館研修への職員派遣

山口県博物館協会及び日本博物館協会中国支部の研修会に参加して、博学連携などに関する知見を深めるとともに、各加盟館と情報交換を行なった。

c) 海外博物館との連携

韓国国立海洋博物館において在外資料を調査するとともに、共同事業の実施について協議した。また、釜山博物館と調査・研究及び展示に係る協力体制について協議し、次年度から必要に応じて実施することとした。

d) ユネスコ「世界の記憶」登録の協力

日韓両国に所在する「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記憶」に登録された。

登録物件には当館所蔵資料も含まれることから、申請主体となった日韓の 2 つの民間団体に協力した。

東行記念館では、歴史博物館と高杉晋作没後 150 年記念企画展を共同開催するとともに、山口県博物館協会研修会に参加して、博学連携などに関する知見を深め、各加盟館と情報交換を行なった。

豊田ホテルの里ミュージアムにおいては、下関地域及び山口県内の自然史に関する調査・研究を行い、それらの研究成果の一部をまとめた「豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書第 10 号」を刊行した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、国内研究機関（鳥取大学、東京大学総合研究博物館、京都大学等）と中国の関係機関（上海博物館、吉林大学等）の所属研究者と共同で中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の研究を継続している。加えて九州大学アジア埋蔵文化財研究センターと古人骨資料の研究連携・協力に関する覚書に基づき共同研究を実施した。また、外部より発掘調査で出土した人骨及び獣骨の鑑定依頼について、所見報告書を作成した。土井ヶ浜遺跡に関する研究成果の一部は、「研究紀要第 13 号」にまとめ刊行した。

ク) 魅力的・効果的な展示 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、平成 29 年度中に国内外の地域・時代・ジャンルをそれぞれ異にする特別展と所蔵品展を開催した。特別展としては、幅広い人気を誇る書家・詩人である相田みつをの初期から晩年までの作品を出品した「にんげんだもの 相田みつを」展及びドイツ人学者のシーボルトとともに下関にも足跡を印した江戸時代後期の長崎の絵師を紹介する「川原慶賀の植物図譜—シーボルトの見た日本」展の 2 本を開催した。所蔵品展では、狩野芳崖を始めとする地域ゆかりの美術を中心としたテーマ設定により 6 本（会期が前後の年度と連続するものを含む。）を開催した。この中で、テーマ展示「殿敷侃—僕は夜明けを信じた」など、新規に収蔵した作品・資料を活用しての小企画展と

いうべき構成を試み、所蔵品展のイメージ刷新と充実を図った。

考古博物館では、特別展「遙かなる音の世界」及び「下関の文化財Ⅱー昔日の関門」、明治維新150年記念「史跡が語る幕末の下関」の2つの企画展、発掘速報展「掘ったほ！下関2017」、下関市産恐竜卵化石展示公開「発見！恐竜卵化石～日本初の恐竜化石は下関で発見されていた～」、第19回「やよい絵画展」を開催し、地域の歴史や文化財に愛着を持つことを目的とした展示を行い、入館者が増加した。

歴史博物館では、常設展示のほか、企画展示として高杉晋作没後150年記念企画展「焦心録ー晋作が翔けた下関」、「女流文人田上菊舎ー江戸の女子旅」、「シーボルトと下関ー日蘭交流の軌跡」、「戦国大名毛利元就ー長府毛利家のルーツ」、「幕末のメディアと下関」を開催した。特別展示は、坂本龍馬没後150年記念特別展「龍馬がみた下関」、ユネスコ「世界の記憶」登録記念特別展「朝鮮通信使ー日韓の平和構築と文化交流の歴史」を開催した。また、歴史博物館公式アプリケーション「しものせき ワクワク れきはく」に古写真を利用した新たな機能を加え、来館者が楽しみながら坂本龍馬や高杉晋作と記念撮影できるようにした。

東行記念館では、高杉晋作没後150年記念企画展「焦心録ー時代を映す晋作の言葉」のほか、「高杉晋作ってどんな人？」、「奇兵隊戦記ー前編」、「奇兵隊戦記ー後編」の常設企画展を開催した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、「動くヒトとモノ」、「人 貝にあうー人類と貝類の多様な関係-」、「交流する神々～「浜出祭」の原点-」の3つの企画展と、コレクション展を1回、開催した。

烏山民俗資料館では、企画展「近代やまぐち温泉めぐり」において、山口県内の主要な温泉地である川棚温泉を始め、長門市の湯本・俵山温泉、山口市の湯田温泉の動向を明らかにする展覧会を開始した。さらには、企画展「関門海峡から世界へ」においては、明治維新後の関門海峡を中心とした都市部の緒様相を海外航路など交通機関の変遷から明らかにする展覧会を開催した。また、そのほかにも企画展を4回、所蔵品展を2回、合計7回の展覧会を開催した。

豊北歴史民俗資料館では、「なつかしの子どもの遊び展」、「庚申塔って、何だ」、「交流する神々ー「浜出祭」の原点-」、「昔のくらしと今のくらし」、「みかがみ祭と神楽」の5つの企画展を実施した。いずれも資料収集・整理活動の成果としての民具、文献資料から地域を考える展示を、地域住民との協力の上で開催した。

ケ) 普及活動の充実 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

美術館では、普及活動として、児童生徒から一般まで幅広い層の市民を対象に、実技講座を柱としたメニューを設定している。美術講座など座学形式のものについても出前講座や出前授業など、要請に対応することを市内の学校を中心に告知し、依頼に基づいて学芸員を講師として派遣した。館内で開催する実技講座では、外部の講師を招聘したもの（「願いをカタチに込める、立体造形に挑戦!!」）の他、小学生を対象とした夏休みこども造形教室（「わくわく絞り染め大作戦!!」）など内部講師（学芸員等）が指導に当たるメニューも追加し、参加機会の拡大を図った。また、情報発信においては、広報誌など紙媒体によるものと併せ、電子媒体の利用を図り、平成26年度以来開設しているフェイスブック、ツイッターなどSNSによる告知を引き続き展開し、美術館活動の紹介に努めた。

考古博物館では、小学校の歴史学習を中心とした学校単位での見学を多数行ったほか、館内での体験講座や出前講座・出前授業も積極的に受け付けた。また、アンケートの実施等により、市民ニーズの把握に努めるとともに、新規メニューとして「土器づくり教室」を開催した。そのほか、親しみの持てる施設として多くの市民に利用されるよう、平成27年に設定した公式キャラクター「ぶえ吉」の周知や着ぐるみの活用を積極的に行った。また、恐竜卵化石の発見に関連して、公開記念のシンポジウムを開催し、市民の文化財愛護意識の醸成に努めた。さらに、新潟大学災害・復興科学研究所との地質ボーリング調査を実施するに当たって、市民参加型イベント「地質ボーリングを体験しよう!」を開催し、実際の調査を体験することで、博物館活動における地域に根差した調査研究の意義について、市民への理解を促し、今日における考古博物館の果たす役割についてアピールした。

歴史博物館では、特別展示の開催に合わせた講演会・シンポジウム、ミニ講座の開催、韓国と下関の青少年が交流する韓国青少年通信使交流事業を実施したほか、中学生の職場体験学習、教師の職場研修の受入れ、学校や公益団体、市民団体などの依頼による出前講座や講師派遣に積極的に対応した。

東行記念館では、展示に併せてギャラリートークやこども向け展示解説、晋作クイズなどを実施した。

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムにおいては、平成 26 年度から自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」と題して、自然人類学を中心とした体験型の講座を実施し、これらの内容を出前授業として市内の学校、公民館、教育施設等にて開催した。また、土井ヶ浜遺跡の出土遺物である貝輪を実際に作る体験講座「貝輪づくり」を開催した。ほかに、館長講座やミュージアム講座を開催し、調査研究の成果を一般に向けて紹介した。

豊北歴史民俗資料館では、当館の県指定有形建物や所蔵資料である民具を使った小・中学生向けの体験型学習を始め、歴史民俗講座や豊北郷土文化友の会と連携した歴史文学講座、古文書整理を実施した。

コ) 博学連携の強化 〈文化財保護課／美術館／歴史博物館〉

考古博物館では、未来を担う子供たちが郷土に誇りを持ち、郷土を愛する若者に育つことを願って、市教育研究会小中学校社会科部会と連携を強化し、学校にはない歴史の実物資料を使うなどして、学校教育の支援のための活用メニュー等の作成を検討した。

美術館では、東亜大学との間で平成 27 年度から展開している連携事業の一環として平成 28 年度に実施したイベント「アート・トークしものせき 2017」について、平成 29 年度の『下関市立美術館研究紀要』第 16 号の発行に当たり、同大学と共同で報告を編集し、掲載した。また、その作業と並行して、本事業のテーマである地域文化の発掘、再評価について、プロジェクトとしての継続を図るための協議を行った。

歴史博物館では、学校行事で来館する児童生徒への対応について学校教員と協議し、授業の進度や歴史の理解力などを十分に把握した上で、展示解説やフィールドワークなどを行った。また、小・中学校の教育研究会社会科部会の研修を受け入れ、学校教育における博物館連携について協議した。なお、新年度から児童・生徒のふるさとに対する愛着を育むため、各学校において「ふるさと歴史講座」を計画的に実施する予定である。

サ) 博福連携の検討 〈文化財保護課／歴史博物館〉

考古博物館における博福連携の一環として、高齢者福祉施設入所者への広報、誘致を積極的に推進した。また、休憩所弥生の里において、地域の子育て親子の交流促進や子育て関連情報の提供を目的として、就学前の児童とその保護者を対象に地域子育て拠点施設として活用され、非常に好評を博している。施設利用者の児童と保護者には考古博物館への来館を促すため、様々なコラボレーションイベントを積極的に実施し、利用者層の拡大に努めた。

歴史博物館では、高齢者福祉施設ほか、福祉施設や老人クラブなどへ来館を積極的に働きかけた。

(4) 文化財保護活動の推進

①歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり

ア) 指定文化財及び登録文化財の管理状況の把握 〈文化財保護課〉

本市が所有者又は管理団体となっている建造物、史跡、名勝、天然記念物等の指定文化財について、適切な維持管理に努め、台風、豪雨、地震等の発生に際しては、被害状況の迅速な把握に努めた。また、民間が所有する指定文化財については、文化財保護指導員などによる定期的な巡視を行った。

重要文化財旧下関英国領事館については、平成 26 年 7 月 18 日の再開館後、指定管理者による公開活用を行い、英国文化について情報発信するとともに、継続した文学サロンの実施、休憩室（カフェ&パブ）の運営によって、入館者から好評を得ている。平成 29 年度の入館者数は 62,126 人であり、また、ギャラリー利用件数は、前年度から増加し、指定管理者による管理運営が順調に進められた。

イ) 指定文化財に対する保護措置の強化 〈文化財保護課〉

文化財の保存修理を行う所有者及び指定文化財の定期的な維持管理を行っている所有者に対して、必要に応じて補助金を支出した。

今後、保存修理等の措置が必要と考えられる指定文化財は、基礎調査等の実施により現状の把握に努め、破損などが顕著な文化財については、所有者に対して保存修理などを助言するとともに、次年度着手に向けて補助金の確保に努力した。

ウ) 埋蔵文化財に対する適切な保護と活用 〈文化財保護課〉

試掘・確認調査 2 件と発掘調査 1 件を実施し、埋蔵文化財の基礎情報を収集した。このうち、発掘調査 1 件については、新たに発見された丸小山墳墓群を調査し、宅地造成開発により影響を受ける遺跡の記録保存に努めた。

また、当該年度以前に実施した埋蔵文化財調査について、調査により収集した記録類や出土品を

整理し、成果を取りまとめた調査報告書を2冊刊行した。そのうち、勝山御殿跡の調査成果報告書は、平成21年度に刊行していた報告書を補完する内容で、平成30年度の史跡指定に際する基礎情報を網羅したものである。

公共工事、宅地開発や不動産売買などに伴う埋蔵文化財の分布照会は1,097件を数え、前年度より若干減少した。1,000平方メートル以上の開発行為に伴う開発事前協議は42件あり、前年度より11件増加した。これらの中から、文化財保護法（昭和25年法律第214号）に基づく発掘届又は発掘通知の提出は120件（前年比21件増）あり、埋蔵文化財保護のための調整を行った。

エ) 市域に所在する文化財の悉皆調査 〈文化財保護課〉

自然、歴史、文化遺産を生かしたまちづくり実現のため、文化財保護のマスタープランである「歴史文化基本構想」の策定を念頭に、その手法等について研修会への参加などにより、情報の収集、検討に努めた。また、文化財総合調査の一環として、北九州市と連携し、国が推進する「日本遺産」について、関門海峡をテーマとして取り組み、『関門“ノスタルジック”海峡 ～時の停車場、近代化の記憶～』が認定を受け、その魅力を関門地域内外に発信するために各種普及事業に取り組んだ。

②文化財の整備活用の推進

ア) 長州藩下関前田台場跡の整備活用 〈文化財保護課〉

国史跡長州藩下関前田台場跡については、適切な管理・活用を図るため、定期的な除草等環境整備を実施した。また、従来未整備であった駐車場について、近隣の土地を借り上げ、簡易的な整備を実施し、来場者の利便性を向上させることができた。

同時に、「明治日本の産業革命遺産」の関連資産として位置付けられたことや、日本遺産の構成文化財として認定を受けたことにより、複合的な活用を視野に、ハード整備にとらわれず、柔軟な整備活用の在り方を検討し、実現へ向けて関係機関等との協議・調整を実施した。このうち、日本遺産の取組と連動し、主に携帯用端末で往時の史跡の様子を仮想体験できるVR（バーチャルリアリティ）コンテンツを作成した。

イ) 国指定三史跡の整備検討 〈文化財保護課〉

昭和40年代後半から平成初期にかけて公有化し、将来の整備公開活用に備えている国指定三史跡について、周辺域に県内屈指の密度で分布する周知の埋蔵文化財包蔵地を含め、史跡の道ウォーク等の史跡散策行事の開催や、発掘調査実施時の現地公開説明会等の開催や考古博物館における展示活動により、普及啓発を積極的に企画実施し、愛護意識の醸成に努めた。今後は、公開活用を積極的に推進する。

ウ) 長府藩主毛利家墓所の整備 〈文化財保護課〉

県指定文化財となった長府藩主毛利家墓所について、その立地性により優れた観光資源であることから、定期的な除草作業など環境の整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため、愛護意識の啓発に努め、将来の整備活用に備えた。

また、覚苑寺墓所の木戸門が腐朽し、崩壊の懸念が生じたことから、管理団体の責務である史跡の適切な保護と維持管理を目的に、指定者である県に改修に係る財政支援を受け、来訪者に被害が生じないよう解体修理を実施した。

エ) 天然記念物などの現状把握 〈文化財保護課〉

記念物のうち、名勝、天然記念物（樹木類）については、周辺環境及び気候環境の変化に連動して適切な維持管理に課題を抱えているものが多い。このため、所有者等の協力のもと逐次状況把握を実施し、今後の適切な管理の在り方を検討するための情報収集に努めた。また、突然、枯れ症を発症した国指定天然記念物「川棚のクスの森」について、専門家を招聘し、枯損対策の緊急対応を実施した。

オ) 天然記念物などの保存管理計画の策定検討 〈文化財保護課〉

指定文化財の適切な管理・活用を目的に、管理団体として所有者等に対し、保存管理計画策定の必要性について説明するよう心がけ、所有者、管理団体間の共通認識の醸成に努めた。

(5) 人権教育の推進

①関係機関と連携した多様な人権教育の推進

ア) 家庭、地域社会への情報提供の充実 〈生涯学習課〉

人権に関する各種研修会や行事の案内等、市内各教育支所、公民館等に情報提供を行った。また、人権に関する標語、作文、ポスター等を市内各教育支所、公民館、小・中学校に配布した。

イ) 学習機会の充実 〈生涯学習課〉

人権尊重の職場や地域環境づくりについての理解や認識を深めるために、人権学習講座を企業、学校、団体、グループ等で開催した。

②教職員研修の充実

ア) 人権課題に応じた研修の計画的な実施 〈教育研修課〉

人権教育の推進状況を把握するための調査を行い、各学校における人権教育の現状及び課題を把握するとともに、改善に向けた指導を行った。

併せて、「山口県人権推進指針」及び「人権教育推進資料」並びに県教育委員会作成の「学習展開例」を活用し、各学校において人権教育及びその研修が更に推進されるよう指導を行った。

また、人権教育研修会を開催し、講義等を通して学校における人権教育について理解を図った。初任者、フォローアップ、6年次の各研修においても人権教育の内容を必ず扱った。

資料編

I 学校教育関連資料

1 下関市学校教育指導上の努力点

下関市教育理念

夢への挑戦 生き抜く力 胸に誇りと志

～ともに学び ともに育み 未来を創る 下関の教育～

I 生き抜く力の基礎を培う
就学前教育の推進

- 1 連携の強化
- 2 研修の充実

II 新しい時代に必要となる
資質・能力の育成

- 1 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた工夫・改善
- 2 確かな学力の向上に向けた取組の推進
- 3 時代の進展に対応した教育の推進
- 4 下関商業高等学校におけるビジネス教育の推進

III 豊かな心の育成

- 1 思いやりのある豊かな心の育成
- 2 「かかわり」「つながり」を基盤とした成長促進的な生徒指導の推進

IV 健やかな体の育成

- 1 体力の向上に向けた取組の推進
- 2 健康教育の推進
- 3 食育の推進

V 地域とともにある学校
つくりの推進

コミュニティ・スクールの推進

VI 子供たちの状況に応じた
きめ細かな教育の推進

- 1 特別支援教育の充実
- 2 少人数指導の充実
- 3 へき地・複式教育の充実

VII 学校の組織力の向上

- 1 学校評価等の効果的活用
- 2 学校の総合力の向上に向けた取組の推進

VIII 教職員の指導力の向上

- 1 指導力を高めるための研修の充実
- 2 教職員の成長を支援し、学校づくりに生かす取組の推進

IX 安心・安全な教育環境の整備

- 1 防災教育の推進
- 2 危機管理体制の確立
- 3 子供を守る安全対策の充実

平成30年度 下関市学校教育指導上の努力点

下関市教育委員会

2 市立学校一覧

(1) 幼稚園

区 分	所 在 地	学級数	園 児			教 員	保健室	給食室
			総数	男	女			
平成29年度		22	402	189	213	40 (31)	14	14
平成30年度		21	352	168	184	36 (39)	11	11
1 第 一	貴船町三丁目 11-12	1	27	14	13	3 (3)	※1○	配
2 第 五	山の田北町 4-8	1	10	8	2	2 (3)	※1○	配
3 豊 浦	長府亀の甲二丁目 2-82	2	30	15	15	5 (4)	※1○	配
4 小 月	小月宮の町 15-20	3	48	23	25	5 (3)	※1○	配
5 内 日	休 園							
6 江 浦	彦島江の浦町三丁目 4-5	1	17	8	9	3 (3)	※1○	配
7 清 末	清末西町一丁目 6-1	5	92	40	52	6 (3)	※1○	配
8 川中西	古屋町二丁目 8-1	1	23	10	13	2 (3)	※1○	配
9 川 中	伊倉本町 21-1	4	69	33	36	5 (3)	○	配
10 豊 東	菊川町大字上大野字上ノ原 20-1	2	34	16	18	3 (2)	○	配
11 室 津	豊浦町大字室津下字海原 669-7	1	2	1	1	2 (2)	○	配

平成29年度末をもって生野幼稚園、向山幼稚園、垢田幼稚園を廃止。

() は非常勤、外教

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

※1 保健室と職員室を共用して使用

平成30年5月1日現在

校舎				用地				区分	
校舎保有面積				面積					
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他	左の内 借地	
10,901	5,832	5,045	24	38,458	18,262	17,662	2,534		平成29年度
8,684	5,043	3,623	18	30,347	14,253	14,600	1,494		平成30年度
927	717	210		4,174	1,842	1,911	421		1 第一
787		787		2,005	816	1,156	33		2 第五
1,035	1,025		10	2,989	1,781	1,208			3 豊浦
1,005	974	31		3,121	1,616	1,363	142		4 小月
499		499		2,488	874	1,614			5 内日
983	956	27		3,498	1,534	1,964			6 江浦
854	620	234		3,058	1,604	1,454			7 清未
789	751	30	8	2,614	1,032	1,582			8 川中西
1,010		1,010		2,740	1,480	904	356		9 川中
456		456		2,550	894	1,114	542		10 豊東
339		339		1,110	780	330			11 室津

(2) 幼保連携型認定こども園

	所在地	学級数	園児			教員	保健室	給食室
			総数	男	女			
平成29年度		42	715	368	347	51 (29)	8	8
平成30年度		53	988	523	465	79 (31)	9	9
1 中央	幡生新町 1-10	9	153	82	71	12 (8)	※1○	有
2 垢田	新垢田東町 1-2-7	6	122	63	59	9 (4)	※1○	有
3 王喜	王喜本町 2-11-12	6	98	69	29	8 (3)	※1○	有
4 菊川	菊川町大字下岡枝字高田 1504	7	143	77	66	11 (5)	○	有
5 西市	豊田町大字矢田字横の田 184	3	58	29	29	6 (1)	○	有
6 豊田下	豊田町大字手洗字堂本 273-1	3	42	24	18	5 (2)	○	有
7 川棚	豊浦町大字川棚寺田 5281	9	201	102	99	13 (5)	※1○	有
8 黒井	豊浦町大字黒井字下北岡 2159-1	6	112	44	68	8 (2)	○	有
9 豊北	豊北町大字滝部字上ノ原 2992-1	4	59	33	26	7 (1)	※1○	有

平成27年度の子ども・子育て支援新制度施行に伴い、幼保連携型認定こども園が開設。

認定こども園の各数値は全体数値（旧幼稚園と旧保育園の合算値）

（ ）は非常勤、外教

○有の意味（配は、給食配膳室のみ）

※1 保健室と職員室を共用して使用

平成30年5月1日現在

校舎				用地				左の内 借地	区分
校舎保有面積				面積					
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
7,169	5,990	942	238	33,945	20,404	9,098	4,443		平成29年度
9,903	8,002	1,901	0	40,459	23,705	10,599	6,155		平成30年度
1,819	1,819	0		6,601	3,586	2,020	995		1 中央
771	771	0		2,084	486	800	798		2 垢田
714	703	11		2,644	714	998	932		3 王喜
1,076	0	1,076		2,801	1,302	745	754		4 菊川
1,124	1,124	0		4,870	2,953	1,000	917		5 西市
814		814		4,907	906	2,272	1,729		6 豊田下
1,833	1,833			5,870	4,485	1,355	30		7 川棚
768	768			2,331	1,582	749			8 黒井
984	984			8,351	7,691	660			9 豊北

(3) 小学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	児童			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
平成29年度		496	104	12,561	6,426	6,135	816	51		51		16	3	14(35)	59(33)	628	543	33
平成30年度		492	109	12,418	6,297	6,121	814	51		51		15	4	13(36)	59(32)	629	545	33
1 養治	本町二丁目6-1	6	2	118	59	59	11	1		1				(1)		9	16	
2 文関	上田中町一丁目14-1	18	4	526	264	262	28	1		1		1		1	2(2)	24	13	
3 名池	名池町10-1	8	4	190	101	89	20	1		1				(1)	2	11	15	
4 名江	入江町9-1	6	2	94	45	49	11	1		1				(1)	2	9	12	
5 関西	関西町12-1	6	2	71	37	34	10	1		1				(1)	2	8	13	
6 桜山	上新地町二丁目5-10	9	2	222	113	109	15	1		1				(1)		12	18	
7 向山	向山町14-1	12	2	315	151	164	17	1		1			1	2(1)	17	27		
8 生野	幡生本町7-14	12	4	344	177	167	24	1		1				(1)	2(1)	19	8	
9 本村	彦島本村町三丁目16-1	6	2	93	47	46	11	1		1				(1)		8	14	
10 西山	彦島迫町五丁目13-21	8	2	213	119	94	13	1		1				1		10	16	1
11 江浦	彦島江の浦町三丁目4-1	12	3	311	147	164	22	1		1		2		(1)		16	14	
12 角倉	彦島角倉町三丁目5-5	10	2	261	125	136	17	1		1				1		14	21	
13 向井	彦島向井町二丁目20-1	10	2	243	110	133	16	1		1				(1)		13	11	
14 小月	小月西の台6-1	12	2	283	143	140	20	1		1				(1)	2(1)	14	9	
15 清末	清末西町一丁目6-1	17	3	483	242	241	25	1		1			1	1	3(1)	20	6	
16 王司	王司神田六丁目9-1	16	3	462	229	233	23	1		1				(1)	2(2)	19	7	
17 豊浦	長府亀の甲二丁目2-1	28	6	901	462	439	48	2		2		1		1	3(4)	37	18	
18 勝山	秋根上町二丁目2-1	23	5	728	353	375	36	1		1		1		1	3(2)	28	11	
19 川中	伊倉本町19-1	22	6	701	364	337	35	1		1		1		1	3(2)	28	12	
20 安岡	安岡町三丁目5-5	24	4	774	404	370	37	2		2		1		1	3(2)	28	10	
21 吉見	吉見里町一丁目8-1	8	1	184	105	79	11	1		1				(1)	2	9	11	2
22 吉母	大字吉母字塩谷287	3	0	9	5	4	5	1		1				(1)		3	7	
23 蓋井	大字蓋井島字田町126-2	2	0	5	3	2	3			1				(1)		2	3	
24 吉田	大字吉田字高田1044-2	4	2	52	27	25	8	1		1				(1)	2	8	5	
25 王喜	王喜本町二丁目12-30	7	4	186	93	93	15	1		1				(1)	2	10	6	
26 内日	大字内日下字坂本1031	3	0	18	7	11	6	1						(1)	2	4	9	3
27 山の田	山の田中央町13-1	18	4	571	301	270	30	1		1		1		1	2(2)	24	13	
28 川中西	古屋町二丁目9-1	15	4	444	223	221	25	1		1		1		(1)	2(2)	19	14	
29 垢田	新垢田西町一丁目1-1	12	3	302	169	133	19	2		1				1	2(1)	17	18	2
30 長府	長府松小田北町14-1	18	5	470	238	232	31	1		1			1	(1)	2(2)	22	21	
31 一の宮	一の宮住吉一丁目8-1	17	3	481	258	223	28	1		1		1		1	3(1)	21	8	6
32 熊野	熊野西町10-1	25	2	792	387	405	37	2		2		1		1	3(3)	26	7	6
33 豊東	菊川町大字上野字原20-1	8	3	212	114	98	14	1		1			1	(1)	2(2)	12	9	3
34 岡枝	菊川町大字吉賀字金蔵寺2494	6	2	128	60	68	10	1		1				(1)	2(1)	8	8	
35 檜崎	菊川町大字檜崎字敷敷215	6	0	61	30	31	8	1		1				(1)	2	6	9	
36 豊田中	豊田町大字浮石字鳴ヶ浴685-2	3	0	30	9	21	5	1		1				(1)		4	9	
37 西市	豊田町大字矢田字今熊132	6	2	114	60	54	10	1		1		1		(1)		8	9	2
38 豊田下	豊田町大字子洗字貴布祢303	6	1	60	27	33	9	1		1				(1)		7	6	
39 室津	豊浦町大字室津下字新田152-1	6	0	55	28	27	8	1		1				(1)		7	6	2
40 誠意	豊浦町大字黒井字才舂2200	8	2	193	99	94	15	1		1		1		(1)		11	17	
41 川棚	豊浦町大字川棚字後楽3650-1	14	3	423	213	210	22	1		1		1		(1)		16	7	4
42 小串	豊浦町大字小串字谷田ヶ浴617	6	1	50	24	26	9	1		1				(1)		7	8	
43 宇賀	豊浦町大字宇賀字ふけ4961	4	1	30	10	20	7	1		1				(1)		5	11	2
44 神玉	豊北町大字神田上字野中2704-1	3	1	31	13	18	7	1		1		1		(1)		4	13	
45 角島	豊北町大字角島字正ノ田1768	3	0	26	16	10	5	1		1				(1)		4	7	
46 神田	豊北町大字神田字北薬法浴2519-1	3	0	16	7	9	5	1		1				(1)		4	9	
47 阿川	豊北町大字阿川下字野3755-1	4	2	32	22	10	8	1		1				(1)		6	6	
48 栗野	豊北町大字栗野字妙見3349	3	0	8	3	5	5			1				(1)		3	10	
49 滝部	豊北町大字滝部字常安1200	6	1	102	54	48	10	1		1				(1)		8	8	

() は非常勤職員、外数

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

平成30年5月1日現在

保健室	給食室	水泳プール	校舎等									用地				区分	
			校舎保有面積				屋内運動場保有面積					面積					左の内借地
			総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他				
49	49	46	199,092	190,181	7,615	1,296	41,676	11,606	30,070	963,032	375,919	446,431	140,682	30,611	平成29年度		
49	49	46	199,124	190,213	7,615	1,296	41,676	11,606	30,070	962,742	375,763	446,297	140,682	30,611	平成30年度		
○	配	○	4,593	4,456	137		809		809	10,589	5,131	4,607	851		1 養治		
○	○	○	6,392	6,294	7	91	968		968	18,679	7,752	6,646	4,281		2 文関		
○	○	○	3,748	2,961	787		887		887	15,920	6,945	7,102	1,873		3 名池		
○	○	○	3,646	3,522	114	10	729	729		14,454	4,537	5,040	4,877		4 王江		
○	○	○	3,950	3,787	163		965		965	20,947	9,009	7,855	4,083		5 関西		
○	配	○	4,891	4,773	118		785		785	11,647	4,494	4,768	2,385		6 桜山		
○	○	○	7,433	7,315	118		936		936	18,074	8,017	6,778	3,279		7 向山		
○	○	○	4,355	4,305	50		928		928	14,271	5,449	7,184	1,638		8 生野		
○	配	○	4,685	4,370	315		806		806	14,537	6,463	5,298	2,776		9 本村		
○	配	○	4,946	4,738	208		879		879	25,481	12,731	11,603	1,147	20,832	10 西山		
○	配	○	4,783	4,638	145		918		918	18,047	10,018	7,825	204		11 江浦		
○	配	○	6,030	5,761	269		1,046	24	1,022	18,385	7,420	8,843	2,122		12 角倉		
○	配	○	5,029	4,823	206		890		890	31,930	13,116	14,583	4,231		13 向井		
○	○	○	3,778	3,659	119		1,156	1,156		26,279	8,618	9,058	8,603		14 小月		
○	○	○	4,481	4,216	92	173	814		814	19,686	9,033	9,315	1,338		15 清末		
○	○	○	4,327	4,258	69		981	981		18,538	7,553	9,731	1,254		16 王司		
○	○	○	8,772	8,606	157	9	1,404		1,404	29,261	20,743	8,518			17 豊浦		
○	○	○	5,658	5,574	84		1,123		1,123	29,844	10,369	12,931	6,544		18 勝山		
○	○	○	6,540	5,400	1,140		1,181		1,181	24,071	9,501	12,762	1,808		19 川中		
○	○	○	6,978	5,988	990		1,189		1,189	20,902	9,004	9,965	1,933	9,575	20 安岡		
○	○	○	3,971	3,901	70		980		980	24,810	8,164	12,319	4,327		21 吉見		
○	配	○	1,961	1,843	118		868		868	11,517	5,349	6,168			22 吉母		
○	○	○	322		322		761		761	8,637	1,571	4,902	2,164		23 蓋井		
○	○	○	1,924	1,820	33	71	868		868	15,285	4,653	10,632			24 吉田		
○	○	○	2,782	2,741	41		906	906		17,861	7,386	8,739	1,736		25 王喜		
○	○	○	2,233	2,188	45		881		881	13,323	6,657	6,018	648		26 内日		
○	○	○	5,772	5,697	75		811		811	17,902	6,946	8,798	2,158		27 山の田		
○	○	○	5,313	5,165	148		788		788	17,018	6,005	9,822	1,191		28 川中西		
○	○	○	6,319	6,248	71		1,011		1,011	27,104	9,928	12,728	4,448		29 垢田		
○	○	○	7,335	7,250	85		1,131		1,131	30,014	10,878	10,932	8,204		30 長府		
○	○	○	5,890	5,890			1,018		1,018	32,475	11,110	12,200	9,165	204	31 一の宮		
○	○	○	6,051	5,990	61		1,015	1,015		31,042	11,935	11,740	7,367		32 熊野		
○	○	○	3,351	2,712	620	19	648		648	21,195	10,336	8,863	1,996		33 豊東		
○	○	○	2,799	2,769	30		544		544	17,131	5,916	6,546	4,669		34 岡枝		
○	○	○	2,011	1,686	69	256	525		525	19,664	5,730	8,699	5,235		35 檜崎		
○	配	○	1,817	1,769	17	31	698	698		26,081	7,174	9,300	9,607		36 豊田中		
○	配	○	3,076	3,037	3	36	694		694	14,331	7,680	6,008	643		37 西市		
○	配	○	1,696	1,665		31	680	680		15,966	7,153	8,813			38 豊田下		
○	配		2,113	2,063		50	785	785		19,699	8,380	11,319			39 室津		
○	配		4,062	3,972	75	15	561		561	16,216	4,685	11,375	156		40 誠意		
○	配	○	4,169	3,945	116	108	911		911	22,290	9,993	12,297			41 川棚		
○	配		3,144	3,098	13	33	607	607		14,632	7,809	5,835	988		42 小串		
○	○	○	2,542	2,480		62	779	779		11,772	4,773	6,269	730		43 宇賀		
○	○	○	2,743	2,676		67	670	670		16,487	3,853	11,404	1,230		44 神玉		
○	○	○	1,962	1,807	128	27	463	463		16,445	3,193	8,799	4,453		45 角島		
○	○	○	2,065	1,943	34	88	646	646		13,210	3,471	9,666	73		46 神田		
○	○	○	1,850	1,736		114	673	673		13,036	3,145	9,802	89		47 阿川		
○	○	○	1,913	1,810	103		566		566	30,505	6,962	12,648	10,895		48 栗野		
○	配	○	2,923	2,868	50	5	794	794		25,552	9,025	13,244	3,283		49 滝部		

(4) 中学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	生徒			教員	事務職員		養護教諭 (養護士)		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
平成29年度		206	44	5,924	3,053	2,871	451	28		23		7		15(7)	15(7)	269	449	16
平成30年度		200	47	5,741	2,990	2,751	440	28		23		7		14(8)	15(7)	282	434	16
1 日 新	上田中町一丁目 15-1	9	2	276	131	145	24	1		1				1		15	25	
2 向 洋	向洋町一丁目 14-1	5	3	131	58	73	14	1		1				1		9	23	
3 文 洋	上新地町五丁目 6-1	8	1	154	88	66	17	1		1				1		15	23	
4 名 陵	丸山町一丁目 13-3	5	3	121	59	62	14	1		1				1		9	19	
5 東 部	清未陣屋 5-10	17	3	553	277	276	35	2		1		1		1	2(2)	18	23	
6 長 府	長府逢坂町 3-1	14	3	432	225	207	29	1		1		1		1	2(1)	17	20	
7 勝 山	秋根上町二丁目 5-1	18	2	599	320	279	34	1		1		1		1	3(1)	21	16	2
8 川 中	伊倉新町四丁目 6-1	19	3	638	336	302	40	5		2		2		(1)		26	54	
9 安 岡	安岡町四丁目 2-1	11	1	315	176	139	22	1		1		1		1	2(1)	13	21	2
10 吉 見	永田本町一丁目 3-10	4	1	101	53	48	10	1		1				1	2	5	11	
11 彦 島	彦島江の浦町二丁目 25-1	13	3	405	210	195	29	1		1				1		16	24	
12 玄 洋	彦島本村町二丁目 8-1	6	2	146	74	72	15	1		1				(1)		8	27	
13 木屋川	木屋川南町二丁目 660	4	3	102	60	42	12	1		1				1	2	7	10	
14 内 日	大字内日下字福寿庵 1196-2	3	1	15	6	9	9	1		1				(1)		5	7	1
15 山の田	山の田本町 8-1	13	2	428	225	203	29	2		1				1		17	21	
16 堀 田	大字堀田字笹原 1127-6	11	2	318	172	146	23	1		1				1		15	23	
17 長 成	長府日の出町 4-1	8	2	229	120	109	16	1		1				1		12	18	2
18 菊 川	菊川町大字下岡枝字上室屋 1-2	7	3	197	111	86	17	1		1				(1)	2(2)	11	12	
19 豊 田	豊田町大字矢田字鎮守 434	5	2	101	62	39	12	1		1				(1)		7	12	
20 豊 洋	豊浦町大字黒井字馬神 724-1	5	2	126	63	63	12	1		1				(1)		8	14	
21 夢が丘	豊浦町大字小串字夢が丘 145	9	1	231	111	120	15	1		1				(1)		12	15	4
22 豊 北	豊北町大字滝部字幸神 1244-36	6	2	123	53	70	12	1		1		1		(1)		8	25	5

() は非常勤職員、外教

○有の意味 (配は、給食配膳室のみ)

(5) 高等学校

下関商業高等学校 (下関市後田町四丁目 11-1)

区分	生徒	学級	保有教室		保健室	食堂	水泳プール	校舎保有面積			
			普通	特別				校			
								総数	鉄筋	鉄骨	木造
平成29年度	594(25)	18(4)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106
平成30年度	596(21)	18(4)	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106

() は定時制、外教

平成30年5月1日現在

保健室	給食室	水泳プール	武道場	校舎等				用地							区分	
				校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積					左の内 借地
				総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
22	22	20	17	126,489	120,814	5,604	71	20,915	9,424	11,491	780,586	241,501	277,554	261,531	20,146	平成29年度
22	22	20	17	126,489	120,814	5,604	71	22,309	9,424	12,885	782,933	243,848	277,554	261,531	20,146	平成30年度
○	配	○	○	6,683	6,368	315		812	812		33,695	8,355	7,957	17,383		1日新
○	配	○	○	5,771	5,376	395		1,192	1,192		30,529	13,250	12,340	4,939	17,258	2向洋
○	配	○	○	7,450	6,925	525		749	749		25,490	12,248	7,803	5,439	2,888	3文洋
○	配	○	○	5,038	4,946	92		758	758		16,391	7,299	8,016	1,076		4名陵
○	○	○	○	6,299	6,194	105		819	819		73,459	12,331	13,118	48,010		5東部
○	○	○	○	6,843	6,315	528		1,026		1,026	57,236	12,519	15,171	29,546		6長府
○	○	○	○	6,858	6,806	52		961		961	29,899	11,510	10,694	7,695		7勝山
○	配	○	○	12,131	12,131			2,299	133	2,166	33,753	19,553	14,200			8川中
○	○	○	○	6,212	5,555	657		1,019		1,019	34,816	12,251	16,299	6,266		9安岡
○	○	○	○	3,401	3,208	193		994		994	26,753	10,472	14,832	1,449		10吉見
○	配	○	○	7,322	6,737	585		817	817		37,778	10,785	16,491	10,502		11彦島
○	配	○	○	6,233	5,606	627		1,130		1,130	46,640	12,069	15,768	18,803		12玄洋
○	○	○	○	3,097	3,002	95		602		602	20,743	7,157	10,435	3,151		13木屋川
○	配	○		1,928	1,864	64		776		776	12,611	5,750	6,541	320		14内日
○	配	○	○	6,530	6,368	162		985		985	20,761	9,116	10,254	1,391		15山の田
○	配	○	○	6,464	6,022	442		1,234		1,234	33,053	12,000	15,000	6,053		16垢田
○	配	○	○	5,549	5,491	58		1,178	1,178		35,095	8,864	15,910	10,321		17長成
○	○			3,213	2,643	543	27	1,394		1,394	26,465	11,341	15,124			18菊川
○	配	○		2,919	2,813	62	44	1,123	1,123		25,538	11,437	13,859	242		19豊田
○	配	○		3,441	3,337	104		676	78	598	19,928	6,302	9,997	3,629		20豊洋
○	配			5,580	5,580						23,423	5,611	11,500	6,312		21夢が丘
○	配	○	○	7,527	7,527			1,765	1,765		118,877	23,628	16,245	79,004		22豊北

平成30年5月1日現在

舎等		用地					左の内 借地	区分
屋内運動場保有面積		面積						
総数	鉄筋	総数	建物敷地	屋外運動場	その他			
5,579	5,579	38,572	9,605	25,917	3,050	0	平成29年度	
5,579	5,579	38,517	9,605	25,917	2,995	0	平成30年度	

3 平成30年度 研修計画

平成30年5月1日現在

番号	研修会名	参加対象				実施予定日等	番号	研修会名	参加対象				実施予定日等
		幼 こ 保	小	中	高				幼 こ 保	小	中	高	
1	下関市小・中学校初任者研修		○	○		全7回	33	児童生徒理解を深める生徒指導研修会		○	○		8月17日(金)
2	フォローアップ(2年次)研修		○	○		6月12日(火)	34	つなぐ生徒指導研修会		○	○		6月29日(金)
3	フォローアップ(2年次・3年次)研修		○	○		8月24日(金)	35	危機対応研修会		○	○		10月9日(火)
4	下関市小・中学校6年次研修		○	○		全2回	36	通常の学級における特別支援教育研修会	○	○	○		8月6日(月)
5	小・中学校中堅教諭等資質向上研修I		○	○		全4回	37	特別支援教育スキルアップ研修会	○	○	○		7月30日(月)
6	新任教頭研修会			教頭	教頭	4月20日(金)	38	道徳教育研修会		○	○	○	5月8日(火)
7	園長・校長フォローアップ(1・2・3年次)研修会	園長	校長	校長		全3回	39	人権教育研修会		○	○		8月20日(月)
8	園長研修会	園長				7月6日(金)	40	グローバル・ティーチャーズ・イングリッシュ・キャンプ		○			8月28日(火) ・29日(水)
9	小・中学校長研修会		校長	校長		7月3日(火)	41	小学校外国語活動研修会(GTI)		○			5月31日(木)
10	学校事務職員研修会		○	○		10月11日(木)	42	「なめらかな連続」のための連携教育研修会	○	○	○		6月8日(金)
11	養護教諭研修会		○	○		7月31日(火)	43	小中連携・一貫教育研修会		○	○		6月25日(月)
12	園務主任等研修会	○				7月25日(水)	44	複式教育研修会		○	○		7月5日(木)
13	教育相談担当研修会		○	○		5月11日(金)	45	食育研修会		○	○		8月28日(火)
14	幼児教育実技研修会	○				8月1日(水)	46	学校図書館研修会		○	○		7月6日(金)
15	新学習指導要領実践研修会		○	○		7月13日(金)	47	下関市教育大学 学習指導講座	幼 こ	○	○	○	5回
16	小学校 国語科		○			未定		特別支援教育講座	幼 こ	○	○	○	
17	小学校 社会科		○			未定		児童・生徒理解講座	幼 こ	○	○	○	
18	小学校 算数科		○			未定	48	短期・中期派遣研修(幼・こ・保)	○				計画による
19	小学校 理科		○			未定	49	短期・中期派遣研修(小・中・高)		○	○	○	計画による
20	小学校 生活科		○			未定	50	短期派遣研修(小・中・高)		○	○	○	計画による
21	小学校 道徳科		○			未定	51	派遣研修(GTI)		○	○	○	8月5日(日) ~8月11日(土)
22	中学校 国語科			○	○	未定	52	下関市教育祭	幼 こ	○	○	○	8月23日(木)
23	中学校 社会科			○	○	未定	53	研修支援訪問など					随時
24	中学校 数学科			○	○	未定	54	校内研修(GTI)		○			随時
25	中学校 理科			○	○	未定	55	わくわく教師塾 in 下関		任意参加			随時
26	中学校 音楽科			○	○	未定							
27	中学校 美術科			○	○	未定							
28	中学校 保健体育科			○	○	未定							
29	中学校 技術・家庭科(技術)			○	○	未定							
30	中学校 技術・家庭科(家庭)			○	○	未定							
31	中学校 英語科			○	○	未定							
32	中学校 道徳			○	○	未定							

4 平成 30 年度研究事業一覧

☆印は山口県教育委員会事業 ○印は文部科学省事業

研 究 領 域	学 校 名	期 間
☆小中高連携英語教育推進校・連携校	下関市立文洋中学校 下関市立関西小学校 下関市立桜山小学校	平成 30 年度
○「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」における研修協力校	下関市立勝山中学校 下関市立豊浦小学校	平成 30 年度
☆平成 30 年度小学校英語専科教員配置モデル事業	下関市立熊野小学校	平成 30 年度
☆小中連携授業力向上実践研究指定校区	下関市立向洋中学校 下関市立向山小学校	平成 30 年度
☆「やまぐちっ子の心を育む道德教育」プロジェクト推進校	下関市立東部中学校 下関市立西市小学校	平成 29 年度～平成 30 年度 平成 30 年度～平成 31 年度
○人権教育総合推進地域事業	下関市立菊川中学校 下関市立豊東小学校 下関市立岡枝小学校 下関市立檜崎小学校	平成 29 年度～平成 31 年度
下関市へき地・複式教育研究協議会	下関市立蓋井小学校	平成 30 年度 平成 30 年 10 月 3 日（水）
☆特別支援教育授業づくりセミナー	下関市立文関小学校	平成 30 年度 平成 30 年 11 月 29 日（木）
下関市小中一貫教育研究推進校	下関市立長成中学校 下関市立長府小学校	平成 30 年度～平成 31 年度

5 下関市教育研究会

(1) 平成 30 年度部会一覧

幼稚園	幼児教育																									
小学校	学校事務	養護	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語活動	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	食に関する教育				
中学校	学校経営	教育課程	学校事務	養護	保健	研修	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術・家庭(技術)	技術・家庭(家庭)	保健体育	英語	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	キャリア教育	学校図書館	情報教育	特別支援教育	人権教育	食に関する教育

(2) 研究主題

年 度	研 究 主 題	副 題
平成 30 年度	学ぶ力を育む下関教育	学ぶ意欲と支え合う心の育成を視点に

6 下関市教育祭 (第 14 回)

(1) 概要

開 催 日	平成 30 年 8 月 23 日 (木)
会 場	海峡メッセ下関 (山口県国際総合センター)
参 加 者	下関市立認定こども園・幼稚園、小・中学校、下関商業高等学校教職員、PTA代表者
内 容	教育講演、実践発表

(2) 講演内容

年 度	講 師	演 題
平成30年度	一般財団法人日本ペップトーク普及協会 代表理事 岩崎 由純	「言葉のちから 無限大！」

(3) 実践発表及び実践報告

年 度	発 表 者	テ ー マ
平成30年度	下関商業高等学校 教諭 小畑 憲司 下関市立川棚こども園 園長 森永 由貴枝 下関市教育委員会	「下商におけるビジネス教育の取組 ～下関に根ざした人材育成の実践～」 「人権教育の推進～川棚こども園の取組を通して～ 一人ひとりを大切にする保育 ～いのちの日の取組から～」

7 外国語指導助手派遣推進事業

ALT人数・配置先	14名：教育研修課 10、菊川教育支所 1、豊田教育支所 1、豊浦教育支所 1、豊北教育支所 1
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の生活や文化に慣れ親しむための指導に当たる。 ・外国語担当教員や学級担任のもとで協同授業（ティーム・ティーチング）を行い、児童・生徒のコミュニケーション能力の素地や基礎を養う。 ・外国語担当教員のための各種研修会に講師として参加する。 ・特別活動・課外活動などを担当教員のもとで指導する。 ・外国語暗唱・弁論大会の指導及び審査に当たる。 ・音声教材及び外国語原稿作成への支援に当たる。 ・その他、所属長または校長が必要と認める職務に当たる。

8 特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況（平成 30 年度）

（平成 30 年 5 月 1 日現在）

（ア）小学校

（単位：学級、人）

区 分	障害別	学級	担当者数	児 童						合計
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	
平成 29 年度	—	104	117	55	69	79	76	68	59	406
平成 30 年度	—	109	121	65	70	73	83	81	68	440
養治小	知的	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	2	1	0	0	0	1	4
文関小	知的	2	2	0	0	2	5	1	2	10
	自閉・情緒	2	2	1	1	2	5	1	1	11
名池小	知的	1	1	0	2	0	0	1	1	4
	肢体不自由	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	0	3	0	1	2	3	9
王江小	知的	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	2	1	1	0	5	0	0	7
関西小	知的	1	1	1	0	0	0	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	1	0	2
桜山小	知的	1	1	0	0	1	0	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	2	0	0	2
向山小	知的	1	1	0	0	2	0	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	0	3	1	6
生野小	知的	1	1	1	3	0	0	1	1	6
	言語	1	1	0	0	0	0	0	1	1
	自閉・情緒	2	3	1	2	1	2	3	2	11
本村小	知的	1	1	0	0	0	1	1	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	0	0	2
西山小	知的	1	1	0	2	0	0	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	1	0	0	2	4
江浦小	知的	1	1	0	0	1	0	0	2	3
	病弱・虚弱	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	0	1	1	3	2	1	8
角倉小	知的	1	1	0	1	1	0	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	2	2	5
向井小	知的	1	1	1	0	0	1	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	1	1	4
小月小	知的	1	1	1	0	0	2	2	0	5
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	2	3	0	6
清末小	知的	1	1	0	0	0	0	1	1	2
	病弱・虚弱	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	3	0	2	0	0	1	6
王司小	知的	1	1	1	0	1	1	0	0	3
	病弱・虚弱	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	2	0	1	0	1	1	5
豊浦小	知的	2	2	3	2	2	2	4	2	15
	難聴	1	1	0	2	0	0	0	0	2
	自閉・情緒	3	4	2	3	4	7	4	4	24
勝山小	知的	2	2	1	3	1	2	2	0	9
	自閉・情緒	3	4	5	5	4	1	0	3	18
川中小	知的	2	2	0	3	2	3	1	1	10
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	難聴	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	3	1	4	1	1	2	12
安岡小	知的	1	1	0	0	1	2	1	1	5
	自閉・情緒	3	4	3	2	3	3	5	3	19
吉見小	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	2	0	3
吉田小	知的	1	1	0	0	0	0	1	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	1	2

区分	障害別	学級	担当者数	児 童						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
王喜小	知的	1	1	0	1	1	1	0	0	3
	難聴	1	1	1	0	1	0	0	0	2
	自閉・情緒	2	3	3	2	2	2	2	1	12
山の田小	知的	1	1	0	1	0	2	0	1	4
	肢体不自由	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	3	1	2	1	0	2	9
川中西小	知的	2	2	1	0	3	1	2	2	9
	自閉・情緒	2	2	2	1	4	0	2	1	10
垢田小	知的	1	1	1	1	1	4	1	0	8
	自閉・情緒	2	2	4	1	2	1	2	0	10
長府小	知的	2	2	2	2	1	4	0	1	10
	病弱・虚弱	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	4	3	0	1	3	2	13
一の宮小	知的	1	1	0	2	1	1	1	0	5
	肢体不自由	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	2	0	0	0	2	3	3	8
熊野小	知的	1	1	0	1	1	0	1	0	3
	自閉・情緒	1	2	3	2	1	0	1	1	8
豊東小	知的	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	2	2	1	0	3	2	2	3	11
岡枝小	知的	1	1	0	1	1	0	1	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	1	0	1
西市小	知的	1	1	1	0	1	0	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	0	1
豊田下小	知的	1	1	0	0	1	1	0	0	2
誠意小	知的	1	1	0	0	0	1	0	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	2	0	3
川棚小	知的	2	2	0	1	1	2	1	4	9
	自閉・情緒	1	1	1	1	1	0	1	2	6
小串小	知的	1	1	1	0	0	1	0	0	2
宇賀小	知的	1	1	0	0	0	0	1	0	1
神玉小	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	0	0	1
阿川小	知的	1	1	1	1	0	0	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	1	0	1
滝部小	自閉・情緒	1	1	1	0	0	0	1	0	2

(イ) 中学校

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			合計
				1年	2年	3年	
平成29年度	—	44	46	47	40	33	120
平成30年度	—	47	49	56	47	41	144
日新中	知的	1	1	2	1	0	3
	自閉・情緒	1	2	3	1	3	7
向洋中	知的	1	1	0	1	0	1
	肢体不自由	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1
文洋中	自閉・情緒	1	1	0	1	1	2
名陵中	知的	1	1	0	1	0	1
	難聴	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	1	2
東部中	知的	1	1	3	1	3	7
	自閉・情緒	2	2	1	6	2	9
長府中	知的	1	1	1	1	1	3
	自閉・情緒	2	2	6	2	3	11
勝山中	知的	1	1	1	0	1	2
	自閉・情緒	1	2	4	4	0	8
川中中	知的	1	1	3	3	0	6
	自閉・情緒	2	2	2	2	6	10
安岡中	自閉・情緒	1	1	1	1	0	2
吉見中	自閉・情緒	1	1	3	0	0	3

区 分	障害別	学級	担当者数	生 徒			
				1年	2年	3年	合計
彦島中	知的	1	1	2	1	0	3
	自閉・情緒	2	2	5	1	3	9
玄洋中	知的	1	1	0	1	3	4
	自閉・情緒	1	1	1	2	0	3
木屋川中	知的	1	1	1	0	0	1
	難聴	1	1	0	1	1	2
	自閉・情緒	1	1	3	2	1	6
内日中	弱視	1	1	0	1	0	1
山の田中	知的	1	1	0	2	1	3
	自閉・情緒	1	1	2	4	0	6
垢田中	知的	1	1	3	0	0	3
	自閉・情緒	1	1	1	1	0	2
長成中	知的	1	1	1	0	2	3
	自閉・情緒	1	1	2	0	1	3
菊川中	知的	1	1	0	1	0	1
	肢体不自由	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	1	2	4
豊田中	知的	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1
豊洋中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1
夢が丘中	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1
豊北中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	1	2	0	3

(2) 通級指導教室 活動実態 (名池小・江浦小・豊浦小・誠意小・小月小・山の田小・日新中・彦島中)

(ア) 幼児

(単位：人)

	総数/年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
平成29年度	222	7	18	71	126

(イ) 児童・生徒

(単位：人)

	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
平成29年度	383	107	80	70	44	47	35	42	12	10	20

(3) 平成30年度就学支援状況

(平成30年4月に転・入学等した者)

教育支援委員会に提出された事例数		教育支援委員会の意見		教育支援委員会の就学支援結果		
知的障害	73	通常の学級対象と判定された者	27	通常の学級へ転・入学		45
自閉症・情緒障害	137			特別支援学級	知的障害特別支援学級へ転・入学	40
聴覚障害	2	病弱・身体虚弱特別支援学級へ転・入学	1			
視覚障害	1	肢体不自由特別支援学級へ転・入学	1			
言語障害	0	難聴特別支援学級へ転・入学	1			
病弱・虚弱	1	弱視特別支援学級へ転・入学	0			
肢体不自由	1	言語障害特別支援学級へ転・入学	0			
重複障害	3	総合支援学校対象と判定された者	44	自閉症・情緒障害特別支援学級へ転・入学	85	
その他	0	合計	218	総合支援学校へ転・入学した者	41	
合計	218			その他(市外へ転居、私立学校へ進学)	4	
				合計	218	

(4) 特別支援学級生徒の進路状況

(単位：人)

区 分	総数	高等学校			総合支援 学 校	各種学校	就職	自宅
		公立	定時制・通信制	私立				
平成28年度	33	2	1	5	18	6	0	1
平成29年度	32	6	0	11	13	1	0	1

(5) 下関市特別支援教育支援員配置状況

平成30年度 117名配置 (平成30年5月1日現在)

(6) 平成30年度に新設された特別支援学級

小学校 3学級 (知的障害 1、肢体不自由 1、病弱・身体虚弱 1)

中学校 4学級 (知的障害 2、自閉症・情緒障害 2)

9 就学援助

(1) 就学援助費

(単位：人、円)

区 分		小 学 校		中 学 校	
		受給児童	援助額	受給生徒	援助額
平成28年度		3,373	66,021,381	1,926	84,487,769
平成29年度		3,135	71,086,037	1,735	115,883,658
再 掲	学用品・通学用品・校外活動費(日帰り)	3,135	39,065,605	1,735	36,534,008
	修学旅行費	529	10,761,526	564	24,615,080
	校外活動費(宿泊)	546	1,533,910	40	54,060
	通学費	34	1,314,926	8	1,106,660
	新入学児童生徒学用品費等	439	18,410,070	1,082	53,573,850

(2) 特別支援教育就学奨励費

(単位：人、円)

区 分		小 学 校		中 学 校	
		受給児童	援助額	受給生徒	援助額
平成28年度		524	6,914,244	94	1,860,007
平成29年度		411	7,545,276	121	2,769,745
再 掲	学校給食費	211	4,470,326	62	1,293,568
	通学費	269	1,138,002	41	378,393
	職場実習交通費	0	0	2	1,680
	交流学習交通費	169	64,020	71	116,120
	修学旅行費	26	249,330	13	310,273
	校外活動費(日帰り)	179	189,199	26	22,596
	校外活動費(宿泊)	91	226,406	0	0
	学用品・通学用品購入費	177	871,609	45	371,815
	新入学児童生徒学用品・通学用品購入費	34	331,054	24	275,300
付添保護者交通費	1	5,330	0	0	

10 下関市奨学金制度

月額奨学金	貸付金額 (月額)	①大学生	40,000 円
		②高校生	18,000 円
	貸付期間	在学する学校の正規の修学期間	
入学一時金	貸付金額	①大学生	40,000 円, 80,000 円, 120,000 円, 160,000 円, 200,000 円, 240,000 円のいずれかの額
		②高校生	18,000 円, 36,000 円, 54,000 円, 72,000 円, 90,000 円, 108,000 円のいずれかの額
据置期間	在学する学校の正規の修業期間経過後 1 年間		
返還方法	月賦により返還、毎月の返還額は月額奨学金の 2 分の 1 の額		

※1 奨学金は無利子

※2 入学一時金は大学又は高校に入学した年度に 1 回のみ貸付

【平成 29 年度までの運用状況】

(単位：人、円)

年 度	合 計		大 学		高 校	
	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額	人 員	貸付金総額
26	10	3,568,000	7	2,920,000	3	648,000
27	5	2,260,000	5	2,360,000	0	0
28	5	2,400,000	5	2,400,000	0	0
29	6	2,724,000	5	2,400,000	1	324,000

※大学生 1 人について、休学に伴い、平成 26 年度は 11 月分の、平成 27 年度は 1 月分の貸付を休止した。

11 園・学校訪問

研修支援訪問 (小・中学校)	各学校が抱えている学習指導、生徒指導、特別支援教育、情報教育等の課題の解決を図るために、年 1 回の定期訪問及び各学校や研究団体からの要請に応じて指導主事等を派遣し、研修の充実を図る。
研修支援訪問 (幼稚園・認定こども園)	各園の自主的な研修活動を促進させるために、年 1 回の定期訪問及び各園からの要請に応じて指導主事等や教育・保育専門監を派遣し、研究主題の解明や保育活動の充実を図る。
担当校訪問	各園、小・中学校に教育・保育専門監・担当指導主事等を配置することで、学校と教育委員会との連携を密にするとともに、各園・学校が抱えている課題の把握と解決、さらには人材育成への支援を図る。
生徒指導訪問	各学校の問題行動や、学校事件・事故等に素早く対応したり、未然に防止したりするために、指導主事、ガイダンスアドバイザー、カウンセリングアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を派遣する。

12 学校保健

(1) 平成 29 年度 健康診断における疾患・異常

(単位：人、%)

区 分 項 目		小 学 校				中 学 校				
		男 子		女 子		男 子		女 子		
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	
栄養状態	栄養不良	0	0.00	0	0.00	1	0.03	3	0.10	
	肥満傾向	81	1.26	52	0.85	57	1.87	38	1.32	
	貧血	5	0.08	6	0.10	3	0.10	7	0.24	
脊 柱		80	1.25	71	1.16	44	1.44	45	1.57	
胸 郭		7	0.11	5	0.08	3	0.10	1	0.03	
骨・関節、四肢の状態		24	0.37	14	0.23	20	0.66	9	0.31	
裸眼視力	1.0未満 0.7以上 B	518	8.08	589	9.62	254	8.33	302	10.51	
	0.7未満 0.3以上 C	656	10.23	792	12.94	410	13.44	403	14.03	
	0.3未満 D	454	7.08	628	10.26	520	17.05	606	21.09	
聴 力		45	0.70	35	0.57	21	0.69	20	0.70	
眼	感染性眼疾患	2	0.03	1	0.02	0	0.00	0	0.00	
	その他の眼疾患異常	520	8.10	379	6.18	198	6.49	160	5.57	
耳鼻咽喉頭	耳 疾 患	477	7.43	417	6.80	173	5.67	113	3.93	
	鼻・副鼻腔疾患	700	10.90	277	4.52	239	7.84	127	4.42	
	口腔・咽頭疾患異常	32	0.50	20	0.33	7	0.23	8	0.28	
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	186	2.90	144	2.35	91	2.98	56	1.95	
	その他の皮膚疾患	19	0.30	17	0.28	0	0.00	0	0.00	
結核精密検査者		2	0.03	1	0.02	0	0.00	0	0.00	
心臓疾患異常		83	1.29	61	1.00	32	1.05	29	1.01	
心電図二次検診受検者 ※		26	2.48	11	1.07	25	0.82	9	0.31	
尿	蛋 白	7	0.11	24	0.39	25	0.82	11	0.38	
	糖	1	0.02	1	0.02	3	0.10	13	0.45	
	潜 血	7	0.11	18	0.29	3	0.10	16	0.56	
その他の疾患異常		92	1.43	62	1.01	77	2.52	70	2.44	
歯・口腔	う 歯	処置完了者	2,066	32.29	1,796	29.45	739	24.87	788	28.15
		未処置歯のある者	1,785	27.90	1,524	24.99	582	19.58	579	20.69
	その他の歯疾患異常		942	14.72	894	14.66	536	18.03	410	14.65
	口腔の疾患異常		8	0.13	8	0.13	7	0.24	11	0.39

(単位：人)

在籍者総数	6,428	6,132	3,050	2,873
受検者数	6,421	6,129	3,008	2,839
歯・口腔の受検者数	6,398	6,099	2,972	2,799

※の受検対象者は、小学校1年生及び中学校1年生

(2) 平成 29 年度 負傷・疾病の種類別災害発生状況

(単位：件)

負傷・疾病		学校種別					合計
		小学校	中学校	高等学校	幼稚園		
負傷	骨折	190	233	14	1	438	
	捻挫	219	232	12	1	464	
	脱臼	66	22	1	4	93	
	挫傷・打撲	362	276	11	2	651	
	靭帯損傷・断裂	21	23	5	0	49	
	挫創	72	25	2	1	100	
	切創	12	5	0	1	18	
	刺創	10	3	0	0	13	
	割創	1	0	0	0	1	
	裂創	34	5	2	1	42	
	擦過傷	14	5	2	0	21	
	熱傷・火傷	5	2	0	0	7	
	歯牙破折	12	2	0	0	14	
	その他	2	0	0	0	2	
	負傷合計	1,020	833	49	11	1,913	
疾病	食中毒	0	0	0	0	0	
	食中毒以外の中毒	0	0	0	0	0	
	熱中症	1	8	1	0	10	
	溺水	0	0	0	0	0	
	異物の嚥下・迷入	12	4	1	0	17	
	接触性の皮膚炎	3	7	0	2	12	
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	3	2	1	0	6
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	4	2	1	0	7
		骨疾患	2	15	1	0	18
		関節疾患	3	17	6	0	26
		筋腱疾患	5	36	4	0	45
		皮膚疾患	0	1	0	0	1
		精神疾患	0	0	0	0	0
		その他	3	5	0	0	8
	計	20	78	13	0	111	
	負傷に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	0	0	0	0	0
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	0	0	0	0
		骨疾患	0	1	1	0	2
関節疾患		1	1	0	0	2	
筋腱疾患		3	3	0	0	6	
皮膚疾患		4	1	0	0	5	
精神疾患		0	0	0	0	0	
その他		6	4	0	0	10	
計	14	10	1	0	25		
疾病合計	50	107	16	2	175		
負傷・疾病の合計	1,070	940	65	13	2,088		

(3) 平成 29 年度児童・生徒の体位比較

年齢 (歳)	身長 (単位:cm)				体重 (単位:kg)				
	男		女		男		女		
	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	下関市	山口県	
小学校	6	115.7	115.9	114.9	114.4	21.1	21.0	20.7	20.6
	7	121.8	122.2	121.1	120.5	23.9	23.9	23.3	23.3
	8	127.6	127.7	126.3	126.7	26.8	27.0	25.9	26.2
	9	132.4	132.7	132.8	132.4	29.8	29.6	29.4	29.3
	10	138.2	137.7	138.9	139.4	33.6	33.0	33.1	33.7
	11	143.9	144.0	146.1	146.6	37.3	37.0	38.1	38.9
中学校	12	151.7	152.1	151.6	150.8	42.9	43.3	43.3	42.7
	13	159.4	159.2	154.5	154.5	48.4	48.7	46.7	47.7
	14	164.4	164.2	155.9	156.0	53.1	52.8	49.8	50.2

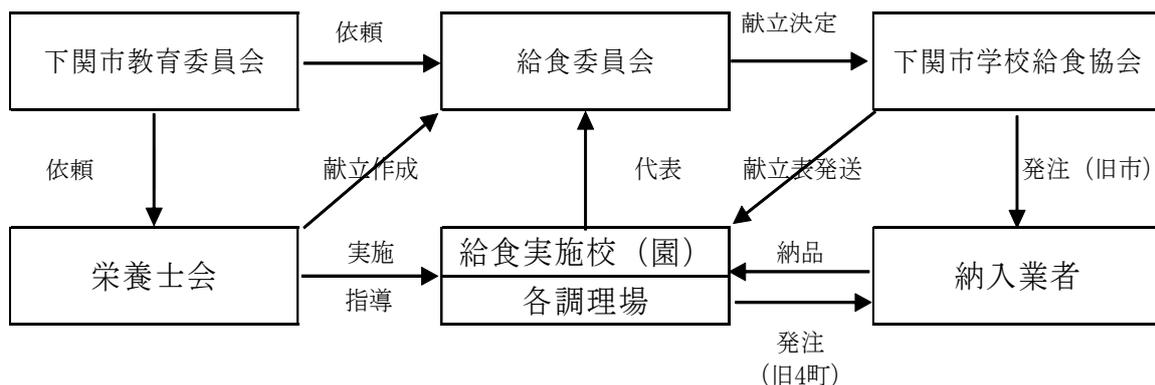
13 学校給食

(1) 学校給食実施状況

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

区分	完全給食			実施方式					
	校(園)数	実施人員	実施率	単独調理校		親子受配		調理場受配	
	校(園)	人	%	校(園)	人	校(園)	人	校(園)	人
小学校	49	12,418	100	33	9,921	1	9	15	2,488
中学校	22	5,741	100	7	2,299	1	15	14	3,427
幼稚園	10	352	100	0	0	8	333	2	19
計	81	18,511	100	40	12,220	10	357	31	5,934

(2) 献立の作成から実施まで



(3) 平成 29 年度就学援助費(給食費)

区 分	実施人員(人)	援助額(円)
小学校	3,095	118,829,142
中学校	1,627	66,158,812
計	4,722	184,987,954

(4) 学校給食共同調理場

(平成 30 年度)

共同調理場名 (所在地)	構造・延面積 (開設年月日)	運営方式	対象学校数 (児童生徒園児数)			対象 学校名
			学校 種別	学校(園)数	児童生徒 園児数	
南部学校給食共同調理場 (彦島江の浦町三丁目 4-10) (TEL 267-2044)	軽量鉄骨 平屋建 延 989.48 m ² (昭 47.3.31)	民間 (平 21.8~)	小	6	1,343	桜山、本村 西山、江浦 角倉、向井
			中	3	705	文洋、彦島 玄洋
			幼	1	17	江浦
			計	10	2,065	
中部学校給食共同調理場 (一の宮住吉二丁目 9-8) (TEL 257-1578)	鉄骨 平屋建 延 866.66 m ² (平 2.4.1)	民間 (平 30.4~)	小	1	118	養治
			中	7	2,141	日新、向洋 名陵、垢田 川中、長成 山の田
			計	8	2,259	
豊田町学校給食共同調理場 (豊田町大字矢田 320-1) (TEL 766-0076)	鉄骨 平屋建 延 486.51 m ² (昭 38.4) (平 6.3.24 改 築)	民間 (平 24.4~)	小	3	204	西市 豊田中 豊田下
			中	1	101	豊田
			計	4	305	
豊浦町学校給食共同調理場 (豊浦町大字川棚 3630-1) (TEL 774-3390)	鉄骨 平屋建 延 620 m ² (平 5.4.1)	民間 (平 20.4~)	小	2	473	川棚、小串
			中	2	357	豊洋 夢が丘
			計	4	830	
黒井学校給食共同調理場 (豊浦町大字黒井 2200) (TEL 772-0290)	鉄骨 平屋建 延 176 m ² (昭 55.9) (平 9.9.1 開 設)	民間 (平 23.4~)	小	2	248	誠意、室津
			幼	1	2	室津
			計	3	250	
滝部学校給食共同調理場 (豊北町大字滝部 1244-36) (TEL 782-0066)	鉄筋 コンクリート 平屋建 延 413.25 m ² (平 18.4.1)	民間 (平 18.4~)	小	1	102	滝部
			中	1	123	豊北
			計	2	225	

14 生徒指導

成長促進事業一覧

●下関市教育支援教室「かんせい」	
目的	学校に行かない、行きたくても行けない子供たちのために、個別や小集団での相談や指導を行いながら、一人ひとりの社会的自立をめざす中で、学校復帰ができるように支援する。
内容	体験学習やスポーツ活動等とおした「集団適応指導」と、個別や小集団での相談・指導をおし基本的生活習慣の改善と精神的・社会的自立をめざした「生活指導」、または、一人ひとりの学力に応じた学習を進める「学習指導」を指導の柱としている。専門指導員による個別面談やグループ面談をとおして、集団生活に参加する意欲を高める。
●「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員の訪問支援	
目的	ひきこもりの傾向にある不登校の問題に対応するため、下関市教育支援教室「かんせい」と関係学校とが連携を図りながら、不登校児童生徒の学校復帰に向けた個別の訪問支援を行う。
内容	不登校で家庭に引きこもりがちな状態にある児童生徒を対象とし、「教育相談室」相談員及び「かんせい」専門指導員が学校及び家庭訪問による教育相談等を行う。
●カウンセリングアドバイザー派遣事業	
目的	犯罪被害及び学校事件・事故等の重大事案が発生した際、臨床心理士等をカウンセリングアドバイザー（以下「CA」という。）として下関市立幼稚園、小・中学校及び下関商業高等学校（以下「学校」という。）に緊急に派遣し、助言・援助を行うことで、幼児児童生徒及び保護者等の心のケアに対応する。また、不登校の問題において、各学校に派遣しているスクールカウンセラーの業務以外で、CAによる助言・援助を校長・園長から求められた際、各学校・園に派遣し、その相談業務等の対応にあたる。
対象	校長からの要請に基づき、不登校や犯罪被害、学校事件・事故等により助言や援助が必要な幼児児童生徒及びその保護者等を対象として、CAを派遣する。
●下関市スクールソーシャルワーカー活用事業	
目的	いじめ、暴力行為、児童虐待や不登校等の生徒指導上の課題の内、学校だけでは解決が困難な事案に対し、社会福祉士・精神保健福祉士等の専門家をスクールソーシャルワーカー等として学校等に派遣し、専門的な知識・技能を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うことにより、生徒指導上の課題等の未然防止、早期対応を図る。
内容	学校・園からの支援要請に基づき、スクールソーシャルワーカー等を派遣し、幼児・児童・生徒の置かれた生活環境に働きかけ、又は児童相談所、福祉事務所その他の関係機関と連携して、幼児・児童・生徒、保護者、教職員その他の関係者に対する支援を行う。
●ガイダンスアドバイザー（GA）派遣事業	
目的	複雑・多様化してきている生徒指導上の課題に対応するため、管理職や教職員、警察等との連携のもと、児童生徒の見守り活動による問題行動の未然防止に努めるとともに実態把握による連携調整を行う。
内容	校内外の巡視等を行い、学校の実態を把握するとともに、教職員との情報交換をして、個別の支援が必要な生徒の状況を把握し、諸問題への早期対応、早期解決に役立てる。また、学校からの生徒指導に関する協力依頼に対して、積極的に支援する。
●スクールカウンセラー（SC）活用事業（山口県教育委員会実施事業）	
目的	教員とスクールカウンセラーが互いの立場を理解しつつ、相互に協力、補完して児童生徒の健全な育成を図る。
配置校	下関市立全小・中学校

15 教育相談

(1) 相談体制

●下関市教育委員会『教育相談室』	
目的	不登校、いじめ、非行問題等で悩む児童生徒や保護者への相談活動をとおして、児童生徒の主体的な自立を支援するとともに、学校や関係機関との連携を図りながら児童生徒を取り巻く心理的環境の改善を図る。
方法	来室（面接）相談、訪問相談、電話相談
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市幡生新町1番1号 下関市教育委員会内（電話）231-6995（直通）
●いじめ相談専用電話『いじめテレホン相談』	
目的	いじめ問題に関わる悩みの相談を受け、早期解決を図る。
時間	月～金 9時00分～16時30分
場所	下関市教育委員会「教育相談室」内
電話	223-7830（な・や・み・ゼロ）

(2) 平成29年度教育相談受理状況

問題行動別・相談者別		幼・小学生		中学生		高校生・他		男女別計		合計	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
1	非行問題	非行				1		1		1	
2		家出		1	1				2	2	
3		家庭内暴力									
4		自殺									
5		犯罪・被害				1				1	1
6		その他				1				1	1
7	学業・職業問題	学業・成績									
8		不登校	5	6	8	3		1	13	10	23
9		進路									
10		仕事									
11	その他	1						1		1	
12	家庭問題	家庭内不和									
13		しつけ									
14		その他									
15	交友問題	異性交際					1		1	1	
16		友人									
17		いじめ	4	13	20	5	14	3	38	21	59
18		その他			1				1		1
19	健康問題	性									
20		健康									
21		性格									
22		その他									
23	その他	30	17	13	5	5	7	48	29	77	
29年度		40	37	42	16	20	12	102	65	167	
28年度		25	19	21	25	19	3	65	47	112	
27年度		20	8	21	27	15	12	56	47	103	

II 生涯学習関連資料

1 社会教育委員

委員定数 20名

任期 2年

職務 社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行う。(社会教育法第17条)

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。
- (3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

社会教育委員名簿（任期 平成29年6月1日～平成31年5月31日）（平成30年4月1日現在）

役職名	氏名	団体名等
委員長	吉井 克也	学 識 経 験 者
副委員長	徳吉 眞次	菊川町青少年育成町民会議会長
委員	藤永 悦朗	山口県教育会下関支部支部長
〃	安宅 正哉	下関市小学校長会
〃	中川 和彦	下関市中学校長会
〃	佐々木 猛	下関市PTA連合会会長
〃	和崎 法子	下関市連合婦人会会長
〃	富永 洋一	一般財団法人下関21世紀協会常任理事
〃	杉山 靖彦	下関市子ども会連合会副会長
〃	折井 一枝	菊川放課後子供教室・教育ボランティア
〃	勝野 光枝	下関市連合婦人会菊川地区婦人会副会長
〃	水野 捷子	民生児童委員・山口県教育会豊浦支部理事
〃	三戸 恵子	下関市連合婦人会豊田地区婦人会会長
〃	田中 敦子	豊田町更生保護女性会
〃	伊藤 忠晴	豊浦地区子ども会連合会会長
〃	村岡 亜由子	豊浦町体験活動・奉仕活動支援センター
〃	中野 千枝美	下関市地域活動（母親クラブ）連絡協議会会長
〃	田中 義道	社会福祉法人三明会豊北きらきらくども園園長
〃	鍋田 和博	学 識 経 験 者
〃	吉山 行雄	学 識 経 験 者

2 図書館

(1) 中央図書館

沿革：昭和15年7月名池小学校校庭に創設されたものを源とする。昭和44年10月明治維新100年記念事業として上田中町に新築移転。平成21年11月下関市立中央図書館開館準備のため閉館。現施設は社会教育複合施設として建設され、平成22年3月に開館した。

位 置：下関市細江町三丁目 1 番 1 号

創 設：昭和 15 年 7 月（移転新築 平成 22 年 3 月）

施設概要：下関市生涯学習プラザ 4, 5 階、一部 1, 6 階（延面積 5039.79 m²）

蔵 書 数：中央図書館 図書 約 389,000 冊、視聴覚 約 3,000 点 移動図書館 図書 約 17,000 冊

休 館 日：館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：4 階は、午前 9 時～午後 8 時

5 階は、午前 9 時～午後 9 時



4 階 児童図書コーナー



5 階 一般図書コーナー

(2) 長府図書館

沿 革：明治 42 年 8 月に豊浦郡教育会によって創設され、大正 13 年に長府町へ移管された。昭和 12 年に豊浦郡長府町が下関市と合併すると、下関市立長府図書館として運営され、昭和 42 年 9 月に明治 100 年記念事業の一環として改築された。附属施設として下関文書館があり、郷土に関する貴重な文書・記録類を収蔵している。

位 置：下関市長府宮の内町 1 番 30 号

創 設：明治 42 年 8 月（改築 昭和 42 年 9 月）

構 造 等：本館 鉄筋コンクリート 2 階建 延面積 882.7 m²

蔵 書 数：図書 約 114,000 冊

休 館 日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時

（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）

児童室、2 階の閲覧席の利用は午前 9 時 30 分～午後 5 時



(3) 彦島図書館

沿 革：大正 5 年に本村小学校内に開設された村立のものを源とする。昭和 27 年に彦島公民館が開設されると、ここに下関図書館彦島分館が併設され、彦島公民館が江の浦町一丁目に改築されると、同所 2 階に移設された。現施設は、平成 2 年 3 月に新築移転されたもので、同年 7 月から下関市立彦島図書館として開館した。

位 置：下関市彦島江の浦町一丁目 4 番 28 号

創 設：昭和 27 年（新築移転 平成 2 年 3 月）

構 造 等：鉄筋コンクリート一部鉄骨 2 階建 延面積 1001.77 m²

蔵 書 数：図書 約 66,000 冊

休 館 日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）



(4) 菊川図書館

沿革：菊川図書館の前身である県立山口図書館豊浦分館は、昭和 26 年 12 月に岡枝公民館内に開館した。昭和 32 年 4 月に分館が閉館し、菊川町に移管され、菊川町立菊川図書館が誕生した。その後、昭和 48 年 4 月に現在の場所に移転改築した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝 193 番地 8

創設：昭和 32 年 4 月（移転改築 昭和 48 年 4 月）

構造等：鉄筋コンクリート建 延面積 527.93 ㎡

蔵書数：図書 約 28,000 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時

**(5) 豊田図書館**

沿革：平成 7 年 7 月に豊田町文化教育センターとして、現在地に創設された。平成 17 年 2 月の下関市豊浦郡 4 町の合併により、下関市立豊田図書館に改称。館内には、文化財資料室が併設されており、文書をはじめとする貴重な豊田の文化財を展示している。

位置：下関市豊田町大字矢田 153 番地 1

創設：平成 7 年 7 月

構造等：鉄筋コンクリート 2 階建 延面積 980.415 ㎡

蔵書数：図書 約 43,000 冊、視聴覚 約 2,000 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時

**(6) 豊浦図書館**

沿革：昭和 52 年 12 月、川棚地区に公民館が開館し、館内に 60 ㎡の図書室が設置されたのを源とする。平成 2 年 4 月、公民館内図書室より図書館としての機能が独立する。平成 12 年 10 月、豊浦町商工会の事務所移転に伴い、旧商工会事務所に移転する。その後、豊浦総合支所の改築に合わせ、総合支所 2 階の旧議場を中心に図書館に改装され、平成 26 年 12 月に移転開館した。

位置：下関市豊浦町大字川棚 6895 番地 1

創設：平成 2 年 4 月（移設 平成 26 年 12 月）

施設概要：豊浦総合支所 2 階（延面積 471.06 ㎡）

蔵書数：図書 約 52,000 冊、視聴覚 約 500 点

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時 30 分～午後 7 時（但し、土・日曜日は午後 6 時まで）

**(7) 豊北図書室**

沿革：昭和 58 年に豊北町神田特牛に新設された豊北町町民センター（現在の豊北生涯学習センター）に図書室が設置され、20 年にわたって多くの人に利用されてきた。平成 18 年 4 月、豊北町滝部に開校した豊北中学校内に「豊北図書室」が開設された。

位置：下関市豊北町大字滝部 1244 番地 36（豊北中学校内）

創設：昭和 58 年 4 月（移設 平成 18 年 4 月）

施設概要：豊北中学校 1 階（延面積 350.5 ㎡）

蔵書数：図書 約 20,000 冊

休館日：月曜日、国民の祝日、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日

利用時間：午前 9 時～午後 6 時（但し、日曜日は午後 5 時まで）



3 公民館活動

(1) 公民館運営審議会

委員定数：1 公民館 20 人以内

委員数：男性 120 人 女性 60 人 合計 180 人

任期：2 年（補欠委員は前任者の残任期間）

任務：館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について、調査審議する。

委嘱状況：平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日（本庁管内）

平成 29 年 8 月 1 日～平成 31 年 7 月 31 日（教育支所管内）

(2) 公民館設置状況

公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)	公民館名 (所在地)	構造・延面積 (建設年月)
北部公民館 TEL083-253-3371 (山の田東町 4-13)	鉄筋・1,267.55 m ² 4階建 (昭 49.6 / 増 平 4.3)	檜崎公民館 TELなし (菊川町大字檜崎 790-1)	S造・227.84 m ² 平屋建 (平 2.4)
西部公民館 TEL083-231-6587 (伊崎町一丁目 4-30)	鉄筋・1,747.00 m ² 4階建 (昭 54.4 / 増 平 3.3)	殿居公民館 TEL083-768-0556 (豊田町大字殿居 1039-2)	鉄筋・196.30 m ² 2階建の2階部分 (昭 58.2)
玄洋公民館 TEL083-266-5455 (彦島西山町四丁目 1-28)	鉄筋・1,886.49 m ² 3階建の1階部分 (昭 58.6)	豊田中公民館 TEL083-766-2361 (豊田町大字八道 2544-1)	鉄筋・347.89 m ² 平屋建 (平 3.3)
長府東公民館 TEL083-246-1266 (長府松小田本町 4-15)	鉄筋・2,104.44 m ² 3階建 (平 9.3)	三豊公民館 TEL083-766-3551 (豊田町大字地吉 122)	鉄筋・235.08 m ² 平屋建 (平 6.1)
吉母公民館 TEL083-286-6226 (大字吉母 401-24)	鉄筋・481.56 m ² 2階建 (昭 53.4)	西市公民館 TEL083-766-3511 (豊田町大字矢田 153-1)	鉄筋・373.50 m ² 2階建の2階部分 (平 6.10)
川中公民館 TEL083-255-3501 (伊倉町二丁目 1-1)	鉄筋・2,903.22 m ² 4階建 (平 4.6)	豊田下公民館 TEL083-766-2556 (豊田町大字手洗 285-1)	鉄筋・281.92 m ² 平屋建 (昭 59.3)
川中公民館分館 TEL083-253-6169 (綾羅木本町三丁目 1-20)	鉄筋・1,014.89 m ² 2階建 (昭 40.7)	小串公民館 TEL083-772-2001 (豊浦町大字小串 2207-1)	鉄筋・986.67 m ² 2階建 (平 6.3)
彦島公民館 TEL083-267-1344 (彦島江の浦町一丁目 3-1)	鉄骨鉄筋・3,690.04 m ² 6階建 (平 21.5)	川棚公民館 TEL083-772-2120 (豊浦町大字川棚 6167-2)	鉄筋・1,873.22 m ² 2階建 (昭 52.12 / 増 平 12.1)
長府公民館 TEL083-246-3413 (長府土居の内町 1-6)	鉄筋・2,043.88 m ² 4階建 (昭 38.12)	黒井公民館 TEL083-775-4182 (豊浦町大字黒井 2345-1)	鉄筋・759.81 m ² 2階建 (賃貸借)
王司公民館 TEL083-248-3176 (王司神田一丁目 9-1)	鉄筋・2,018.81 m ² 3階建 (昭 45.4 / 増 平 3.2)	室津公民館 TEL083-772-0055 (豊浦町大字室津下 681-3)	鉄筋鉄骨・448.74 m ² 平屋建 (昭 63.3)
清末公民館 TEL083-282-1056 (清末陣屋 5-20)	鉄筋・1,144.63 m ² 3階建 (昭 47.5)	神玉公民館 TEL083-788-1043 (豊北町大字神田上 2709)	鉄筋・408.00 m ² 2階建 (昭 60.3)
小月公民館 TEL083-282-0661 (小月本町一丁目 7-7)	鉄筋・2,166.39 m ² 3階建 (平 12.4)	角島公民館 TEL083-786-0734 (豊北町大字角島 1413-1)	鉄筋・526.00 m ² 2階建 (昭 63.3)
王喜公民館 TEL083-282-0219 (王喜本町二丁目 15-10)	鉄筋・1,190.04 m ² 3階建 (昭 48.4)	阿川公民館 TEL083-786-1010 (豊北町大字阿川 3752)	鉄筋等・452.00 m ² 平屋建 (平 2.3)

吉田公民館 TEL083-284-0205 (大字吉田地方 2499)	鉄筋・1,121.20 m ² 3階建 (昭 51.10)	栗野公民館 TEL083-785-0001 (豊北町大字栗野 3333-2)	鉄筋・435.00 m ² 平屋建 (平元.2)
内日公民館 TEL083-289-2036 (大字内日下 1146-5)	鉄筋・1,091.28 m ² 3階建 (昭 47.3)	滝部公民館 TEL083-782-1296 (豊北町大字滝部 3397-12)	木造・549.00 m ² 2階建 (平 12.8)
勝山公民館 TEL083-256-2779 (秋根南町二丁目 4-33)	鉄筋・3,692.60 m ² 4階建 (平 26.2)	田耕公民館 TEL083-783-0722 (豊北町大字田耕 4332)	木造・62.00 m ² 平屋建 (平 10.2)
安岡公民館 TEL083-258-4792 (安岡駅前二丁目 7-1)	鉄筋・2,145.00 m ² 4階建 (昭 40.10 / 増 平 2.3)		
吉見公民館 TEL083-286-2121 (大字吉見下 1533)	鉄筋・1,675.88 m ² 3階建 (昭 52.4)		

(3) 公民館利用状況 (平成 29 年度)

(単位：件、人)

公民館名	公用 (生涯・公民館・官公庁等)		公益 (教育・社会福祉等)		登録団体・自主学習グループ (公用・公益以外の減免団体等)		一般 (有料団体など)		総数	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
1 北部公民館	35	1,098	409	5,306	1,681	18,111	510	5,969	2,635	30,484
2 西部公民館	25	617	340	4,872	1,922	24,754	503	3,897	2,790	34,140
3 玄洋公民館	12	403	158	1,291	1,138	10,010	192	2,866	1,500	14,570
4 長府東公民館	108	3,581	198	4,989	2,155	22,857	495	5,959	2,956	37,386
5 吉母公民館	13	214	23	244	64	353	13	67	113	878
6 川中公民館	351	9,567	707	17,901	3,190	37,779	917	11,748	5,165	76,995
7 川中公民館分館	0	0	19	579	513	7,842	11	48	543	8,469
8 彦島公民館	113	2,555	401	7,012	2,154	28,719	529	8,617	3,197	46,903
9 長府公民館	176	2,606	523	8,050	1,640	18,893	514	5,131	2,853	34,680
10 王司公民館	65	2,538	332	7,761	1,164	10,546	319	5,574	1,880	26,419
11 清末公民館	41	1,015	310	6,719	762	8,563	256	3,754	1,369	20,051
12 小月公民館	88	1,724	289	7,419	1,376	16,804	499	6,168	2,252	32,115
13 王喜公民館	28	460	238	5,132	445	4,910	48	462	759	10,964
14 吉田公民館	25	518	190	3,158	126	1,228	97	1,616	438	6,520
15 内日公民館	25	474	243	4,110	183	1,728	59	828	510	7,140
16 勝山公民館	213	5,859	347	7,855	2,988	37,404	1,343	19,562	4,891	70,680
17 安岡公民館	109	1,316	313	5,901	1,737	18,708	625	3,980	2,784	29,905
18 吉見公民館	30	821	162	3,017	766	9,094	50	923	1,008	13,855
19 檜崎公民館	0	0	91	1,282	24	315	11	109	126	1,706
20 殿居公民館	41	418	38	332	5	55	60	377	144	1,182
21 豊田中公民館	44	749	34	457	148	1,153	37	380	263	2,739
22 三豊公民館	33	307	19	202	21	159	2	12	75	680
23 西市公民館	37	830	11	416	0	0	15	524	63	1,770
24 豊田下公民館	65	1,439	33	740	175	1,464	42	410	315	4,053
25 小串公民館	32	591	169	3,493	842	6,654	67	1,369	1,110	12,107
26 川棚公民館	107	1,905	286	6,578	1,686	15,488	344	4,110	2,423	28,081
27 黒井公民館	31	523	117	2,142	423	4,314	199	2,902	770	9,881

28	室津公民館	65	1,187	126	1,828	442	3,225	60	528	693	6,768
29	神玉公民館	12	273	31	578	91	671	90	574	224	2,096
30	阿川公民館	29	435	137	2,240	251	1,403	49	472	466	4,550
31	栗野公民館	15	397	56	777	20	115	15	176	106	1,465
32	田耕公民館	5	27	97	1,973	159	2,595	18	219	279	4,814
33	角島公民館	7	101	61	1,042	24	446	11	333	103	1,922
34	滝部公民館	7	174	83	1,466	588	4,374	282	3,200	960	9,214
	合 計	1,987	44,722	6,591	126,862	28,903	320,734	8,282	102,864	45,763	595,182

4 下関市生涯学習プラザ

沿 草：中央公民館、婦人会館、文化会館の跡地に市民の生涯学習拠点施設として平成22年3月に開館した、図書館と生涯学習施設の機能を備えた社会教育複合施設。

音響性能に優れ、コンサート・演劇・舞踊など幅広いジャンルに対応可能な大ホール・小ホール、式典・講演会などに適した多目的ホールのほか、料理教室、工作・工芸室、パソコンルーム、視聴覚室、音楽室、和室、茶室、会議室など目的性の高い諸室を備えている。(4階、5階は中央図書館)



位 置：下関市細江町三丁目1番1号

建設年月：平成22年2月

構造：地下1階、地上6階

SRC造(一部RC造/一部S造)

敷地面積：4,852 m²

建築面積：4,251 m²

延床面積：18,408 m²

駐車台数：80台/身障5台含む



大ホール（海のホール）

利用状況（平成29年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール (海のホール)	小ホール (風のホール)	多目的ホール (宙のホール)	料理教室	工作工芸室	和室1	和室2	茶室
件数	170	187	367	94	70	156	72	77
人数	68,072	20,248	20,542	2,134	1,325	1,517	1,147	606

学習室1	学習室2	学習室3	学習室4	学習室5	レク室1	レク室2	PC室	視聴覚室
230	197	201	309	213	470	624	33	157
5,843	4,524	2,878	2,476	2,328	5,127	4,381	164	2,804

会議室1	会議室2	大練習室	小練習室	音楽室1	音楽室2	その他	合計
239	223	479	508	330	325	-	5,731
4,143	2,338	6,643	1,507	1,535	744	-	163,026

5 生涯学習センター

(1) 豊田生涯学習センター

沿革：生涯学習の拠点施設として、昭和54年に豊田町制施行25周年記念事業の一環として建設され、今日まで豊田地区の教育・文化・体育振興の中心的役割を果たしてきた。平成13年度に2階ホールに電動式移動観覧席を設置するなど、大規模な改造工事を行い、施設面での整備充実も図っている。

位置：下関市豊田町矢田149番地1

建設年月：昭和54年8月

構造等：鉄筋コンクリート造3階建

延面積 2,510.65 m²

駐車場：134台収容



利用状況（平成29年度）

（単位：件、人）

室名	ホール	ステージ	トレーニング室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	視聴覚室	第1和室	第2和室	計
件数	154	31	142	235	148	159	160	125	121	1,275
人数	5,005	2,139	160	3,340	3,423	488	1,891	1,826	1,672	19,944

(2) 豊北生涯学習センター

沿革：社会教育活動の拠点として、昭和58年に豊北町町民センターとして設置し、平成17年2月13日、合併を期に下関市豊北生涯学習センターと名称を変え、地域の生涯学習に積極的に取り組んでいる。

位置：下関市豊北町大字神田1199-1

建設年月：昭和58年4月

構造等：鉄筋コンクリート造2階建

延面積 3,292.70 m²

駐車場：200台収容



利用状況（平成29年度）

（単位：件、人）

室名	大ホール	中会議室1	和室(I)	和室(II)	調理室	小会議室	展示スペース	作業室	大会議室	中会議室2	視聴覚室	計
件数	72	86	17	7	14	113	7	72	80	2	8	478
人数	3,772	839	232	53	174	878	1,950	508	1,966	21	48	10,441

6 菊川ふれあい会館

(1) 施設概要

沿革：21世紀に向けて「町づくりは人づくり」をテーマに生涯学習の一層の充実を図るとともに、幾世代にわたる交流と賑わいのある中核施設として、平成10年9月に開館した。

位置：下関市菊川町大字下岡枝117番地

建築面積：3,380.89㎡

延床面積：4,093.81㎡

構造：鉄筋コンクリート造 屋根 鉄骨トラス

駐車場：189台収容



(2) 平成29年度の利用状況

利用日数：303日 利用回数：4,339回 利用人数：42,685人

(単位：回、日)

区分	午前		午後		夜間		合計		利用日数	
	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	回数	利用率	日数	利用率
多目的ホール	75	24.8%	99	32.7%	64	21.1%	238	26.2%	98	32.3%
舞台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
楽屋 1	38	12.5%	48	15.8%	30	9.9%	116	12.8%	43	14.2%
楽屋 2	30	9.9%	41	13.5%	28	9.2%	99	10.9%	36	11.9%
楽屋 3	80	26.4%	45	14.9%	29	9.6%	154	16.9%	83	27.4%
リハーサル室	91	30.0%	87	28.7%	134	44.2%	312	34.3%	174	57.4%
ミュージックルーム	49	16.2%	99	32.7%	63	20.8%	211	23.2%	122	40.3%
レクチャールーム1	75	24.8%	81	26.7%	32	10.6%	188	20.7%	114	37.6%
展示室	88	29.0%	87	28.7%	75	24.8%	250	27.5%	85	28.1%
調理室	58	19.1%	69	22.8%	40	13.2%	167	18.4%	72	23.8%
研修室	83	27.4%	97	32.0%	60	19.8%	240	26.4%	118	38.9%
小ホール	95	31.4%	122	40.3%	66	21.8%	283	31.1%	145	47.9%
中ホール	88	29.0%	122	40.3%	108	35.6%	318	35.0%	164	54.1%
女性室	134	44.2%	129	42.6%	58	19.1%	321	35.3%	191	63.0%
和室 1	151	49.8%	96	31.7%	80	26.4%	327	36.0%	199	65.7%
和室 2	151	49.8%	91	30.0%	73	24.1%	315	34.7%	200	66.0%
和室 3	73	24.1%	78	25.7%	42	13.9%	193	21.2%	102	33.7%
創作室	105	34.7%	66	21.8%	22	7.3%	193	21.2%	106	35.0%
レクチャールーム2	176	58.1%	159	52.5%	79	26.1%	414	45.5%	224	73.9%
合計	1,640	28.5%	1,616	28.1%	1,083	18.8%	4,339	25.1%	2,276	39.5%

7 その他社会教育施設

(1) 豊浦ふれあいセンター

沿革：地域の生涯学習を推進するため、昭和 63 年に建設した施設で、交流室、管理室等を一体的に設けた施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 7925 番地 1

建設年月：昭和 63 年 3 月

構造：鉄骨造平屋建

床面積：202.54 ㎡

利用状況（平成 29 年度）（単位：件、人）

件数	131
人数	1,456



(2) 宇賀ふれあいセンター

沿革：旧宇賀中学校舎等を利用し、地域の生涯学習を推進するため平成 18 年 4 月に使用を開始した社会教育施設で、屋内運動場、講座室、グラウンドを持つ施設。

位置：下関市豊浦町大字字賀 4940 番地

建設年月：昭和 55 年 3 月

構造：鉄筋コンクリート 3 階建（1 階は倉庫のため使用不可）

床面積：1,571 ㎡

利用状況（平成 29 年度）

（単位：件、人）

室名	体育館	市民教室					総数
		第 1 講座室	第 2 講座室	第 5 講座室	第 6 講座室	第 11 講座室	
件数	160	102	25	50	2	85	424
人数	2,087	1,883	101	665	4	792	5,532



(3) 小野ふれあいセンター

沿革：旧小野小学校跡地に地域の生涯学習を推進するため、平成 17 年度に新築した施設で、情報発信室、調理実習室、多目的コミュニティ室を設けている。西側には旧小学校体育館があり、屋内スポーツ競技もできる。

位置：下関市豊浦町大字川棚 1486 番地 1

建設年月：平成 18 年 3 月

構造：木造スレート葺平屋建

床面積：281.55 ㎡（本館）

利用状況（平成 29 年度）

（単位：件、人）

室名	情報発信室	多目的 コミュニティ室	和室	調理実習室	特産加工室	体育館	総数
件数	35	53	108	16	35	75	322
人数	288	667	2,064	168	261	382	3,830



8 成人教育

(1) 生涯学習まちづくり出前講座

29年度メニュー 73課所室 263講座

出前講座実施状況（平成29年度）

（単位：回、人）

部局・課	講座名	回数	受講者数
総合政策部			
企画課	下関市総合計画、下関市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1	31
国際課	韓国語講座	1	15
	韓国文化講座	1	25
市民部			
市民文化課	消費者講座	9	1,086
防災安全課	災害に備えて	11	836
	災害図上ゲーム（DIG）	1	14
	幼児の交通教室	5	448
人権・男女共同参画課	人権学習講座	17	1,116
環境部			
環境政策課	環境教室（地球温暖化対策について）	1	148
	環境教室（水質検査）	2	311
クリーン推進課	ごみダイエットとリサイクル	18	850
福祉部			
介護保険課	介護保険制度について	3	72
長寿支援課	地域包括支援センターについて	6	96
	高齢者の福祉サービスについて	2	54
保健部			
保健医療課	知っておきたい薬の知識	2	181
	子どもの救急	5	102
	感染症の予防について	2	87
成人保健課	“がん”について正しく知ろう	1	19
	たばこと健康	2	116
	認知症ってな～に？	1	13
	こころの健康講座②	5	143
保健総務課	ふくふく健康講座	0	0
	ふくふく健康講座（こども編）～生活リズムを整えよう～	12	683
	こころん体操	4	130
生活衛生課	食中毒予防について	1	7

部局・課	講座名	回数	受講者数
試験検査課	見る！感じる！科学講座 2016	1	6
	科学検査のバックヤードツアー	1	3
観光交流部			
観光政策課	下関の観光について楽しく学ぼう！	4	105
観光施設課 (園芸センター)	タネ！	7	356
	クサ！	3	128
	ハナ！	1	21
スポーツ振興課	セキレック教室	1	39
	スロージョギング教室	1	30
	各種レクリエーション・スポーツ教室	12	672
まちなみ住環境整備課	空き家対策について	1	12
上下水道局			
水道局企画総務課	出張！水道教室	4	123
教育委員会			
生涯学習課	家庭教育	2	63
	百聞は一体験に如かず 友達づくり 1・2・3！	11	346
文化財保護課	下関歴史探検	1	16
	下関文化遺産	3	91
文化財保護課 (歴史博物館)	下関の歴史	6	681
	高杉晋作と下関	4	181
考古博物館	「古代の技術」体験教室	10	357
	下関の考古学	1	14
美術館	美術館へようこそ	1	81
土井ヶ浜遺跡 人類学ミュージアム	ホネホネウオッチング	6	186
その他団体			
生涯学習プラザ	ドリームシップ舞台裏探検隊	1	17
下関市環境みらい館	リサイクル体験講座	10	295
独立行政法人 水産大学校	日本の海、世界の海	1	41
	北太平洋の海ゴミの漂流	1	22
	ドローンから見える海と船	8	325
	宇宙空間から見える海と船	2	122
海響館	海響館いきもの探検隊Ⅰ飼育員の仕事	3	155
	海響館いきもの探検隊Ⅱイルカ・アシカのトレーニング	1	51
	海響館いきもの探検隊Ⅳ生き物クイズ	9	596

部局・課	講座名	回数	受講者数
障害者スポーツセンター	障害者スポーツ出前・体験教室	3	196
中国財務局 山口財務事務所 下関出張所	身近で起こる金融トラブル	1	42
山口合同ガス	天然ガスおもしろ実験	9	454
山口県廃棄物協会	環境出前授業	4	96
関門医療センター	健康応援講座 1 生活習慣病予防講座	0	0
	健康応援講座 2 女性総合診療	1	30
	健康応援講座 7 出前で行う救急蘇生講習	1	17
	健康応援講座 11 子供の生活習慣病予防	1	70
下関市立市民病院	子どもの感染症	1	6
	(誤嚥性) 肺炎を予防しよう	1	25
	腰痛予防	1	14
	転倒予防教室	5	218
西日本高速道路(株)九州支社 北九州高速道路事務所	関門橋見学会	1	10
下関地域温暖化防止推進員グループ	省エネの話	1	33
日本証券業協会 普及推進部	はじめての資産運用講座 (基礎編)	1	13
済生会下関総合病院	あなたにもできる救急蘇生	2	50
	がん予防とがん検診について	2	51
	ノロウイルス対策	2	40
	食事をおいしく食べるために	1	102
	みんな知りたい血圧の話	1	60
下関医療センター (旧厚生病院)	「ストレス」って何だろう？	1	25
山口県弁護士会下関地区	騙される、その前に	1	18
	ネット社会の法律問題	2	113
国土交通省 九州地方整備局 下関港湾空港技術調査事務所	「みなと」の役割ってなに？	3	160
山口県自閉症協会下関分会	発達障害ってなに？	1	11
長州科楽維新プロジェクト	おもしろ科学教室	30	1,347
学校法人下関文化産業専門学校	子どもの手芸	1	20
	計	308	14,939

(2) 市民文化セミナー

実施状況(平成 29 年度)

テ ー マ	講 師	期 間	受講者数	実施地区
第1分野「古より伝えられしもの in 下関」全3回	下関市考古博物館 藤本 有紀 外	6 月 ~ 9 月	43 人	下関地区
第2分野「理系伝道者 免許皆伝 下関」全4回	長州科楽維新プロジェ クト 外	6 月 ~ 9 月	5 人	下関地区
アブニール学級「萬屋手話本舗」	手話漫才師 ぶ〜&み〜企画	2月	200 人	菊川地区
響感ピアノ、ふれあいコンサート	トロンボーン奏者 小野隆洋 外	10月27日 ~11月9日	190 人	菊川地区
悠友大学 「歴史講座 神々の交流」外5回	豊北歴史民俗資料館 吉留 徹 外	7 月 ~ 1 月	121 人	豊北地区

(3) 関門海峡・温故知新塾

実施状況(平成 29 年度)

テ ー マ	講 師	期 間	受講者数
未来へつなぐ関門の宝もの	北九州市市民文化スポー ツ局自然史・歴史博物館 歴史課 歴史担当係長 日比野 利信 外	7 月~11 月	60 人

(4) 市民学級

市民学級実施状況(平成 29 年度)

(単位:人)

公民館名	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
彦 島	なつかしの歌声教室、元気になるヨガ、ハワイ料理教室、カフェ オレ実演とコーヒーを愉しむ	なつかしの歌声 講師 山根 徹 外	6 月~12 月	69
長 府	ミニトランポリン、源氏物語講座、行政書士によるお話、陶芸教 室、なつかしの歌声をもう一度、絵遊び文字あそび、パン教室	山口県おさんぼりん協会 門脇 久美子 外	5 月~11 月	79
王 司	認知症予防講座、足操術、切り絵教室、お魚まるごと料理教室、 男性の料理教室、しめ縄かざり作り	認知症ケア指導管理士 上村 辰美 外	5 月~12 月	109
清 末	みんなで歌おう、介護保険制度について、心と身体の健康体操(全 5回)、創作活動・押し花、料理教室 お魚料理、節分 のり 巻き作り	登録団体講師 田村 優子 外	6 月~2 月	170
小 月	知っておきたい終活~エンディングノート、パン教室、ミニトラン ポリン、パソコン教室入門編(全3回)、絵手紙教室、童謡み んなで大合唱♪、郷土町歩きツアー、絵あそび文字あそび	行政書士 西谷 佳記 外	5 月~11 月	182
王 喜	笑いヨガ、介護保険について、子どもの救急、だまされないで!! ~実例に学ぶ、健康体操①、防災教室、健康体操②、健康寿命 をのばす運動、料理教室、新年を迎える干支飾りづくり、生け花 (お正月の花)	ラフターヨガインターナ ショナル認定講師 向江 伸子 外	4 月~12 月	707
吉 田	健康体操①②③、七夕飾りづくり、もみじウォーク&ノルディッ クウォーキング、料理教室、恵方巻きを作ろう	吉田地区保健推進委員会 会長 岡田 タカ子 外	5 月~2 月	200
内 日	平家太鼓に合わせて踊りましょう、音楽に合わせて楽しいフラダ ンス♪、体操でリフレッシュ、おやじの料理教室(魚料理)	内日夏祭り平家太鼓 保存会 清水 公彦 外	7 月~1 月	63
勝 山	整体体操・足操術でリラックス、ヤッホー! 楽々体操①②、認知 症講座、よくわかる遺言・相続、押花体験教室	登録団体講師 中村 清子 外	6 月~11 月	167
川 中	知っておきたい終活~エンディングノート・遺言・任意後見、さ わやか健康体操、陶芸教室、消費者講座、スロージョギング教室、 かっちゃん干支の年賀状に挑戦!、栄養満点! からだにやさし いおかず、クラフトお雛さま作り	行政書士 西谷 佳記 外	5 月~1 月	234

安 岡	骨盤体操、健康体操、地域包括支援センターってどんなどこ、料理教室	体操インストラクター 西川 登志美 外	5月～11月	105
吉 見	菓の正しい使い方講座、陶芸教室、料理教室、クラフトテープでクリスマスリースづくり、そば打ち体験教室、正月フラワー講座	山口県薬剤師会 外	6月～12月	78
吉 母	太極拳教室、歌はともだち、歌謡教室、下関史跡探訪、紙人形教室、料理教室	太極拳講師 宋 大慶 外	6月～11月	117
北 部	刃物研ぎ、足操術、パソコン教室（全4回）、介護教室「予防トレーニングと音楽」	刃物研ぎ教室講師 河野 勝宣 外	5月～2月	99
西 部	刃物研ぎ教室、健康体操、童謡を歌おう、エンディングノートと遺言	刃物教室の会 代表 河野 勝宣外	7月～1月	107
玄 洋	グラウンドゴルフ教室、笑いヨガ教室、刃物研ぎ教室、肩凝り腰痛ラクラク体操、健康太極拳教室	玄洋グラウンドゴルフ 同好会 北永 克彦 外	9月～12月	126
長 府 東	みんなで歌いましょう、おやじ料理教室、セカンドステージに向けた予防運動、初歩の陶芸教室、かわいいちぎりパンを作ろう！、足操術、ちりめんの干支作り、クリスマスリース作り、簡単おひなさま作り	松本 美佐緒 外	5月～1月	216
殿 居	歴史探訪講座 紙箱折り ところてん作り いぎ餅作り ニッコリ体操教室 終活講座 園芸講座 着物着付教室 布草履作り こんにゃく作り 着物リフォーム教室	田中 和夫 外	4月～3月	442
豊 田 中	料理教室 グラスアート体験教室 成人学級 健康体操 手芸教室 史跡発見ウォーキング いきいきふれあい教室（いぎ餅作り 夏向けリースづくり かご入り子ねこ作り 寄せ植え等） 編物教室 園芸教室 木工教室	國重 辰枝 外	4月～3月	519
三 豊	着付け教室 パン教室 着物リフォーム教室 陶芸教室 健康教室 料理教室 華道教室 手芸教室 音楽教室 華道教室 切り絵教室	小川 ふさ子 外	4月～3月	347
西 市	歴史・郷土史講座 暮らしに役立つ教室 シニア教室 お菓子・料理教室（ジビエ料理、デコ巻きほか） 手作り教室（アロマワックスサシェ 古新聞のエコバッグ作り 風船袋のお飾り作り）	田中 俊郎 外	4月～3月	226
豊 田 下	ふるさと歴史発見教室 チャレンジ教室（デコパン作り、グラスアート いぎの葉団子作り 木工教室 フランスパン作り クッキー作り ところてん作りほか） 地域ふれあい講座 高齢者学級	清廣 哲也 外	4月～3月	282
小 串	ストレッチヨガで心も体もコンディショニング、親父の料理教室、パソコン教室、健康体操、生花教室	平山 珠代 外	6月～12月	94
川 棚	はじめての太極拳、ハーブ教室、男の料理教室、アロマ教室、男の料理教室（魚だよ）、お正月の寄せ植え、そばうち教室、薬膳料理教室、クラフトテープで雑貨作	佐々木 美智江 外	5月～2月	115
黒 井	美味しいお茶の入れ方講座、トールペインティング教室、そば打ち教室、しめ縄作り教室、料理教室	金谷 研 外	6月～3月	94
室 津	懐かしい歌を歌おう合唱教室、日本茶について学ぶ教室、さわやか夏のアロマ教室、室津盆踊り教室、カラーセラピー体験教室、楽しむための歌い方講座（発声方法、歌・声のコンプレックス克服）、古布絵体験教室、蕎麦打ち体験教室、しめ縄作り教室、ひな祭りのデコ巻き寿司料理教室、べんりて簡単！毛糸のお掃除グッズ作り、生の落語にふれ日本の伝統芸能に親しむ	首藤 三千代 外	6月～3月	318
神 玉	郷土文化歴史講座	熊井 清雄	6月	55
阿 川	そば打ち体験教室（2回）	中塚 芳希	8月、12月	35
粟 野	クラフトバッグづくり、キーマカレーを作ろう！、糖尿病予防講演会	粟野地区ヘルスメイト 外	5月～2月	151

社会教育 関係施設	学 習 課 題	講 師	期 間	参加者数
菊 川 ふれあい 会 館	夏の寄せ植えと土づくり、和紙ちぎり絵、歴史講座、しめ縄づくり教室、野鳥観察教室、パソコン教室、薬膳料理教室、刃物研ぎ教室、みんなで楽しく！3B体操教室、デコまき寿司をつくらう	木本 豊彦 外	5月～3月	377
豊 田 生涯学習 センター	大人の色鉛筆画講座 歴史講座 クッキング講座 ものづくり講座 マットピラティス&ひめトレ講座 春待ちコンサート	漆間 朋道 外	5月～3月	278
宇 賀 ふれあい センター	デコ巻き寿司教室、救命教室～AEDの操作訓練～、おやじ料理教室、みそ作り教室、絵手紙教室（簡単にできる手作り年賀状）、そば打ち教室、パン作り教室	下手 知子 外	6月～3月	113
豊 北 生涯学習 センター	デコもち教室、そば打ち教室、ミニトランポリン教室、デコパージュ&ロゼッタ教室、足操術教室、ローカーボ料理教室、虫よけアロマスプレー教室、	札本 路美子 外	5月～3月	74

(5) 社会教育関係団体（平成30年度）

（単位：人、円）

団体名	代表者	団体の目的	会員数	補助金支出予定額
下関ユネスコ協会	小田 明	ユネスコ精神の普及徹底と国際理解・交流・支援を深めるための活動を行う。（生涯学習課に事務局）	50	—
下関市幼稚園PTA連合会	崎田 康 広	健全なPTA活動を推進するため単位団体相互の連絡・資料交換・研修等を行う。	(10 団体) 406	—
下関市小学校PTA連合会	松永 英 治	同 上	(49 団体) 13,478	—
下関市中学校PTA連合会	植田 和 公	同 上	(23 団体) 6,594	—
下関市PTA連合会	佐々木 猛	幼・小・中PTA連合会活動の統合・調整・情報交換・合同研修会を行う。	(82 団体) 20,478	756,000
下関市連合婦人会	和崎 法 子	婦人の資質向上と、社会参加をめざし、自主的活動を行う。	735	800,000
下関市子ども会連合会	関 谷 博	各小学校区子ども会連合会相互の連絡調整を行う。子ども会の団体活動を通じて、青少年の健全育成に寄与する。	2,800	854,000
下関スカウト育成協議会	前田 晋太郎	スカウト加盟団体相互の連絡調整を図り、スカウト活動の健全なる育成発展に寄与する。	(3 団体) 122	310,000
下関海洋少年団	西島 朋 宏	海や船に関する知識や技術を学ぶ機会を提供し、心身ともに健康でたくましい青少年の育成をめざす。	36	—
菊川町青年団	長元 宏 樹	交流会等事業実施や菊川地区イベント参加による青年団活動の推進及び積極的な社会参加の促進を図る。	5	—

(6) PTA地域活動（平成30年度）

PTA連合組織と会員数

（単位：団体、人）

団体名	会 長	事務局所在地	単位 団体数	会 員	内 訳	
					児童数	教職員
平成29年度			85	20,869	19,200	1,669
平成30年度			82	20,478	18,815	1,663
下関市幼稚園PTA連合会	崎田 康 広	唐戸町4番1号 カラトピア内5階	10	406	352	54
下関市小学校PTA連合会	松永 英 治		49	13,478	12,417	1,061
下関市中学校PTA連合会	植田 和 公		23	6,594	6,046	548

9 家庭教育

(1) 平成 29 年度地域ふれあい活動（学校外活動）

（単位：人、回）

公民館名	参加者数	開設回数	主 な 学 習 内 容
彦島公民館	74	4	ポシエット作り、夏休み陶芸教室、似顔絵パン作り、ケーキづくり教室
長府公民館	143	5	パン教室、料理教室、エネルギー教室、万華鏡作り、おもしろ科学教室
王司公民館	168	6	アロマワックス作り、おもしろ科学教室、敬老の日のお花、クリスマスリース作り、ジャンボかるたで遊ぼう、お菓子作り
清末公民館	351	8	おもしろ科学教室、お話会とソーメン流し・木工教室、ぼうさいにかんするおはなし、えいごであそぼう sing & dance、お話し会とアップルパイ作り、清末の今と昔を語る、お話し会とお餅つき〜リースか凧も作るよ〜、こどもなぎなた教室
小月公民館	470	21	習字と硬筆、クッキーづくり、パン教室、夏休みの工作、科学実験、茶道教室、ホネホネウォッチング、おやつ作り、体育教室（運動遊び）、料理教室
王喜公民館	448	11	陶芸教室（成形、仕上げ）、出張! 水道教室、手芸教室、ミニトランポリン、サイエンス教室、人形劇とお話し会、たこづくり、どんど焼きとたこあげ大会、いちご大福作り
吉田公民館	379	7	灯籠づくり、子ども料理教室、遊びながらの体操教室、キッズミニトランポリン、昔あそび、クリスマス会、どんど焼き&防災訓練
内日公民館	125	3	手づくり陶芸教室、伝統工芸 輪飾り作り、ミニコンサート（ハンドベルとトーンチャイム）
勝山公民館	312	5	こども囲碁入門教室、夏休みのランチづくり教室、こども陶芸教室、楽しい読書とクリスマス会、しめなわ飾りづくり教室
川中公民館	640	40	囲碁教室、花あそび教室、料理教室、グラウンドゴルフ教室、生け花教室
安岡公民館	115	4	こども陶芸教室、ホネホネウォッチング、楽しいお話の会及び手作り遊び（2回）
吉見公民館	99	6	おもしろ科学教室、絵本の読み聞かせ、ふるさとの川の生きものの観察教室、レーザークラフト教室、めざせ！ちびっこパティシエ、デコ巻き寿司教室
吉母公民館	43	2	読み聞かせと料理教室、陶芸教室、
北部公民館	51	5	絵画教室（全3回）、工作教室、親子パン教室
西部公民館	42	4	空手をやってみよう、陶芸教室、工作教室（科学工作実験）、チョコレート作り
玄洋公民館	80	4	親子陶芸教室、トールペイント教室〜レジンを使って〜、親子書道教室、親子お菓子作り教室〜ハロウィン編〜
長府東公民館	197	6	似顔絵パン教室、勾玉づくり教室、陶芸教室、おもしろ科学、たねのふしぎ、クリスマス会
殿居公民館	361	32	大正琴 茶道 川の水調べ フラワーアレンジメント 浦安の舞 しめ縄作り ハンドベル 絵手紙
豊田中公民館	279	18	子ども料理教室 こけ玉作り 習字教室 豊北町の歴史と自然 たなばた飾り作り 海響館出前講座 史跡解説 工作 クリスマスツリー作り
三豊公民館	15	1	夏休み子ども陶芸教室
西市公民館	217	14	親子料理教室 和風ビザ作り 茶道教室 書道教室 クラフト教室 お花教室
豊田下公民館	1,053	45	料理教室 茶道教室 やじろべえ作り アフピー体操 グラスアート教室 コサージュ作り 百人一首 ふるさと体操教室 工作教室 養蜂体験 寺子屋
小串公民館	128	4	親子盆踊り教室、しめ飾りづくり教室
川棚公民館	171	6	ウォーキング教室、ママとキッズのエクササイズ、夏休み手づくり木工教室、陶芸教室、音楽で遊ぼう、しめ縄作り教室
黒井公民館	192	9	母の日のフラワーアレンジメント教室、カラーセラピー教室、親子料理教室、色のぬり方教室、親子体操教室、男性料理教室、竹馬作り教室、ちりめんのおひな様作り、育児相談教室
室津公民館	188	11	夏休み子ども太鼓教室、夏休み子ども料理教室、地元の魚を知り海に親しむ釣り教室、英語であそぼう！ハロウィンパーティー、凧作り教室、百人一首かるた教室、バレンタインのお菓子教室
神玉公民館	26	2	なにを作ろう？夏休みこども講座、マジック教室
角島公民館	47	3	陶芸教室、サイエンス教室、百人一首大会
合計	6,414	286	

(単位：人、回)

社会教育関係施設名	参加者数	回数	主な学習内容
菊川ふれあい会館	273	12	わんぱくいけばな教室、わんぱく料理教室ほか
豊田生涯学習センター	235	5	わくわく実験講座、春待ちコンサート
宇賀ふれあいセンター	14	1	陶芸教室
豊北生涯学習センター	37	1	工房の森(小学生体験工房)

(2) 家庭教育学級【幼稚園・こども園】(平成29年度)

(単位：人、回)

実施園・校	参加者数	開設回数	主な学習内容
第一幼稚園	41	1	からだを使った体育遊び
第五幼稚園	55	2	深坂の森の幼稚園、絵本は子育てに役立つか
豊浦幼稚園	134	2	親子で絵本作り 朝ご飯を親子で作ろう
小月幼稚園	124	2	心の栄養の大切さについて 3B体操
江浦幼稚園	66	3	絵本の力(育つもの・育てるもの) 幼児理解と保護者対応 1年生になるにあたって
清末幼稚園	245	4	深坂の森の幼稚園 からだを使った体育遊び 3B体操 よりよいしつけは子どもへの贈り物
生野幼稚園	62	2	親子で絵本作り 朝ご飯を親子で作ろう
向山幼稚園	41	2	子どもへの上手なかかわり方 深坂の森の幼稚園
川中西幼稚園	114	3	からだを使った体育遊び、友だちづくり! 1・2・3!! 1年生になるにあたって
川中幼稚園	154	2	小学校入学までに身につけさせたい力とは? こころん体操
垢田幼稚園	30	2	深坂の森の幼稚園 からだを使った体育遊び
王喜こども園	56	1	家族のふれあいは親子の会話から
室津幼稚園	30	1	親子でクッキング!
黒井こども園	134	3	親子お茶席会
川棚こども園	204	3	エアロビクス、お茶席体験
合計	1,490	33	

(3) 家庭教育学級【小学校】（平成 29 年度 大人の学び塾）

「家庭教育学級【小学校】」は、平成 28 年度より実施している「保護者、地域の大人」を対象とし、「気づき、考え、学ぶ」ことを体験してもらうことで、家庭教育力の向上を目的とする。家庭をめぐる問題が困難化する中で、より効果的な家庭教育支援を実施するために、学校等を会場とし、就学時検診・参観日・学校保健委員会・PTA 研修会など多くの保護者が集まる機会を活用し、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

・家庭教育学級【小学校】実施状況（平成 29 年度 大人の学び塾） (単位：人)

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内小学校 17 校	「どの命にも価値があり、生まれてきて、いき続けることは奇跡の連続である」ということを、大人とこどものそれぞれの視点で実体験をもとに、講演会を行った。	助産師・思春期相談士 内田 美智子	4月13日 9月7日	50
	長年のカブトガニの保護や生態研究における命の大切さや命を守る働きについて講演を行った。	山口カブトガニ研究懇話会 代表 原田 直宏	4月13日	10
	「子どもたちに伝えたい！親として、大人として、地域として」熊丸氏を招き、笑いあり涙ありの子育て講演会を行った。	子育てアドバイザー 幼児教育・家庭教育専門家 熊丸 みつ子	10月6日 10月18日 10月19日 11月19日 1月18日	312
	青少年にとって良くも悪くも影響力の大きいツールとなっているスマホやネット、とりわけ SNS に関する最新の状況やトラブル事例を紹介し、その対策について、置鮎氏を招き、元 PTA 会長として、保護者目線の講演会を行った。	プランニングオフィス ラバーリング代表 置鮎 正則	10月5日	10
	自らの体験をもとに、学習障がいなどの発達障がいへの正しい理解について講演を行い偏見や差別などさまざまな人権問題を考える機会となった。	映画コメンテーター 和田山企画 代表 大橋 広宣	10月17日 10月19日 1月23日	88
	著書「はなちゃんのみそ汁」の実話をもとに、生きることの大切さや人を愛することのすばらしさを伝え、食育、命、家族の絆について考える講演となった。	西日本新聞社 編集委員 安武 信吾	11月6日	80
	アメリカと日本の子育て事情や健康等に関する考え方の違いなどを知ることで、今後の子育ての一助となる講演となった。	山口県立大学国際文化学部 教授 ウィルソン エイミー	1月22日	17

	絵本「いのちをいただく」の主人公である食肉解体業の坂本氏を招き、体験談を聞くことを通して、いのちの尊厳、食の意味や大切さを感じる講演会を行った。	元熊本市食肉センター勤務 坂本 義喜	9月14日 10月3日	57
	メディアに関わる健康被害や心と体の健康を守るための適切な関わり方などについて、古野氏を招き、メディアについての知識を身に付け、正しい判断力と実践力を養う講演会を行った。	「子どもが未来」代表 NPO法人子どもとメディア 常務理事 古野 陽一	10月31日	25

(4) 女性団体の育成

○下関市連合婦人会

会 長 和崎 法子

会 員 数 735人（平成30年4月現在）

重点目標

- ・安心安全のまちづくり活動を推進し地域の絆を深めよう
- ・青少年健全育成を進め明るい社会につなげよう
- ・日常生活を見直し防災・環境意識を高めよう
- ・生涯学習をすすめ健康ではつらつと生きよう
- ・ルールとマナーを守り交通事故のない社会をつくろう

10 下関みらい塾事業

「下関みらい塾事業」は、平成16年度から始まった事業で、下関の子供達に夢や希望を与え、未来に羽ばたく人物を育成することを目的として、各分野の第一線で活躍している人材に、自身の人生や専門の世界についての講演で、子供達に熱いメッセージを送ってもらい機会をつくる。

平成23年度からは、間近で講演が聴くことができ、より多くの子供達に深く感動してもらえるよう、講師が各学校に出向く「出前型」での講演会を実施した。

・下関みらい塾実施状況（平成29年度）

（単位：人）

実施場所	内 容	講 師	日 時	参加者数
市内小学校 3校 市内中学校 13校 計 16校	「命・生きること・産まれること」というテーマで、助産師・思春期保健相談員として各地で講演活動をされている内田氏を講師として招き、直接学校に出向いてもらい講演会を行った。	助産師・思春期 保健相談員 内田 美智子	4月14日 6月17日 6月30日 11月20日	965
	「夢を持って前を向いて生きていくこと」「自分や周りの人々を大切に生きていくこと」をテーマに、一線で活躍している中村氏を講師として招き、直接学校に出向いてもらい講演会を行った。	クロフネカンパニー 代表取締役 中村 文昭	11月9日 11月10日	1,025

	<p>奇跡的に命をとりとめ、多くの人達に支えられて生きていることに気づいた腰塚氏が、命の大切さ、生きていることの素晴らしさ・両親・家族・仲間の大切さなど、普段の生活の中で当たり前と感じ、忘れかけている大切な幸せや、人は皆誰かを照らす存在であるというメッセージを送ってもらう講演会を行った。</p>	<p>株式会社命の授業 代表取締役 腰塚 勇人</p>	<p>10月2日 10月3日</p>	<p>1,863</p>
	<p>「いのちの授業～いのちを大切にすることをはぐくむ」をテーマに、小児がんの少女と家族の姿を通じて、「いのち」、「家族」、「いきる」を見つめ直す講演会を行った。</p>	<p>NPO法人 いのちをバトンタッチする会 理事 鈴木 中人</p>	<p>4月13日</p>	<p>980</p>
	<p>2000年に来日し、ALTとして活躍中であるルーカス氏を講師として招き、自身の東日本大震災被災体験と、震災を通して感じた音楽の力について、トーク・ライブ・レッスンという形で講演会を行った。</p>	<p>シンガー・ソングライター ゴスペルアーティスト ジャマイカ親善大使 ジョン・ルーカス</p>	<p>6月5日</p>	<p>986</p>

11 豊田ホタルの里ミュージアム

(1) 施設概要

沿革：昭和 32 年に豊田町を貫流する木屋川がゲンジボタルの発生地として天然記念物の指定を受けたが、河川改修工事等による影響でゲンジボタルが減少した。そこで、町内の有志や小学校等によりさかんに保護活動が行われた。豊田ホタルの里ミュージアムは、これらホタルの保護活動の拠点として、また、ホタルとそれを取り巻く豊田町の自然の情報を全国に発信する場所として平成 16 年 6 月 5 日開館した。

位置：下関市豊田町大字中村 50-3

敷地面積：10,480 m²

構造：鉄骨造平屋建

建設面積：1,455 m²

延床面積：1,377 m²

常設展示室 349 m² シアター室 43 m²

ネイチャーラボ 24 m² 多目的ホール 138 m²

エントランスホール 169 m² その他 654 m²

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

(但し最終入館は午後 4 時 30 分)

※6 月の開館時間は変更になることがある。

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/28～1/4）

入館料：大人 200 円 大学生等 100 円

団体（20 名以上） 大人 160 円 大学生等 80 円

以下の者は無料

- ・高校生以下の者
- ・65 歳以上で市内および北九州市に居住する者
- ・居住地に関係なく 70 歳以上の者
- ・障害者手帳の交付を受けている者（障害者程度が 1～4 級までの者については付き添い一人を含む。）



平成 29 年度月別利用状況表

(単位：日、人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26	26	28	26	27	26	26	26	23	23	24	27	308
総入館者数	999	3,003	4,176	2,395	4,810	1,507	864	1,051	849	587	744	1,134	22,119

12 青少年教育

(1) 青少年健全育成事業

① 青少年問題協議会

ア 委員数 15 名（会長は委員の互選による、委員は関係行政機関の職員及び学識経験者のうち市長が委嘱又は任命）

イ 専門委員 必要に応じ任命する。

② 青少年健全育成市民会議

○ 下関市青少年健全育成市民会議 昭和 60 年 11 月 15 日発足

ア 委員等：86 名

（会長は市長、副会長 7 名、顧問 3 名、参与 5 名、企画・運営委員 18 名、委員 52 名）

- ・ 総 会 開催日 平成 29 年 7 月 18 日（火）
会 場 下関市教育センター大研修室
参加者 107 名
- ・ 青少年健全育成推進大会 開催日 平成 29 年 11 月 13 日（月）
会 場 下関市教育センター大研修室
参加者 211 名
- ・ 標語募集 最優秀 3 点 優秀 5 点 佳作 8 点
- ・ 功労者表彰 個人 8 名

イ 各地区（校区）育成協議会の活動助成 2 団体 講演会の講師謝礼の一部を助成する。

○ 菊川町青少年育成町民会議（菊川教育支所管内） 平成 2 年 1 月 20 日発足

ア 運営委員：13 名（会長、副会長 2 名、常任委員 8 名、監事 2 名）代議員 42 名

イ 主な事業

- ・ 常任委員会及び代議員会議 開催日 平成 29 年 7 月 19 日（水）
会 場 菊川ふれあい会館（アブニール）
参加者 25 名

(1) ブックトーク&選書会共催

(2) 国体出場等祝い懸垂幕作成 他

○ 豊田町青少年健全育成町民連絡協議会（豊田教育支所管内）

5 月 県青少年育成県民会議総会参加 1 名

7 月 市青少年健全育成市民会議総会参加 2 名

11 月 市青少年健全育成推進大会参加 2 名

○ 豊浦町青少年育成町民会議（豊浦教育支所管内）昭和 57 年 9 月 6 日発足

ア 役員 30 名（会長、副会長 4 名、顧問 2 名、理事 18 名、監事 2 名、事務局 3 名）

イ 地域活動の拡充と推進体制の整備

- ・ 総 会 開催日 平成 29 年 6 月 3 日（土）
会 場 下関市立川棚公民館
参加者 90 名
- ・ 青少年育成関係団体連携セミナー 開催日 平成 29 年 12 月 2 日（土）
会 場 下関市立川棚公民館
参加者 68 名

ウ 青少年の社会活動参加への啓発促進

- (1) 「私の主張」発表大会 開催日 平成30年2月10日(土)
 会場 下関市立川棚公民館
 発表者 22名 聴衆 180人

- (2) 青少年の自主性や社会性を育むスポーツ・団体活動への参加奨励及び支援
 放課後子供教室及び各地区民会議への支援

○豊北町青少年健全育成連絡協議会（豊北教育支所管内） 昭和57年発足
 協議会委員27名（会長、副会長1名、監事2名、委員21名、事務局2名）

ア 主な活動

- (1) 「少年非行防止と社会を明るくする運動」及び「青少年健全育成」啓発活動
 (2) 薬物乱用防止ヤングキャンペーン
 (3) 社会を明るくする運動豊北町推進大会
 (4) 子供110番の家のぼり設置更新

③成人の日記念行事

対象者：平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの人

○本庁管内

- ア 開催日 平成30年1月7日(日)午前11時～午後0時30分
 イ 会場 下関市民会館
 ウ 参加者 1,047名
 エ 行事内容 (1) 式典 市長・議長祝辞、はたちのメッセージ
 (2) 実行委員会主催「はたちの交流会」

○菊川・豊田総合支所管内

- ア 開催日 平成30年1月7日(日) 午後1時～午後4時
 イ 会場 菊川ふれあい会館
 ウ 参加者 89名
 エ 行事内容 (1) 式典 市長・来賓祝辞、はたちの誓い
 (2) 記念写真撮影
 (3) 実行委員会主催アトラクション

○豊浦・豊北総合支所管内

- ア 開催日 平成30年1月7日(日) 午後2時～午後4時
 イ 会場 夢ヶ丘スポーツセンター
 ウ 参加者 197名
 エ 行事内容 (1) 式典 市長・議長祝辞、はたちの提言
 (2) 記念写真撮影
 (3) アトラクション

④学校・家庭・地域の連携協力推進事業

ア ふるさと下関協育ネット事業の実施

- (1) 本庁管内 17小学校 10中学校
 (2) 菊川教育支所管内 3小学校 1中学校
 (3) 豊田教育支所管内 3小学校 1中学校

- (4) 豊浦教育支所管内 2 小学校 1 中学校
- (5) 豊北教育支所管内 1 小学校
- イ 放課後子供教室の実施（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の 2 教室を含む）
 - (1) 本庁管内 11 教室（土曜日の教育支援体制等構築事業で実施の 2 教室を含む）
 - (2) 菊川教育支所管内 3 教室
 - (3) 豊田教育支所管内 3 教室
 - (4) 豊浦教育支所管内 5 教室
 - (5) 豊北教育支所管内 1 教室
- ウ 平成 29 年度子供指導者研修会
 - 開催日 平成 30 年 2 月 23 日(金)
 - 会 場 下関市体育館
 - 参加者 29 名
 - 内 容 「ニュースポーツを体験しよう！」

(2) 青少年非行防止対策業務

①青少年補導センター

- ア 所 在 地：下関市幡生新町 1 番 1 号 下関市教育委員会教育部生涯学習課内
- イ 設 置 年 月 日：昭和 39 年 4 月 1 日
- ウ 活動地域の青少年人口：13,918 人（14 才～20 才未満）平成 30 年 3 月 31 日現在
- エ 活動地域の関係機関：家庭裁判所 1、警察署 3、児童相談所 1、小学校 49、中学校 23、
高等学校 16、中等教育学校 1、特別支援学校 3、短期大学・大学等 5
- オ 職員配置：所長 1 名、青少年健全化推進員 2 名、青少年相談員 1 名

②青少年補導センター運営協議会

- ア 委 員：14 名（教育委員会委嘱、任期 2 年、会長は教育長）
- イ 委員の構成：主任家庭裁判所調査官、警察署生活安全課長（3 署）、児童相談所長、中学校長代表、
高等学校代表、PTA 連合会代表、保護司会代表、民生児童委員代表、婦人会代表、
防犯対策協議会代表、青少年補導委員代表 市教育委員会教育長 計 14 名
- ウ 任 期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
- エ 会 議：年 1～2 回開催

③青少年補導委員

- ア 青少年補導委員状況(平成 30 年 6 月 1 日現在) (単位：人)

区 分	委 員 数	内 容
一 般	143	16 育成協単位(17 校区)
小 学 校	31	各校教員 1 名
中 学 校	17	〃
高 等 学 校	13	〃
職 域	4	デパート、スーパーマーケット等各 1 名
合 計	208	

- イ 任 期：2 年(現在の任期 平成 29 年 6 月 1 日～平成 31 年 5 月 31 日)
- ウ 青少年補導委員幹事：各所属区分毎に 1 名 計 20 名
毎月 1 回幹事会を開催して情報の交換を行うほか、校区活動等に関し自主計画の策定、委員会間の連絡にあたる。

(3) 青少年教育施設

①下関市立青年の家

研修活動や団体宿泊を通じて、多様な活動や体験学習を行い、規律・友愛・協同の精神を養い健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置 下関市椋野町一丁目 17-1 (一里山公園内)

TEL 083-223-0521

開 所 昭和 48 年 3 月 21 日

宿 泊 定 員 112 人

施設・設備 本 館 鉄筋コンクリート 3 階建、延 1,913.35 m²

1 階 事務室、ロビー、食堂談話室(120 名)、保健室、浴室、当直室、従業員室

2 階 第 1 研修室(112 名)、第 2 研修室(40 名)、第 3 研修室(24 名)、音楽研修室(60 名)、
講師控室、展示ホール

3 階 宿泊室(112 名)、講師室(6 畳)、和室(20 畳)

体育館 鉄骨平屋建 772.79 m²

バレーコート 2 面、バスケットコート 1 面、バドミントンコート 2 面、
卓球台 3 台

運動場 5,000 m² 200mトラック、ソフトボール、サッカー等

ア 生活目標 規律正しい生活をしよう。明るい交歓をしよう。積極的に実践しよう。

イ 研修内容 研修内容については、青年の家と協議して、各団体が自主的に計画立案する。

(1) 学 習 活 動…研修討議、視聴覚教材を利用した討議、茶道、華道

(2) 体 育・レクリエーション…歌唱、ゲーム、フォークダンス、球技(バレー、バスケット、卓球、
サッカー、ソフト、ドッジボール)等

ウ 要請により青年の家が協力する事項

(1)講話(講師のあっせん)

(2)研修プログラム立案の相談

(3)団体活動の相談

(4)生活、体育、レクリエーション等指導

(5)研究討議の指導助言

エ 年度別利用状況

(単位：団体、人)

区分 \ 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
宿 泊	団体数	117	121	132	104	120
	利用者数	4,607	4,648	4,400	3,167	4,319
日 帰 り	団体数	320	245	270	302	399
	利用者数	7,571	5,244	5,689	5,521	6,605
合計(団体数)		437	366	402	406	519
合計(利用者数)		12,178	9,892	10,089	8,688	10,924

②下関市菊川青年交流館

青年が交流を通じて、自主的活動の振興促進を図ることを目的とする社会教育施設。

位 置	下関市菊川町大字下岡枝9番地2
建設年月	平成12年3月
建築面積	187.7 m ²
延床面積	173.9 m ²
	会議室 63.76 m ² 調理室 19.87 m ² 倉庫ほか 90.27 m ²
構 造	木造平屋建
開館時間	午前9時から午後10時まで
休 館 日	12月29日から翌年1月3日まで

Ⅲ 学術文化関係資料

1 美術館

(1) 沿革

昭和 56 年 4 月美術館等開館準備室を教育委員会に設置
 昭和 57 年 4 月美術館建設工事に着手
 昭和 58 年 2 月美術館建設工事が完成
 昭和 58 年 4 月美術館の設置等に関する条例を制定
 昭和 58 年 11 月開館
 昭和 63 年 10 月駐車場を増設
 平成 5 年 10 月駐車場及び修景を整備
 平成 22 年 3 月リニューアル工事、屋外エレベーター設置



(2) 位置

下関市長府黒門東町 1 - 1 (〒752-0986)
 TEL (245) 4131 FAX (245) 6768

(3) 建築概要等

敷地面積 15,787.04 m²
 建築面積 2,261.31 m²
 延床面積 4,837.07 m² (展示部門 906.01 m²、収蔵部門 1,060.13 m²、学術研究部門 445.15 m²、共用部門他 2,334.2 m²、屋外施設 91.58 m²)
 構造 鉄筋コンクリート造 2 階建、塔屋 1 階、地下 1 階 (一部光庭ドーム、鉄骨造)

(4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)
 休館日 祝日以外の月曜日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)、その他展示替え等のための臨時休館

観覧料 (所蔵品展)

一般 200 円 (160 円)

大学生等 100 円 (80 円)

()内は 20 人以上の団体料金。

※18 歳以下、70 歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※下関市内と北九州市内に在住の 65 歳以上の方は無料 (証明書必要)。

企画展観覧料は別に定める。

会場使用料

(単位：円)

区 分	第 4 展示室	講 堂
午前 9 時 30 分～正午	2,420	1,810
午後 1 時～午後 5 時	4,980	3,650
午前 9 時 30 分～午後 5 時	7,420	5,590

(5) 収蔵品

収蔵品種別集計表
(平成30年5月1日現在)

種別	点数
日本画	391
洋画	381
水彩・素描	175
版画	772
彫塑	156
工芸	264
写真	15
書	3
資料	144
合計	2,301

(寄託品を含む)



狩野晴皐《楼閣山水図》
慶応3年[1867]以前
紙本墨画淡彩、軸・1幅
平成29年度寄贈

(6) 企画展開催と観覧者の状況

(単位：日、人)

名称	会期	観覧者数			
		開館日数	有料	無料	計
にんげんだもの 相田みつを	29年7月1日～7月30日	27	4,877	6,159	11,036
ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜 シーボルトの見た日本	29年8月5日～9月24日	45	3,156	5,586	8,742

2 歴史博物館

(1) 沿革

平成28年11月18日、旧下関市立長府博物館(旧館)の活動を継承発展するために開館した博物館。博物館活動の基本となる展示については、「海峡に育まれた下関の歴史と文化-海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとし、下関の古代から近代までの歴史について紹介している。また、市域の歴史についての調査研究、本市ゆかりの資料の収集などを積極的に行うとともに、本市の文化財観光の拠点として交流人口の拡大に取り組んでいる。



(2) 位置

下関市長府川端二丁目2番27号（〒752-0979） TEL (241) 1080 FAX (245) 3310

(3) 構造等

敷地面積 10,155 m²（新館部 5,484 m²、旧館部 4,671 m²）

構造 新館 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺

旧館（旧長府博物館） 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺ほか

※旧館本館は昭和8年建築、戦前の博物館建築の典型として国登録有形文化財。

延床面積 2,105 m²（新館部 1,500 m²、旧館部 605 m²）

(4) 開館時間等

開館時間 午前9時30分～午後5時（ただし、入館は午後4時30分）

休館日 月曜日（休日の場合は翌日以降最初の休日でない日）、年末年始（12月28日～1月4日）

観覧料 常設展示 一般200円（160円）、大学生等100円（80円）

企画展示 一般100円（80円）、大学生等50円（40円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※18歳以下、70歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※障害者の方は観覧料免除、下関市内と北九州市内に在住の65歳以上の方は常設展示観覧料免除（ただし、いずれも証明書必要）。

※特別展示観覧料は別に定める。

駐車場 有料26台 身障者用2台（開場時間は、午前9時から午後5時30分まで）

駐車料金 最初の2時間は1時間ごとに100円、2時間を超えた後は30分ごとに100円。

※減免あり。

(5) 展示と観覧者の状況

〔開館日数〕 307日

〔観覧者数〕 57,191人（有料29,920人、無料27,271人）

〔展示別観覧者数〕

名称	会期	開催日数	観覧者数(人)		
			有料	無料	計
常設展示	H29.4.1～H30.3.31	307日	16,423	14,876	31,299
企画展示		202日	8,826	7,686	16,512
焦心録	H29.4.1～5.28	51日	3,129	2,761	5,890
江戸の女子旅	H29.6.3～7.30	50日	1,283	1,415	2,698
シーボルトと下関	H29.8.5～10.9	57日	2,704	2,484	5,188
戦国大名毛利元就	H29.12.16～H30.1.28	31日	940	616	1,556
幕末のメディアと下関	H30.3.17～5.20	13日	770	410	1,180
特別展示		81日	4,671	4,709	9,380

龍馬がみた下関	H29. 10. 14～12. 10	49 日	3, 858	3, 657	7, 515
朝鮮通信使	H30. 2. 3～3. 11	32 日	813	1, 052	1, 865

(6) 普及活動

①講演会・シンポジウム開催

- ア. 坂本龍馬没後 150 年記念シンポジウム「志士たちがみた下関－希望の街へ」(500 人)
- イ. ユネスコ世界の記憶登録記念学術講演会「朝鮮通信使－その歴史的意義」(180 人)

②ミニ講座

- ア. 手紙からみる龍馬と下関の関係 (32 人)
- イ. 下関にのこる龍馬エピソード (63 人)

③韓国青少年通信使交流事業 (韓国 40 人、下関 37 人)

④出前講座 (10 回 919 人)

⑤講師派遣

- 山口の歴史・文学おでかけ講座 (山口県文化振興課)
- 豊田教育支所歴史講座 (3 回)
- 高教研社会科部会研修
- 山口県地方史研究会秋季大会
- 山口県観光連盟ガイド研修 (2 回)
- 長府観光協会しっちょるかね講座
- 下関商工会議所役員研修
- 下関北ロータリークラブ例会など

(7) 分館 日清講和記念館

平成 28 年 4 月 1 日、文化財保護課から所管替えするとともに、歴史博物館の分館として「公の施設」として位置づけた。また、同日付けで博物館法に基づく博物館登録を行った。

沿革 明治 28 年春、下関市の春帆楼を会議場として開催された日清講和会議、および下関条約と称される講和条約の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和 12 年 6 月に開館。館内は会議に使用された調度品や筆記用具などにより、当時の会議場を再現、また、両国の全権を務めた伊藤博文や李鴻章の遺墨なども展示している。

なお、建物は国登録有形文化財。

所在地 下関市阿弥陀寺町 4 番 3 号

構造等 鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺 (一部地下)

敷地面積 458 m² 延床面積 191 m²

入館者 73,303 人

観覧料 無料

開館時間 午前 9 時～午後 5 時 (年中無休)



3 東行記念館

(1) 沿革

平成 22 年 6 月 1 日に開設した下関市立東行記念館は、高杉晋作・奇兵隊を中心に、その活動した時代と周辺の歴史を基本テーマとし、資料の収集・調査研究および展示活動を行っている。また、博物館活動を通じ、郷土の歴史に対する市民の知識及び理解を深め、市民の教育と文化の向上に資することを目的とする。なお、この記念館は、高杉晋作 100 年祭記念事業として、全国有志の寄付により、昭和 41 年 4 月 14 日に開館した宗教法人東行庵設置の東行記念館を前身とする。

(2) 位置

下関市大字吉田 1184 番地 (〒750-1101)
TEL (284) 0212 FAX (284) 0219



(3) 構造等

構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建
延床面積 2 階：展示室 110.5 m²、収蔵庫 27.6 m²
学芸員室 27.6 m²、
ホール 55.3 m² (1 階：310.2 m²)

(4) 開館時間等

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (ただし、入館は午後 4 時 30 分)
休 館 日 月曜日 (祝日の場合は開館)、祝日の翌日、年末年始 (12 月 28 日～1 月 4 日)、展示替え等のための臨時休館
観 覧 料 一 般 300 円 (240 円)
大学生等 200 円 (160 円) ※ () 内は 20 名以上の団体料金
※18 歳以下、70 歳以上の方および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。
※下関市内と北九州市内に在住の 65 歳以上の方および障害者の方は無料 (証明書必要)。
特別展示観覧料は別に定める。

(5) 観覧者の状況

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)		
			有料	無料	計
常設展示	H29. 4. 1～H30. 3. 31	306 日	4, 557	4, 873	9, 430

(6) 展示会開催 (平成 29 年度)

高杉晋作没後 150 年記念企画展「焦心録-時代を映す晋作の言葉」ほか、常設企画展として「高杉晋作ってどんな人?」「奇兵隊戦記-前篇」「奇兵隊戦記-後篇」を開催した。

(7) 教育・普及活動

出前講座 1 回 (87 人)、ギャラリートーク 3 回 (25 人)、子ども向け展示解説 (約 70 人)、晋作クイズ (約 393 人)、常設企画展関連イベント 2 回 (86 人) を実施した。

4 考古博物館

(1) 沿革

平成 2 年 10 月 遺跡公園等建設推進調査委員会設置
平成 5 年 3 月 下関市考古資料館 (仮称) 建設開始
平成 6 年 6 月 名称を下関市立考古博物館と決定
平成 6 年 6 月 考古博物館本館工事が完成
平成 6 年 12 月 考古博物館の設置等に関する条例を制定
平成 7 年 3 月 考古博物館完成
平成 7 年 5 月 開館



(2) 位置

下関市大字綾羅木字岡 4 5 4 番地

(3) 構造等

敷地面積 12,942 m²
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階（地上 1 階、地下 1 階）
建築面積 1,875 m²
延床面積 2,664 m²（展示部門 794 m²、収蔵部門 390 m²、教育普及部門 237 m²、調査研究部門 360 m²、
その他 883 m²）
屋外施設 竪穴式住居（2 棟）、岩谷古墳、屋外便所
駐 車 場 87 台（うちバス 5 台）
付属施設 休憩所「弥生の里」（平成 28 年 4 月より、子育て支援施設として使用）

(4) 利用案内

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日 月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観 覧 料 無料

(5) 常設展示

綾羅木郷遺跡を中心に、市内の弥生・古墳時代遺跡から出土した代表的な考古資料を展示し、当時の人々のくらしと文化を紹介する。また、展示品や当時の社会についての理解や興味を深めるため、模型や視聴覚機器等を設置している。

(6) 収蔵品の主なもの

綾羅木郷遺跡の出土品及び市内出土の考古資料の一部

弥生時代・・連弧文銘帯鏡、埴形土製品、多鈕細文鏡、細形銅剣、弥生土器・壺（織物付着）
古墳時代・・六鈴鏡、勾玉、鈴付釦、小環付釦、三輪玉形金具

(7) 入館者の状況

年度	開館日数	入館者数
平成 27 年度	315	22,350
平成 28 年度	312	23,960
平成 29 年度	311	25,227

(8) 展示会開催と観覧者の状況

名 称	会 期	開館日数	観覧者数
企画展 I 下関の文化財 II - 昔日の関門海峡	平成 29 年 04 月 22 日（土）～ 平成 29 年 06 月 25 日（日）	57 日	4,244 人
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2017」	平成 29 年 07 月 01 日（土）～ 平成 29 年 09 月 03 日（日）	57 日	4,377 人
特別展 「遙かなる音の世界」	平成 29 年 09 月 16 日（土）～ 平成 29 年 11 月 12 日（日）	53 日	5,622 人
第 19 回やよい絵画展 下関市産恐竜卵化石展示公開 「発見！恐竜卵化石～日本初の	平成 29 年 11 月 18 日（土）～ 平成 30 年 01 月 21 日（日）	50 日	3,379 人

恐竜化石は下関で発見されていた～			
企画展Ⅲ 明治維新 150 年記念「史跡が 語る幕末の下関」	平成 30 年 01 月 27 日 (土) ～ 平成 30 年 03 月 31 日 (土)	63 日	4,606 人
合 計		280 日	22,228 人

(9) 教育・普及活動

ア 一般教養講座(外部講師)……年間テーマ「自然科学研究と考古学」

- ① 平成 29 年 5 月 13 日 (土) 金原正明 (奈良教育大学教育学部 教授)
「環境考古学の方法と成果」 聴講者 54 人
- ② 平成 29 年 7 月 15 日 (土) 渡辺智恵美 (別府大学文学部 教授)
「出土金属製品の修理からみえる古代の金工技術」 聴講者 64 人
- ③ 平成 29 年 9 月 9 日 (土) 中橋孝博 (九州大学 名誉教授)
「弥生人—激動を生きた人々」 聴講者 89 人
- ④ 平成 29 年 11 月 18 日 (土) 白石 純 (岡山理科大学生物地球学部 教授)
「土器・石器の科学分析から何がわかるのか」 聴講者 61 人

イ 考古よもやま話(当館学芸員担当)

- ① 平成 29 年 4 月 15 日 (土) 太田雅史
「太古のジュエリーボックス—ちょっとおしゃれな古代下関人」 聴講者 68 人
- ② 平成 29 年 6 月 3 日 (土) 藤本有紀
「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」 聴講者 77 人
- ③ 平成 29 年 10 月 21 日 (土) 阿南翔悟
「生産遺跡の廃棄物から何がわかるのか—木製品編—」 聴講者 44 人
- ④ 平成 30 年 1 月 13 日 (土) 澤下孝信
「考古学ではどのようにして年代を決定するのか」 聴講者 78 人
- ⑤ 平成 30 年 3 月 3 日 (土) 中山元智
「下関市の中世墓」 聴講者 51 人

ウ ミュージアム・セミナー(当館学芸員担当)……年間テーマ「山口県の考古資料」

平成 29 年 1 月 21 日～平成 30 年 2 月 25 日 土曜日または日曜日 全 6 回 聴講者 延 144 人

エ 体験学習教室(当館学芸員担当)

- ① 土器づくり教室 2 回 参加者 68 人
- ② 土笛・土鈴づくり教室 1 回 参加者 58 人
- ③ 勾玉づくり教室 4 回 参加者 延 112 人
- ④ 考古博物館探検 1 回 参加者 20 人
- ⑤ 夏休み古代こども体験教室
(火起こし、竪穴住居組み立て、勾玉づくり・ハニワづくり) 3 日間 参加者 延 79 人
- ⑥ 竪穴住居組み立て体験 3 回 参加者 延 19 人

オ その他

- ① 史跡の道ウォーク 1 回 参加者 24 人
- ② 赤米栽培「考古博物館で古代米 1 株オーナーになろう」
田植え 参加者 35 人
収穫 参加者 28 人
- ③ 考古体験学習・出前講座 17 回 参加者 延 467 人
- ④ フィールド体感イベント「地質調査を体験しよう！」 5 日間 参加者 延 23 人
新潟大学災害・復興科学研究所 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム共催
- ⑤ 勝山地区まちづくり協議会共同事業講演会

- 「幕末騒乱を記憶する史跡」 1回 参加者 240人
- ⑥ 下関市産恐竜卵化石展示公開関連ミニシンポジウム
「発見！恐竜卵化石」～日本初の恐竜化石は下関で発見されていた～ 1回 参加者 125人

5 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

(1) 沿革

昭和53年 「史跡土井ヶ浜遺跡保存管理計画」策定
平成2年 遺構覆屋（土井ヶ浜ドーム）完成、公開
平成5年3月 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム完成
平成5年5月 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館



(2) 位置

下関市豊北町大字神田上 891-8

(3) 構造等

敷地面積 18,748.26 m²
構造 鉄筋コンクリート造3階建陸屋根
延床面積 1,977.65 m²
1階 (倉庫・収蔵庫、機械室など) : 740.52 m²
2階 (玄関・エントランスホール・展示室・事務室・倉庫・会議室・トイレ) : 1,057.36 m²
3階 (展望所) : 146.02 m²
PH : 33.75 m²

屋外施設 湿生花園、研修田 駐車場 100台
付属施設 遺構覆屋（土井ヶ浜ドーム）、休息所「ほねやすめ」

(4) 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）
観覧料 大人：200円（160円）、大学生等100円（80円）
（ ）内は20名以上の団体料金、高校生以下は無料、下関市と北九州市の65歳以上の方、他地域の70歳以上の方、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳（項症）の交付を受けている方（身体障害の程度が1～4級、戦傷病者の特別項症から第4項症までの方は付添人1人を含む）は無料

(5) 常設展示

① 弥生シアター

弥生シアターでは3D映像「よみがえる弥生人」を上映。土井ヶ浜弥生人の特徴とルーツについて映像で紹介。

② 展示室

- ・土井ヶ浜遺跡のジオラマ
- ・土井ヶ浜遺跡の土層はぎ取り展示
- ・埋葬のようす（土井ヶ浜遺跡でみられた埋葬の種類）
- ・日本人の起源
- ・日本人の身長の変遷（縄文時代から現代までの身長の変化）

- ・弥生人形質の地域差（弥生人には顔かたち地域差があったことを人骨のレプリカで紹介）
- ・副葬品（南海産貝製腕輪、玉状貝製品などのアクセサリ類を展示）
- ・副葬されていた土器
- ・殺されたシャーマン（124号人骨の謎）
- ・土器に文様を付けてみよう

(6) 収蔵品

土井ヶ浜遺跡出土遺物、角島沖田遺跡出土遺物、圃場整備事業にかかる発掘調査で出土した遺物
土井ヶ浜人骨および弥生人骨、古墳人骨、古代人骨、中世人骨、近世人骨、河村コレクション（貝）

(7) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成27年度	308	9,750
平成28年度	308	10,525
平成29年度	307	9,464

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア 企画展

- ① 「動くヒトとモノ」 平成29年5月16日（火）～9月3日（日）
- ② 「人 貝にあうー人類と貝類の多様な関係ー」 平成29年9月12日（火）～平成30年1月8日（月・祝）
- ③ 「交流する神々ー「浜出祭」の原点ー」 平成30年1月16日（火）～5月6日（日）
- ④ コレクション展「イヌをさがせ！」 平成30年1月17日（水）～

イ 展示解説

- ① 企画展「動くヒトとモノ」7月30日（日）、8月13日（日）、8月27日（日）
- ② 企画展「人 貝にあうー人類と貝類の多様な関係ー」10月1日（日）、11月26日（日）、12月24日（日）
- ③ 企画展「交流する神々ー「浜出祭」の原点ー」平成30年3月11日（日）

ウ 講座

① 体験講座

自然人類学体験講座「ホネホネウォッチング」平成29年6月25日（日）、7月23日（日）、8月6日（日）

体験講座「貝輪づくり体験」平成29年8月27日（日）、10月29日（日）

体験講座「勾玉づくり教室」（下関市立考古博物館共催）平成29年12月9日（土）

② 館長講座

自然人類学講座「鎌倉由比ヶ浜南遺跡の中世人～その埋葬と顔かたち～」(松下孝幸)
平成29年8月20日（日）

自然人類学講座「倭人伝の弥生人たち」(松下孝幸)
平成29年10月15日（日）

自然人類学講座「琉球列島の古人骨～沖縄人のルーツを探る」(松下孝幸)
平成29年11月12日（日）

③ 学芸員講座

民俗学講座「幡をめぐる民俗」(吉留 徹)平成29年9月18日（月・祝）

自然人類学講座「土井ヶ浜弥生人をめぐる最新の人類学研究」(高椋浩史)平成29年10月1日（日）

自然人類学講座「病変からみた土井ヶ浜弥生人」(大藪由美子)平成29年11月26日（日）

- 歴史学講座「豊北地域とやきもの」(佐々田麻未)平成29年12月10日(日)
- 歴史学講座「豊北地域の漁業」(坂本和久)平成29年12月24日(日)
- 歴史学講座「山口県西部における明治前期の漁業」(河田聡)平成30年1月14日(日)
- 民俗学講座「豊北町の神楽」(清水美里)平成30年1月28日(日)
- 歴史学講座「湯浅倉平 資料紹介～宮内高等官供奉服を中心として～」(大西圭子)平成30年2月11日(日)
- 歴史学講座「ピアニスト アルフレットコルトー」(横山尚枝)平成30年2月25日(日)
- 動物考古学講座「生ゴミからさぐる大内氏の食卓」(沖田絵麻)平成30年3月11日(日)

エ 博学連携

- ① ふるさと学習「赤米の田植え・稲刈り」(市立神玉小学校)
田植え：平成29年5月30日(火)、稲刈り：平成29年11月6日(月)
- ② 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携
土井ヶ浜遺跡出土の弥生時代人骨について共同研究を実施。
- ③ 出張体験講座
「ホネホネウォッチング」出前授業 計 21回
「勾玉づくり教室」(下関市立考古博物館共催)平成29年12月9日(土)
- ④ フィールド体感イベント「地質調査を体験しよう！」(新潟大学災害・復興科学研究所、下関市立考古博物館共催)平成29年12月10日(日)～14日(木)

(9) 調査・研究

- ア 中国上海市広富林遺跡出土の新石器時代人骨の国際共同研究
- イ 九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携
- ウ 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第13号の刊行

(10) 付属施設(遺構覆屋＝土井ヶ浜ドーム)

約80体の人骨(レプリカ)を発掘当時の状態で復元し、土井ヶ浜弥生人たちの埋葬の特徴が一目で理解できるような展示をおこなっている。

6 烏山民俗資料館

下関市烏山民俗資料館は、平成8年に地域の歴史・民俗等の地域文化に関する資料及びアジア地域及び日本各地の手仕事文化に関する資料について、収集・調査研究及び展示活動を行う資料館として開館した。

平成22年1月17日より地域住民および観光客の交流を目的として設置された下関市川棚温泉交流センター内に移転し、新たに開館することとなった。移転後は、烏山民俗資料館の幅広い収蔵品の魅力を伝えるために、さまざまなテーマに沿った企画展・所蔵品展を開催している。



(1) 沿革

- 平成8年4月 旧烏山工芸館の民芸コレクションの寄贈を受ける。
- 平成8年6月 豊浦町烏山民俗資料館として開館する。
- 平成17年2月 下関市との合併により下関市烏山民俗資料館となる。
- 平成20年8月 下関市川棚温泉交流センター内への移転準備のため8月31日より休館。
- 平成22年1月 下関市川棚温泉交流センター内に移転。

(2) 位置

(〒759-6301) 下関市豊浦町大字川棚 5180 番地
川棚温泉交流センター内
(TEL) 083-774-3855 (FAX) 083-774-3856

(3) 構造等 (施設全体)

敷地面積 4,498 m²
構造 鉄骨構造 2 階建
延床面積 1,242.85 m²
うち烏山民俗資料館展示室 251.63 m²

**(4) 利用案内**

開館時間 午前 10 時～午後 8 時 (入館は午後 7 時 30 分)
休館日 年末年始 (12 月 31 日～1 月 3 日)
※展示替え等のための臨時休館あり
観覧料 無料 (ただし、特別展開催時には別に定める)

(5) 観覧者の状況

	開館日数	観覧者数
平成 27 年度	362	48,409
平成 28 年度	361	38,613
平成 29 年度	361	41,728

(6) 展覧会等

ア 企画展等

- 1 「近代の暮らしと家庭料理」(企画展) 会期 平成 29 年 6 月 3 日 (土)～平成 29 年 8 月 22 日 (火)
- 2 「近代やまぐち温泉めぐり」(企画展) 会期 平成 29 年 8 月 26 日 (土)～平成 30 年 1 月 23 日 (火)
- 3 「こどもの暮らし とともに歩んだ道具たち」 平成 30 年 3 月 17 日 (土)～平成 30 年 7 月 10 日 (火)
- 4 「掃除と箒のあれこれ」(企画展) 会期 平成 29 年 12 月 16 日 (土)～平成 30 年 4 月 24 日 (火)
- 5 「植物のかたち 願いの表現」(所蔵品展) 会期 平成 29 年 4 月 22 日～平成 29 年 9 月 5 日 (火)
- 6 「ぬいもの・あみもの 家庭洋裁の頃」(所蔵品展)
会期 平成 29 年 9 月 9 日 (土)～平成 29 年 12 月 12 日 (火)
- 7 「掃除と箒のあれこれ」(企画展) 会期 平成 29 年 12 月 16 日 (土)～平成 30 年 4 月 24 日 (火)
- 8 「カラスヤマのひなまつり」(所蔵品展) 会期 平成 30 年 1 月 27 日～平成 30 年 3 月 13 日 (火)

イ イベント・共催事業等

「川棚のクスの森 千年の記憶」展 平成 30 年 3 月 17 日 (土)～平成 30 年 3 月 31 日 (土)
会場：烏山民俗資料館
主催：川棚温泉観光ボランティアガイド
共催：烏山民俗資料館、豊浦地区まちづくり協議会、川棚温泉まちづくり株式会社

7 豊北歴史民俗資料館**(1) 沿革**

(県指定文化財旧滝部小学校の歴史)

- 明治 8 年(1875) 8 月 滝部八幡宮境内に開誘（かいゆう）小学校を創設する。
- 明治 17 年(1884) 2 月 学区改正により、大庭小学校の開誘分校として、現在地に校舎を改築する。
- 明治 20 年(1888) 4 月 独立し、開誘尋常小学校となる。
- 明治 28 年(1895) 8 月 高等科を併設し、滝部尋常高等小学校となる。
- 大正 13 年(1924) 3 月 中山太一・豊三・喜助三兄弟の寄附により、本館・東側校舎が完成。
- 昭和 22 年(1947) 5 月 新学制により、滝部小学校と改称する。
- 昭和 54 年(1979) 3 月 山口県有形文化財（建造物）に指定される。
- 昭和 55 年(1980)11 月 豊北町歴史民俗資料館として、開館する。
- 平成 17 年(2005) 2 月 合併に伴い、下関市立豊北歴史民俗資料館となる。
- 平成 19 年(2007) 5 月 改修工事（保存修理工事）のため休館する。
- 平成 23 年(2011) 3 月 改修工事（保存修理工事）が完了する。
- 平成 23 年(2011) 4 月 西教室棟が、山口県有形文化財（建造物）に追加指定される。
- 平成 23 年(2011)11 月 リニューアル開館する。

(2) 位置

下関市豊北町大字滝部 3153-1

(3) 構造等

構 造 木造 2 階建、寄棟及び切妻造棧瓦葺
敷地面積 1,970.14 m²
延床面積 1,268.05 m²



1 階 812.97 m²
E V 棟（トイレなど）：49.85 m²、収蔵庫棟：73.09 m²、ポンプ室（別棟）：8.40 m²
既設建物（和室・倉庫・閲覧室・事務室・展示室・教室など）681.63 m²

2 階 455.08 m²
E V 棟（倉庫など）：44.90 m²
既存建物（講堂など）：410.18 m²

(4) 利用案内

開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休 館 日 月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
入 館 料 無料（ただし、特別展開催時には別に定める）
貸 室 貸室使用料一覧

室 名（収容人員）	使用料	
	AM9:00～PM5:00 1時間あたり	特別使用料
2階 講堂（120）	520円	9,000円
1階 和室（20）	100円	
1階 教室（20）	100円	
1階 展示室	310円	

（備考）※特別使用料とは、全施設同時使用及び、午後 5 時から午後 10 時までの使用の場合の金額。
※営利、営業、宣伝等を目的とし、又は入場料その他これに類する料金を徴収する場合は、この表の金額の倍額となる。
※冷暖房を使用した場合は、使用状況に応じて実費を徴収する。

(5) 常設展示

1 階・エントランス

- ・豊北ガイドマップ、滝部小学校の沿革、郷土の偉人中山太一氏などを紹介。また、豊北町の歴史民俗文化についての映像案内を実施。

(6) 収蔵品

国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」をはじめとする民俗文化関係資料。郷土資料としての古文書、行政文書など歴史文化関係資料（なお、民俗文化関係資料については資料収蔵室（旧豊北第二中学校）にて保管）

(7) 入館者の状況

	開館日数	入館者数
平成27年度	309	3,379
平成28年度	308	3,555
平成29年度	308	2,979

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア 企画展

- ① 「なつかしの子どもの遊び展」平成29年 7月19日（水）～平成29年9月24日（日）
- ② 「庚申塔って、何だ。」平成29年10月24日（火）～平成29年11月19日（日）
- ③ 「交流する神々―「浜出祭」の原点―」平成30年 1月16日（火）～平成30年5月6日（日）
- ④ 「昔のくらしと今のくらし」平成30年1月23日（火）～平成30年6月24日（日）
- ⑤ 「みかがみ祭と神楽」平成30年2月20日（火）～平成30年3月18日（日）

イ 講座

- ① 「竹の水でっぼうをつくろう」平成29年7月22日（土）・平成29年8月19日（土）
- ② 「新春の遊びをしよう」平成30年1月4日（木）～平成30年1月31日（水）
- ③ 「昔の道具を使ってみよう」平成30年2月18日（日）
- ④ 「豊北昔話知っちょる会」平成30年3月24日（土）
- ⑤ 歴史民俗講座「豊北町と浜出祭」平成30年1月21日（日）
- ⑥ 「歴史文学講座」（3回/年度）（豊北郷土文化友の会主催：資料館共催事業）

ウ イベント

- ① 夜間ライトアップ
 - 平成29年 5月3日（水・祝）～ 5月8日（月） 19時～22時
 - 平成29年 7月29日（土）～ 7月31日（月） 19時～23時
 - 平成29年 8月11日（金・祝）～ 8月15日（火） 19時～23時
 - 平成29年 12月22日（金）～ 12月25日（月） 18時～23時

8 文化財保護

(1) 下関市文化財保護審議会

下関市文化財保護審議会委員名簿（任期：平成29年6月1日～平成31年5月31日）

担当分野	氏名	現職等
建造物	三浦正幸	広島大学名誉教授
絵画	菊屋吉生	山口大学国際総合科学部教授

彫 刻	井 形 進	九州歴史資料館技術主査
古文書・歴史資料	小 山 良 昌	財団法人毛利博物館顧問
考古資料・史 跡	渡 辺 一 雄	元梅光学院大学副学長
民 俗 文 化 財	清 水 満 幸	萩 博 物 館 館 長
記 念 物 (動 物)	山 岡 郁 雄	山 口 大 学 名 誉 教 授
記念物(植物・名勝)	田 邊 護	山 口 植 物 学 会 顧 問
記念物(地質鉱物)	西 村 祐 二 郎	山 口 大 学 名 誉 教 授

平成 29 年度は 9 月 19 日に下関市文化財保護審議会を開催し、新指定文化財候補の審議および文化財関連事項の報告を行った。

(2) 施 設

ア 旧下関英国領事館

所在地 下関市唐戸町 4-11
 構造等 本 館 煉瓦造二階建・棧瓦葺
 (建築面積 161.35 m²)
 附属屋 煉瓦造平屋建・棧瓦葺
 (建築面積 80.93 m²)
 敷地面積 597.93 m²

平成 29 年度入館者数 62,126 人



この建物は、領事館として建てられたわが国現存最古の建物で、明治 39 年 8 月に上棟した。平成 11 年 5 月 13 日、重要文化財に指定。平成 20 年度より実施してきた構造補強及び建築当初への復原を目的とした保存修理工事竣工後、平成 26 年 7 月 18 日より、指定管理者による公開活用を図っている。平成 26 年 7 月からの通算入館者数は 269,466 人であり当初の想定である 225,000 人を大きく上回った。また、下記の事業を実施した。

- ・ 英国王立写真協会 第 15 回日本支部写真展
 「英国らしさ」と「日本らしさ」“Feel British” & “Feel Japanese”
 会期 平成 29 年 9 月 27 日 (水) ～ 10 月 9 日 (月)

イ 豊田文化財資料室

所在地 下関市豊田町大字矢田 153-1
 構造等 鉄筋コンクリート造 (床面積 255.60 m²)

豊田地域の貴重な文化財を展示保存するとともに、地域の歴史と民俗に関する調査研究施設として平成 7 年に豊田図書館内に設置し、市民に無料公開している。

※休館日 下関市立豊田図書館に準ずる。

(3) 調査・保存修理

ア 国指定天然記念物「川棚のクスの森」枯損対策作業に伴う調査指導

国指定天然記念物「川棚のクスの森」について、文化庁が推薦する樹木医 3 名を招聘して、現地調査および枯損対策についての検討を行った。

イ 大字吉母恐竜足跡化石産状に係る現地調査

吉母地区で平成 5 年に発見された恐竜足跡化石について、現地産状の把握を行った。

ウ 県指定史跡 長府藩主毛利家墓所 記念物保存修理 委託業務 (県補助)

県指定史跡長府藩主毛利家墓所 (覚苑寺墓所) に所在する 6 代藩主匡広墓所の木戸門について、劣化・損傷により倒壊の危険が生じたため、保存修理工事を実施した。

(4) 市内の文化財（平成 30 年 5 月 1 日現在）

ア 国指定文化財

① 国宝（2 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺仏殿 1 棟 桁行三間、梁間三間、一重裳階附、 入母屋造、檜皮葺	建造物	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 28. 11. 14
住吉神社本殿 1 棟 九間社流造、正面五ヶ所千鳥破風附、 檜皮葺、附玉殿 5 基・棟札 4 枚	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14

② 重要文化財（17 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
住吉神社拝殿 1 棟 桁行三間、梁間一間、一重切妻造、 妻入、檜皮葺	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 29. 9. 17
旧下関英国領事館 2 棟 本館・附属屋 附煉瓦塀 1 基・幣串 1 本	建造物	唐戸町〔下関市〕	平成 11. 5. 13
絹本著色十二天曼荼羅図 1 幅 （寺伝 安鎮曼荼羅）	絵画	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造不動明王立像 1 軀	彫刻	南部町〔国分寺〕	昭和 25. 8. 29
木造薬師如来立像 1 軀	彫刻	南部町〔専念寺〕	昭和 25. 8. 29
刀 無銘（伝則宗） 1 口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
太刀 銘 備州長船盛光 1 口	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
銅鐘 1 口	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 25. 8. 29
金銅牡丹唐草透唐鞍 1 具 鞍一背、銀面二面、轡二口、雲珠二箇、 杏葉一箇、鞍二箇、障泥一双、鞆一双、 鞍褥残片一枚、革鞆残片二条	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 31. 6. 28
紙本墨書平家物語（長門本）自一至廿 20 冊	書跡	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 25. 8. 29
紙本墨書豊浦宮法楽和歌 1 卷 尊氏外三人筆	書跡	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25. 8. 29
住吉社法楽百首和歌短冊 （明応四年十二月） 1 帖 附三条西実隆筆序文並相良正任・杉武 明連署添状 1 卷、新撰菟玖波集作 者附 1 冊、宗祇署名短冊箱 1 合、毛利 秀元奉納蒔絵短冊箱 1 合	書跡	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14
赤間神宮文書 10 卷 1 冊	古文書	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 51. 6. 5
忌宮神社文書 28 卷 3 冊（372 通） 附 忌宮神社記録 忌宮神社境内絵図	古文書	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 53. 6. 15

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
長門国鑄銭遺物 和同開珎銭范残欠 12 個・坩堝残欠 3 個・鞆口残欠 4 個・和同開珎 1 枚	考古資料	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 39. 1. 28
絹本著色仁王経曼荼羅図	絵画	豊田町大字江良〔神上寺〕 (山口県立山口博物館寄託)	昭和 53. 6. 15
木造阿弥陀如来坐像	彫刻	豊浦町大字厚母郷〔安養寺〕	昭和 4. 4. 6

③ 重要有形民俗文化財 (1 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
蓋井島「山ノ神」の森 4 か所	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 35. 10. 11

④ 史跡・名勝・天然記念物 (19 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
中山忠光墓	史跡	綾羅木本町七丁目〔中山神社〕	昭和 16. 8. 1
長門鑄銭所跡	史跡	長府安養寺三丁目〔覚苑寺他〕	昭和 4. 12. 17
高杉晋作墓	史跡	大字吉田〔東行庵〕	昭和 9. 5. 1
綾羅木郷遺跡	史跡	大字綾羅木字若宮他〔下関市〕	昭和 44. 3. 11
梶栗浜遺跡	史跡	梶栗町四丁目他〔下関市〕	昭和 55. 3. 14
仁馬山古墳	史跡	大字延行字神間他〔下関市〕	平成 3. 5. 15
長州藩下関前田台場跡	史跡	前田一丁目〔下関市〕	平成 22. 8. 5
満珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字干珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
干珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字満珠〔忌宮神社〕	大正 15. 10. 20
六連島の雲母玄武岩	天然記念物	大字六連島字辻〔国他〕	昭和 9. 1. 22
石柱溪	名勝及天然記念物	豊田町大字今出〔下関市他〕	大正 15. 10. 20
狗留孫山	名勝	豊田町大字李路子〔修禅寺〕	昭和 15. 8. 30
木屋川・音信川ゲンジボタル発生地	天然記念物	音信川、木屋川流域 〔国土交通省、山口県〕	昭和 32. 10. 16
川棚のクスの森	天然記念物	豊浦町大字川棚〔下関市〕	大正 11. 10. 12
大吼谷蝙蝠洞	天然記念物	豊浦町大字小串〔山口県漁業協同組合〕	昭和 3. 3. 24
小串エヒメアヤメ自生南限地帯	天然記念物	豊浦町大字小串〔下関市〕	昭和 5. 11. 19
壁島ウ渡来地	天然記念物	豊北町大字神田(壁島)〔文部科学省〕	昭和 9. 5. 1
恩徳寺の結びイブキ	天然記念物	豊北町大字神田関領 〔山口県漁業協同組合〕	昭和 30. 10. 26
土井ヶ浜遺跡	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 37. 6. 21

イ 山口県指定文化財 (43 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
山口銀行旧本店 付棟札	有形文化財 (建造物)	観音崎町〔山口銀行〕	平成 17. 10. 4
観察院五輪塔 付 自然石板碑	有形文化財 (建造物)	富任町八丁目〔観察院〕	平成 23. 11. 24
紙本金地着色安徳天皇絵	有形文化財 (絵画)	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 41. 6. 10
板絵着色繫馬図	有形文化財 (絵画)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	平成 2. 11. 6

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
狩野芳崖筆板絵着色絵馬	有形文化財 (絵画)	長府宮の内町〔忌宮神社〕 一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕 大字井田〔菅原神社〕(住吉神社寄託) 長府黒門町〔東西山瀬〕(美術館寄託)	平成 6. 5. 2
絹本着色楊柳観音坐像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目 〔功山寺〕(歴史博物館寄託)	平成 7. 12. 19
木造地藏菩薩半跏像	有形文化財 (彫刻)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 41. 6. 10
木造聖観音菩薩像	有形文化財 (彫刻)	大字有富〔竹生寺〕	昭和 41. 6. 10
手鑑「筆陳」	有形文化財 (書跡)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 23. 2. 8
住吉神社文書	有形文化財 (古文書)	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 52. 11. 11
武久家文書 付 紙本着色武久季依像	有形文化財 (古文書)	羽山町〔武久家〕(歴史博物館寄託)	昭和 55. 12. 5
安尾家文書	有形文化財 (古文書)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 62. 3. 27
綾羅木郷遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡〔考古博物館〕	昭和 51. 3. 16
心光寺古墳出土品	有形文化財 (考古資料)	大字綾羅木字岡〔考古博物館〕	昭和 55. 4. 11
大内家壁書 下関市立長府博物館所蔵本	有形文化財 (歴史資料)	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 8. 12. 13
法林寺のソテツ	天然記念物	大字吉母〔法林寺〕	昭和 41. 6. 10
長門国一の宮住吉神社社叢	天然記念物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 41. 6. 10
長府正円寺の大イチョウ	天然記念物	長府中之町〔正円寺〕	昭和 44. 2. 4
蓋井島のヒゼンマユミ群落	天然記念物	大字蓋井島〔松本家〕	昭和 57. 11. 5
忌宮神社の数方庭行事	無形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 59. 11. 2
赤間硯	無形文化財 (工芸技術)	保持者 堀尾信夫	平成 14. 3. 26
長府藩主毛利家墓所	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕 長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕 長府川端二丁目〔笑山寺〕	平成 26. 12. 2
法輪寺本堂	有形文化財 (建造物)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 42. 7. 4
木造虚空蔵菩薩坐像	有形文化財 (彫刻)	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 41. 6. 10
鰯口 天文元年壬辰十一月 二十八日	有形文化財 (工芸品)	菊川町大字檜崎〔美栄神社〕 (歴史博物館寄託)	平成元. 10. 24
明版一切経 付 八角輪蔵	有形文化財 (典籍)	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 5. 1. 12

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
旧殿居郵便局局舎 付 棟札	有形文化財 (建造物)	豊田町大字殿居〔河田家〕	昭和 52. 3. 29 (平成 5. 1. 12 追加)
絹本極彩色理界曼荼羅 絹本極彩色智界曼荼羅	有形文化財 (絵画)	豊田町大字江良〔神上寺〕 (歴史博物館寄託)	昭和 41. 6. 10
木造薬師如来坐像	有形文化財 (彫刻)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 55. 12. 5
線刻菩薩形坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊田町大字八道〔八鷹八幡宮〕 (豊田文化財資料室寄託)	昭和 55. 12. 5
神上寺銅矛	有形文化財 (考古資料)	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 53. 3. 31
紙本墨画白衣観音図	有形文化財 (絵画)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	平成 5. 5. 14
木造千手観音菩薩立像	有形文化財 (彫刻)	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 4
金銅薬師如来坐像懸仏	有形文化財 (工芸品)	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 4
中ノ浜遺跡	史跡	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 50. 3. 22
黒井一ノ瀬一里塚	史跡	豊浦町大字黒井〔山本家〕	平成 15. 4. 4
川棚三恵寺のモッコク	天然記念物	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 44. 4. 25
旧滝部小学校本館	有形文化財 (建造物)	豊北町大字滝部〔下関市〕	昭和 54. 3. 31 (平成 23. 4. 8 追加)
土井ヶ浜遺跡出土品	有形文化財 (考古資料)	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 57. 4. 16
滝部のシダレザクラ	天然記念物	豊北町大字滝部〔中山家〕	昭和 52. 11. 11
滝部八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊北町大字滝部〔滝部八幡宮〕	昭和 52. 11. 11
阿川八幡宮のイヌマキ巨樹群	天然記念物	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 53. 3. 31
浜出祭	無形民俗文化財	豊北町〔浜出祭文化財保存会〕	昭和 51. 11. 24

ウ 下関市指定文化財 (147 件)

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺山門	有形文化財 (建造物)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 45. 3. 4
高林寺山門	有形文化財 (建造物)	赤池町〔高林寺〕	昭和 49. 3. 25
笑山寺十三重塔	有形文化財 (建造物)	長府川端二丁目〔笑山寺〕	昭和 50. 2. 27
長府藩侍屋敷長屋	有形文化財 (建造物)	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 51. 3. 16
菅家長屋門 付練塀	有形文化財 (建造物)	長府古江小路町〔菅家〕	昭和 51. 3. 16
吉岡家長屋	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔吉岡家〕	昭和 52. 2. 16
功山寺輪蔵	有形文化財 (建造物)	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
旧野々村家表門	有形文化財 (建造物)	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 54. 12. 7
妙音寺無縫塔	有形文化財 (建造物)	大字永田郷〔妙音寺〕	昭和 55. 2. 5
清末内藤家表門 付練塀及び門前石段	有形文化財 (建造物)	清末西町一丁目〔内藤家〕	昭和 56. 2. 18
岩元家・岡村家練塀	有形文化財 (建造物)	長府惣社町〔岩元家・岡村家〕	昭和 56. 3. 9
河村家練塀	有形文化財 (建造物)	長府古江小路町〔河村家〕	昭和 56. 3. 9
乃木神社練塀	有形文化財 (建造物)	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 3. 9

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
旧梶山家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔下関市〕	昭和 56. 11. 27
旧今藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56. 11. 27
益本家練堀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔益本〕	昭和 56. 11. 27
長府藩的場跡練堀	有形文化財（建造物）	長府松原町〔アースコーポレーション(株)〕	昭和 57. 4. 15
大村家練堀	有形文化財（建造物）	長府侍町二丁目〔大村家〕	昭和 57. 4. 15
磯谷家表門及び練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔磯谷家〕	昭和 58. 3. 30
引接寺三門	有形文化財（建造物）	中之町〔引接寺〕	昭和 58. 5. 26
佐藤家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔佐藤家〕	昭和 59. 3. 30
西尾家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔西尾家〕	昭和 59. 3. 30
阿山家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔阿山家〕	昭和 59. 3. 30
沖田家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔沖田家〕	昭和 59. 3. 30
広江家練堀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔広江家〕	昭和 59. 3. 30
覚苑寺本堂	有形文化財（建造物）	長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕	昭和 61. 5. 10
王司山田自然石板碑	有形文化財（建造物）	大字山田〔片山家〕	平成 3. 5. 9
六連島灯台	有形文化財（建造物）	大字六連島〔海上保安庁〕	平成 7. 6. 27
旧逋信省下関郵便局電話課庁舎（下関市役所第一別館）	有形文化財（建造物）	田中町〔下関市〕	平成 14. 2. 15
旧金ノ弦岬灯台	有形文化財（建造物）	大字彦島金ノ弦岬 （公有水面上）〔下関市〕	平成 16. 4. 13
旧内務省下関土木出張所 下関機械工場乾船渠	有形文化財（建造物）	阿弥陀寺町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
旧秋田商会ビル （下関観光情報センター）	有形文化財（建造物）	南部町〔下関市〕	平成 27. 10. 27
絹本著色仏涅槃図	有形文化財（絵画）	長府川端一丁目〔功山寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 9. 10. 15
木造十一面観音座像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
西楽寺木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	彦島本村町五丁目〔西楽寺〕	昭和 60. 12. 20
竹生寺木造十一面千手観音立像	有形文化財（彫刻）	大字有富〔竹生寺〕	昭和 60. 12. 20
功山寺千手観音菩薩坐像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺韋駄天立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61. 11. 10
功山寺二十八部衆立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕 （2 軀：歴史博物館寄託）	昭和 61. 11. 10
海蔵寺木造聖観音菩薩立像	有形文化財（彫刻）	垢田町三丁目〔海蔵寺〕	昭和 63. 6. 15
法専寺銅造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔法専寺〕	平成元. 11. 1
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44. 6. 13
太刀 銘 備州住正廣	有形文化財（工芸品）	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 45. 10. 26
萌葱絲威肩白胴丸 付筋兜、大袖、頬当、喉輪、 箆手、脛当	有形文化財（工芸品）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 46. 7. 24
銅鐘	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46. 11. 16

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字阿内〔専念寺〕	昭和 47. 11. 9
打刀銘 長州住頭国 応永四年二月吉日	有形文化財（工芸品）	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 48. 3. 27
金山長福禅寺開山虚菴和尚行録 景泰五年孟春 南浦如幻書	有形文化財（書跡）	長府川端二丁目〔功山寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 12. 11. 17
白石家文書	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔白石家〕 （歴史博物館寄託）	昭和 44. 10. 1
亀屋伊藤家文書	有形文化財（古文書）	唐戸町〔伊藤家〕	平成 8. 3. 21
日頼寺文書 附毛利元就遺品	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔日頼寺〕 （歴史博物館寄託）	平成 26. 3. 26
彦島杉田岩刻画	有形文化財（考古資料）	彦島江の浦町五丁目〔三菱重工業〕	平成 3. 5. 9
旧長府毛利家遺品	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目〔毛利家（歴史博物館寄託）・歴史博物館〕	昭和 52. 2. 16
赤間関朝鮮通信使関係資料 朝鮮通信使壇ノ浦懐古詩 波田嵩山朝鮮通信使唱酬詩 並筆語	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目〔赤間神宮・波田家〕 （歴史博物館寄託）	平成 27. 4. 21
亀山八幡宮「亀山能」 付能面三面・能面宮一合	無形文化財	中之町〔亀山能楽会〕	昭和 44. 10. 1
蓋井島「山ノ神」神事記録	有形民俗文化財	大字蓋井島〔藤永家他〕	昭和 47. 3. 25
能面・狂言面 付忌宮神社神事能規則書 旧長府藩能舞台棧敷割図	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕 長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 47. 5. 11
安養寺宝篋印塔	有形民俗文化財	大字吉見上〔安養寺〕	昭和 50. 2. 27
「内日五年神」の森	有形民俗文化財	大字内日上〔上田家〕	昭和 56. 2. 18
能面 付面箱	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 58. 12. 10
先帝祭	無形民俗文化財	阿弥陀寺町〔赤間神宮奉賛会〕	昭和 45. 3. 4
蓋井島「山ノ神」神事	無形民俗文化財	大字蓋井島	昭和 45. 10. 26
彦島八幡宮「サイ上り」神事	無形民俗文化財	彦島迫町五丁目〔彦島八幡宮〕	昭和 53. 10. 19
「内日五年神」神事	無形民俗文化財	大字内日上	昭和 56. 2. 18
小野一里塚	史跡	大字小野〔西川家（管理）〕	昭和 48. 3. 27
功山寺旧境内地付 伝大内義長の墓	史跡	長府川端一丁目 〔功山寺・歴史博物館〕	昭和 49. 3. 25
功山寺書院	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54. 3. 1
宮山古墳	史跡	幡生宮の下町〔生野神社〕	昭和 54. 8. 7
有富古墳	史跡	大字有富〔専徳寺〕	昭和 54. 8. 7
秋根 1 号墳	史跡	秋根西町一丁目〔秋根八幡宮〕	昭和 54. 8. 7
櫻山招魂場	史跡	上新地二丁目〔櫻山神社〕	平成 27. 4. 21
吉母海岸植物群落	天然記念物	大字吉母 〔西光寺・山口県漁業協同組合〕	昭和 44. 10. 1

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
彦島西山の化石層	天然記念物	大字彦島〔山口県〕	昭和 46. 7. 24
紙本着色八幡大菩薩縁起 付納箱	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目〔吉賀八幡宮〕 （歴史博物館寄託）	平成 12. 6. 12
操り人形面一対 付納箱	有形文化財（彫刻）	菊川町大字田部〔小河家〕	平成 15. 3. 14
巖島・浅間神社の梵鐘	有形文化財（工芸品）	菊川町大字轡井〔轡井自治会〕	平成 11. 3. 18
西光寺文書	有形文化財（古文書）	菊川町大字下保木〔西光寺〕	平成 12. 6. 12
上原遺跡出土品	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 4. 25
ガラス製勾玉鎔范	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝〔下関市〕	平成 13. 12. 20
植松古墳群	史跡	菊川町大字吉賀 〔下関市・笹尾家〕	平成 16. 3. 12
河内神社の夫婦杉	天然記念物	菊川町大字道市〔道市自治会〕	平成 13. 4. 25
快友寺のイヌマキ巨樹群	天然記念物	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 13. 4. 25
若宮石造宝塔	有形文化財（建造物）	豊田町大字中村〔下関市〕	昭和 51. 3. 31
吉敷毛利氏の祖 毛利秀包 夫人引地の墓	有形文化財（建造物）	豊田町大字江良〔松田家〕	昭和 51. 3. 31
石造豊田種長供養板碑	有形文化財（建造物）	豊田町大字殿敷〔一の瀬部落〕	昭和 51. 3. 31
紙本着色涅槃像及八相図	有形文化財（絵画）	豊田町大字日野〔日野自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 52. 10. 5
木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字鷹子〔鷹子自治会〕	昭和 54. 5. 1
木造薬師如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔光明寺〕	昭和 55. 5. 10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔舜青寺〕	昭和 56. 5. 11
木造不動明王立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造聖観音立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字柰路子〔修禅寺〕	昭和 57. 4. 8
木造愛染明王坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 59. 4. 10
木造神像及び本地仏像 8 軀 〔木造男神坐像 2 軀、 木造男女神坐像 2 軀、 木造十一面観音坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造阿弥陀如来坐像 1 軀、 木造虚空蔵菩薩坐像 1 軀〕	有形文化財（彫刻）	豊田町大字殿居〔巖島神社〕	昭和 61. 7. 10
懸仏残欠 2 軀 〔銅造阿弥陀如来坐像 1 軀 銅造如意輪観音半跏像 1 軀〕	有形文化財（工芸品）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 56. 5. 11
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 60. 4. 22
日幡神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	昭和 60. 4. 22
巖島神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字殿居・巖島神社	昭和 62. 9. 25
浮石の赤崎神社楽踊	無形民俗文化財	豊田町大字浮石・亀尾山神社	昭和 55. 5. 10
佐野の岩戸神楽舞	無形民俗文化財	豊田町大字佐野〔日幡神社〕	昭和 55. 5. 10
栄長院墓所	史跡	豊田町大字高山〔高山自治会〕	昭和 59. 4. 10

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
台の変花崗岩	天然記念物	豊田町大字今出〔渡辺家〕	昭和 58. 4. 18
殿敷、トロニエム岩	天然記念物	豊田町大字殿敷〔福本・藤本家〕	昭和 58. 4. 18
狗留孫山修禪寺の一本スギ	天然記念物	豊田町大字杣路子〔修禪寺〕	平成元. 1. 12
館ヶ浴のツバキ	天然記念物	豊田町大字殿敷〔柳瀬家〕	平成 3. 11. 1
日幡神社のナギノキ	天然記念物	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	平成 5. 2. 26
西八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊田町大字矢田〔西八幡宮〕	平成 5. 3. 2
華山のアセビ群生林	天然記念物	豊田町大字庭田〔下関市〕	平成 13. 12. 26
吉永八幡宮本殿	有形文化財（建造物）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	平成 13. 3. 30
木造大日如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
木造隨身倚像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 62. 3. 26
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54. 12. 1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	昭和 54. 12. 1
杜屋神社文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 54. 12. 1
永富家文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字川棚〔永富家〕	平成 4. 2. 17
古谷道庵日乗	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	平成 4. 2. 17
青井古墳群及び大迫古墳群 出土遺物	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚 〔黒井漁業協同組合〕	昭和 62. 3. 26
磯上遺跡出土の水晶石器	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
鑄鉄製鋤先	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚〔下関市〕	平成 4. 2. 17
大門古墳	史跡	豊浦町大字黒井〔窪田・三井田家〕	昭和 51. 7. 9
涌田青井の台場	史跡	豊浦町大字涌田 〔黒井漁業協同組合〕	昭和 51. 7. 9
泊ヶ鼻の台場	史跡	豊浦町大字室津下 〔室津漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
泊ヶ鼻祭祀場跡	史跡	豊浦町大字室津下 〔室津漁業協同組合〕	昭和 51. 10. 1
青井古墳群	史跡	豊浦町大字涌田後地	昭和 62. 3. 26
妙青寺庭園	名勝	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	平成 13. 3. 30
川棚神社のチシャノキ	天然記念物	豊浦町大字川棚〔川棚神社〕	昭和 62. 3. 26
角島灯台	有形文化財（建造物）	豊北町大字角島〔海上保安庁〕	平成 17. 1. 18
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字神田〔住吉神社〕	昭和 55. 2. 20
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字阿川上市〔海翁寺〕	昭和 56. 4. 22
江田家文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 55. 2. 20
徳蓮寺文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字神田上〔下関市〕	平成 17. 1. 26
滝部八幡宮の腰輪踊	無形民俗文化財	豊北町大字滝部	昭和 53. 6. 16
附野薬師の流灌頂	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔東山寺〕	昭和 55. 2. 20
阿川河内のカンコ踊り	無形民俗文化財	豊北町大字阿川河内	昭和 56. 4. 22
神田大川のみかがみ祭り	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 57. 4. 21
和久古墳	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 56. 4. 22
肥中台場跡	史跡	豊北町大字神田〔保井家〕	昭和 60. 2. 18

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
七神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔七神社〕	昭和 53. 12. 1
客神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 53. 12. 1
角島のハマオモト	天然記念物	豊北町大字角島夢崎〔下関市〕	昭和 53. 12. 1
寺畑のコジイ	天然記念物	豊北町大字北宇賀寺畑〔西島家〕	昭和 56. 4. 22
観涛園の俵石	天然記念物	豊北町大字神田〔来見田家〕	昭和 60. 2. 18
平畑のスタジイ	天然記念物	豊北町大字阿川平畑〔井原家〕	昭和 61. 4. 24

エ 登録有形文化財（建造物）・登録有形民俗文化財（建造物 34 件、民俗 1 件）

名称	種別	所在の場所等	指定年月日
下関市水道局内日第一貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日貯水池事務所	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場着水井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池付設調節井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局高尾浄水場配水池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局内日第二貯水池溢水隧道入口	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10. 1. 16
下関市水道局水道資料室 (旧日和山浄水場事務所)	建造物(生活関連)	長崎中央町	平成 10. 1. 16
下関市立長府博物館本館 (旧長門尊攘堂)	建造物(文化福祉)	長府川端一丁目	平成 11. 6. 7
下関南部町郵便局庁舎 (旧赤間関郵便電信局)	建造物(官公庁舎)	南部町	平成 13. 8. 28
護國寺本堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 15. 3. 18
護國寺清正公堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺納骨堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
護國寺門柱	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25. 12. 24
日本基督教団下関丸山教会 (旧日本メソヂスト下関教会) 会堂	建造物(宗教)	丸山町四丁目	平成 16. 2. 17
功山寺総門	建造物(宗教)	長府川端一丁目	平成 16. 7. 23
歌野清流庵	建造物(住宅)	菊川町上岡枝 郷ヶ原	平成 17. 7. 12
藤原義江記念館 (旧リンガー邸)	建造物(住宅)	阿弥陀寺町	平成 18. 11. 9
中野家住宅主屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅納屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅土蔵	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅塀	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
中野家住宅石垣	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18. 12. 19
めぐみ幼稚園第一園舎 (旧下関バプテスト教会)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
めぐみ幼稚園第二園舎 (旧宣教師住宅)	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19. 5. 15
大乘寺山門	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18
大乘寺鐘楼	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20. 4. 18

名称	種別	所在の場所等	指定年月日
日清講和記念館	建造物(文化福祉)	阿弥陀寺町	平成 23. 1. 26
蜂谷ビル(旧東洋捕鯨株式会社下関支店)	建造物(産業3次)	岬之町	平成 25. 3. 29
玉椿旅館	建造物(産業3次)	豊浦町大字川棚	平成 25. 3. 29
旧宮崎商館	建造物(産業3次)	田中町	平成 25. 12. 24
住吉神社楼門	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29. 7. 21
住吉神社唐門及び透塀	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29. 7. 21
豊北の漁撈用具	有形民俗文化財 (生産・生業)	豊北町大字神田上	平成 24. 3. 8

オ 重要美術品(3件)

名称	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
紙本墨書後陽成天皇宸翰御懐紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
紙本墨書霊元天皇宸翰御懐紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10. 12. 23
手鑑「筆陳」	長府川端二丁目〔歴史博物館〕	昭和 18. 10. 1

カ 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されたもの(1件)

名称	所在の場所等	指定年月日
蓋井島「山ノ神」神事	大字蓋井島	昭和 34. 3. 28

キ 下関市に所在する指定文化財等一覧(管内別)

文化財	有形文化財														無形文化財			民俗文化財				記念物					計	
	重要文化財														重要無形文化財			重要民俗文化財				記念物						
	国宝				重要文化財										県/市無形文化財			県/市民俗文化財				記念物						
	種別	建造物	絵画	工芸品	書跡	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	計	芸能	工芸	計	有形	無形	計	特別天然記念物	史跡	名勝	天然記念物	名勝及天然記念物		計
国	下関	2				2	1	2	4	3		2	1		17			0	1		1		7		3		10	28
	豊浦							1						1			0			0					3		3	4
	豊田					1								1			0			0				1	1	1	3	4
	豊北													0			0			0		1		2			3	3
	菊川													0			0			0							0	0
	計	2	0	0	0	2	2	3	4	3	0	2	1	0	19	0	0	0	1	0	1	0	8	1	9	1	19	39
県	下関	-	-	-	-	2	3	3		1	3	2	1	15		1	1		1	1	-	1		4		5	22	
	豊浦	-	-	-	-		1	1	1					3			0			0	-	2		1		3	6	
	豊田	-	-	-	-	1	1	1	1			1		5			0			0	-					0	5	
	豊北	-	-	-	-	1						1		2			0		1	1	-			3		3	6	
	菊川	-	-	-	-	1		1	1		1			4			0			0	-					0	4	
	計	-	-	-	-	5	5	6	3	1	1	3	4	1	29	0	1	1	0	2	2	-	3	0	8	0	11	43
市	下関	-	-	-	-	32	1	8	7	1		3	1	2	55	1		1	5	4	9	-	7		2		9	74
	豊浦	-	-	-	-	1		2	4			3	3	13			0			0	-	5	1	1		7	20	
	豊田	-	-	-	-	3	1	9	2				2	17			0		2	2	-	1		7		8	27	
	豊北	-	-	-	-	1			2			2		5			0		4	4	-	2		6		8	17	
	菊川	-	-	-	-		1	1	1			1	2	6			0			0	-	1		2		3	9	

計	-	-	-	-	37	3	20	16	1	0	9	6	4	96	1	0	1	5	10	15	-	16	1	18	0	35	147
合計	2	0	0	0	44	10	29	23	5	1	14	11	5	144	1	1	2	5	12	18	0	27	2	35	1	65	229

9 埋蔵文化財調査

(1) 平成 29 年度実施の埋蔵文化財調査実績

事業区分	本庁管内		菊川総合支所管内		豊田総合支所管内		豊浦総合支所管内		豊北総合支所管内		総合計		
	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	総件数
分布調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
試掘調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
確認調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
本発掘調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
工事立会	34	1	0	0	1	0	0	2	0	0	35	3	38
立会調査	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4
資料整理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
報告書作成	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
総件数	44	3	0	0	1	0	0	2	0	0	45	5	50

凡例（調査の区分）

分布調査：遺跡の分布を予察するための地表面観察を含む踏査。試掘調査：遺跡の有無を確認するための部分的な試し掘り。

確認調査：遺跡の詳細を確認するための部分的な試し掘り。本発掘調査：記録・保存を目的とした発掘調査。

工事立会：土木工事中の立会による遺跡の保存を目的とした記録作業。

立会調査：土木工事の施工に合わせて実施する遺跡の有無を確認するための記録作業。

資料整理：出土遺物の洗浄、復元等の室内整理作業。

報告書作成：本発掘調査に伴う成果とりまとめ作業。

その他：上記以外の調査、作業。（自然科学調査、地質調査、構造物調査等）

(2) 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）件数

平成 30 年 5 月 1 日現在

地域区分	合計	本庁管内	菊川総合支所管内	豊田総合支所管内	豊浦総合支所管内	豊北総合支所管内
周知の埋蔵文化財包蔵地件数	628	321	43	29	121	114

平成 29 年度は「丸小山遺跡」が発掘調査成果をもとに「丸小山墳墓群」に名称変更をしたほか「吉田馬場遺跡」が範囲拡大された。

新たに吉田地区において「吉田後田遺跡」「吉田植田遺跡」の 2 遺跡が新発見の遺跡として登録された。

(3) 平成 29 年度実施の愛護・普及活動

活動名	日時	参加者	内容
発掘速報展 「掘ったほ！下関 2017」	平成 29 年 7 月 1 日 ～平成 29 年 9 月 3 日	4,377 人	平成 28 年度に実施した下関市内遺跡の発掘調査成果などについて、下関市立考古博物館特別企画展示室にて出土した遺物を展示し、併せてパネルなどで遺跡の説明を行なった。また、展示解説会を 7 月 30 日、8 月 26 日の 2 日間、各日 2 回実施した。
丸小山遺跡発掘調査 現地説明会	平成 29 年 6 月 18 日	173 人	丸小山遺跡の発掘調査を実施した結果、2 基の古墳をはじめとする古墳時代の埋葬遺構を確認した。須恵器などの出土品とともに調査で得られた成果を一般に公開し、解説した。

活動名	日時	参加者	内 容
歴史講座 幕末の騒乱の中築城された 勝山御殿	平成 29 年 11 月 3 日	150 人	勝山地区まちづくり協議会主催による歴史講座について、教育委員会による後援により参画。 明治維新 150 年を控え、勝山地区の幕末史跡である「勝山御殿」について有識者による講演と、来場者を交えたパネルディスカッションによる歴史講座を実施した。

(4) 平成 29 年度刊行の埋蔵文化財関係印刷物

書名	体裁・部数	概 要
重武屋敷遺跡発掘調査報告書	A4 版 64 頁 300 部	平成 28 年度に実施した重武屋敷遺跡発掘調査の調査成果について、整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行した。
勝山御殿跡調査成果報告書	A4 版 200 頁 300 部	平成 14 年度から平成 21 年度に実施した勝山御殿跡の調査成果について取りまとめ、平成 22 年に刊行した概要版について、改めて詳細な記録を取りまとめ刊行した。
下関市埋蔵文化財年報 9	A4 版 68 頁 300 部	平成 28 年度の埋蔵文化財調査業務内容を報告し、埋蔵文化財調査の概要を 14 件掲載した。

(5) 平成 29 年度実施の主な埋蔵文化財発掘調査成果概要

遺跡名	調査対象地	調査期間	調査原因	調査の概要
丸小山遺跡 発掘調査	下関市 大字延行 字幸地ヶ森	平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 29 年 6 月 30 日	宅地造成	宅地造成工事に伴い、本発掘調査を実施した。調査の結果、確認調査時に確認された横穴式石室を伴う円墳 1 基のほかにも多数の鉄製品が副葬された古墳 1 基、土器棺墓や土坑墓など、古墳時代前期から後期にかけての埋葬遺構が確認され、これまでの遺跡の評価を大きく変える調査成果が得られた。特に鉄製品が副葬された古墳は、川中地域の有力者の墓であったと考えられ、下関市域の古墳時代を考える上で非常に重要な資料が得られた。
綾羅木郷台地 遺跡（石仏地 区） 工事立会	下関市 大字綾羅木 字石仏	平成 29 年 4 月 28 日～ 平成 29 年 5 月 25 日	墓地造成	墓地造成に伴い、工事立会を行った。調査の結果、近世墓が約 50 基確認された。多くの墓坑からは六文銭（寛永通宝）や鉄製毛抜や鈇、数珠、陶磁器といった副葬品とともに、人骨が出土した。これらの出土資料は本市の江戸時代の社会構造や埋葬習俗はもちろん、江戸時代人の形質的な特徴を明らかにするうえでも貴重な事例となった。
坂磯遺跡・秀波 古墳群 試掘・確認調査	下関市 秋根上町	平成 29 年 6 月 12 日～ 平成 29 年 12 月 19 日	土地区画整理 事業	土地区画整理事業計画に伴い、計画対象地内の「坂磯遺跡」「秀波古墳群」ほかの埋蔵文化財の分布状況を把握するため、試掘・確認調査を実施した。調査の結果、「坂磯遺跡」の分布範囲では、中世以前の時期に属する柱穴や土坑などの遺構分布を確認した。またこれまで埋蔵文化財包蔵地外であった北側の尾根沿いに集石墓や石造物、墓標などの埋葬遺構を確認し、出土した近世陶磁器や一石五輪塔などから中世後半から近世の墓域の分布が想定される。また幕末期の「上山北ノ鼻砲台跡」について遺構の形状把握および記録作成作業を実施した。

茶臼山古墳 確認調査	下関市 富任町7丁目	平成29年 9月1日～ 平成29年 10月27日	宅地造成	宅地造成計画に伴い、周知の埋蔵文化財包蔵地「茶臼山古墳」が影響を受ける可能性があるため、工事に先立ち、対象地の遺構分布の有無について確認調査を実施した。調査の結果、対象地は明治時代以降の土地改変が著しく、茶臼山古墳の一部とされていた石材は、現代の土地造成の過程で、現地点に二次的に置かれた石材であることが判明し、その他の遺構分布も認められなかった。特記事項として、大正時代の瓦生産に伴うとみられる多量の窯道具類や瓦が出土し、対象地ないしその近傍で瓦生産が行われていたことが明らかとなった。
綾羅木郷台地 遺跡（木船地 区）工事立会	下関市 大字綾羅木 字木船	平成29年 12月6日～ 平成30年 2月28日	戸建住宅建築	個人住宅建設に伴う工事立会を実施し、弥生時代前期の貯蔵用堅穴群を確認した。貯蔵用堅穴の内部からは多数の弥生土器が出土し、出土状況から貯蔵用堅穴の埋没過程で、弥生土器を複数回に分けて廃棄している状況などを確認した。

(6) 史跡管理・保存活用

活動名	日時	内 容
平成29年度 長門鑄銭所跡出土遺物保存活用	平成29年5月9日～ 平成30年3月30日	平成22年度に「長門鑄銭所跡」において出土した鑄銭関連遺物のうち、木簡資料40点について、適切な保存と価値付けを目的として、専門機関への委託により、保存処理等を実施した。併せて、銅銭、埴埴付着物、スラグ等の鑄銭関連遺物についても理化学分析・検討を実施した。
丸小山遺跡出土鉄製品保存処理委託業務	平成29年12月27日～ 平成30年3月30日	丸小山遺跡発掘調査で出土した鉄鏃等金属製品の一部について、委託業務による保存処理を実施した。



丸小山遺跡発掘調査



綾羅木郷台地遺跡（木船地区）工事立会



秀波古墳群ほか試掘・確認調査



茶臼山古墳確認調査



IV その他資料

1 教育委員会

(1) 機構及び事務分掌

(平成30年4月1日現在)



(2) 職員配置

(単位：人)

	平成 29 年度	平成 30 年度	内 訳						
			事 務	技 術	校 務 技 士	調 理 員	指 導 主 事	教 員	
事務部局の職員	331	320	110	7	30	74	20	79	
事務局	106	109	80	7	2	0	20	0	
内 訳	教育部（教育長を含む）	4	5	5					
	教育政策課	7	8	7	1				
	学校教育課	15	15	5				10	
	教育研修課	10	10	2				8	
	学校支援課	13	13	6	5	2			
	学校保健給食課	9	9	8	1				
	生涯学習課	11	12	11				1	
	文化財保護課	10	10	10					
	体育課	/	/	/	/	/	/	/	/
	図書館政策課	5	5	5					
	菊川教育支所	6	6	5				1	
	豊田教育支所	4	5	5					
	豊浦教育支所	7	6	6					
豊北教育支所	5	5	5						
学 校	193	186	5	0	28	74	0	79	
内 訳	幼稚園	41	36					36	
	小学校	73	72			13	59		
	中学校	30	29			14	15		
	高等学校	49	49	5		1		43	
学校以外の教育機関	32	25	25	0	0	0	0	0	
内 訳	公民館	0	0						
	南部調理場	1	1	1					
	中部調理場	9	1	1					
	豊田調理場	0	0						
	豊浦調理場	0	1	1					
	黒井調理場	0	0						
	滝部調理場	0	0						
	歴史博物館	7	7	7					
	考古博物館	4	4	4					
	図書館	0	0						
	豊田ホテルの里ミュージアム	1	1	1					
	美術館	6	5	5					
土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	4	5	5						

各年度4月1日現在。再任用短時間職員を除く。

(3) 教育費予算

(単位：千円、%)

款	項	目	平成 30 年度			平成 29 年度	
			当初予算額	構成比	対前年比	当初予算額	構成比
教育費			7,924,124	100.0	94.1	8,420,995	100.0
		教育総務費	1,039,653	13.1	99.8	1,041,545	12.4
		教育委員会費	21,159	0.3	100.1	21,133	0.3
		事務局費	1,018,494	12.9	99.8	1,020,412	12.1
		小学校費	1,381,596	17.4	105.9	1,304,334	15.5
		学校管理費	1,111,088	14.0	107.0	1,038,244	12.3
		教育振興費	270,508	3.4	101.7	266,090	3.2
		中学校費	717,850	9.1	104.9	684,243	8.1
		学校管理費	509,008	6.4	109.5	464,923	5.5
		教育振興費	208,842	2.6	95.2	219,320	2.6
		高等学校費	599,970	7.6	100.5	597,188	7.1
		高等学校総務費	490,015	6.2	97.0	504,930	6.0
		高等学校管理費	83,596	1.1	126.5	66,106	0.8
		教育振興費	26,359	0.3	100.8	26,152	0.3
		幼稚園費	45,393	0.6	73.3	61,893	0.7
		幼稚園費	45,393	0.6	73.3	61,893	0.7
		社会教育費	1,949,455	24.6	102.5	1,902,563	22.6
		社会教育総務費	686,773	8.7	103.9	660,760	7.9
		青少年対策費	47,597	0.6	102.3	46,522	0.6
		文化財保護費	103,113	1.3	94.4	109,253	1.3
		公民館費	158,676	2.0	105.5	150,418	1.8
		図書館費	284,778	3.6	99.1	287,337	3.4
		博物館費	281,566	3.6	91.9	306,255	3.6
		美術館費	167,985	2.1	131.0	128,213	1.5
		生涯学習施設費	218,967	2.8	102.4	213,805	2.5
		保健体育費	1,972,838	24.9	75.5	2,612,269	31.0
		保健体育総務費	895,210	11.3	90.0	994,635	11.8
		体育振興費	87,521	1.1	86.3	101,423	1.2
		体育施設費	339,309	4.3	38.1	890,514	10.6
		学校給食共同調理場費	650,798	8.2	104.0	625,697	7.4
		大学費	217,369	2.7	100.2	216,960	2.6
一般会計			114,285,000	100.0	96.1	118,900,000	100.0
教育費			7,924,124	6.9	94.1	8,420,995	7.1

(注) 四捨五入の関係で、構成比が合計の数字と一致しない場合がある。

2 教育年譜

明治	22年	1889年	4月	市制施行、赤間関市誕生
	32	1899	1	赤間関幼稚園（現市立第一幼）開園
	35	1902	6	下関市と改称、赤間関商業学校を市立下関商業学校と改称
	38	1905	5	市立下関高等女学校開校（現下関南高、昭和3年県移管）
	39	1906	8	英国領事館（現旧下関英国領事館）上棟
	42	1909	4	名池小学校開校、市立第二幼稚園開園
			8	豊浦（長府）図書館開館
			10	市立第三幼稚園開園
	43	1910	4	市立下関実業補修学校開校（現下関中央工高）
大正	2	1913	-	梶栗浜遺跡から多紐細文鏡と細形銅剣を発掘
	3	1914	6	梅光女学院開校
	4	1915	4	桜山小学校開校
	9	1920	4	市立下関中学校開校（現下関西高）
	11	1922	3	市立第四幼稚園開園
	15	1926	7	下関商業学校、現在地へ移転
昭和	3	1928	9	向山小学校開校
	8	1933	10	桂 弥一、長門尊攘堂創建（現長府博物館）
	10	1935	4	安岡町役場（現安岡考古資料室）新築
	12	1937	6	日清講和談判記念館（現日清講和記念館）開設
	15	1940	7	市立下関図書館開館
	20	1945	6	空襲罹災、桜山・菁莪・生野・蓋井国民学校、第一・第四幼稚園、下関女子商業学校、梅光女学院、阿部高等技芸女学院、下関盲啞学校
			8	太平洋戦争終結、名池国民学校全焼
	21	1946	5	農林省水産講習所下関分所開設（現水産大学校）
	22	1947	4	新学制、新制中学校発足、第一中学校（現日新中）、第二中学校（現文洋中）、彦島中学校、長府中学校、東部中学校、安岡中学校、吉見中学校、王喜中学校、吉田中学校、内日中学校、北部中学校
	23	1948	4	第三中学校（現名陵中）開校、小月幼稚園開園
				新制高等学校発足、下関高等学校（現下関西高）、下関女子高等学校（現下関南高）、豊浦高等学校、長府女子高等学校（現長府高）、下関工業高等学校、下関実業高等学校（現下関中央工高）、下関商業高等学校、梅光女学院高等学校、早鞆高等学校、河野学園高等学校（現下関女子短期大学附属高等学校）
			7	第1回下関美術展開催
	24	1949	4	北部中学校分離、川中中学校と勝山中学校となる
			6	新制大学発足、山口大学農学部開設
			10	下関球場完成
	25	1950	4	西山小学校開校
			11	市民館（現文化会館）、公民館（現中央公民館）完成
	27	1952	6	下関図書館彦島分館開館
			11	市教育委員会発足、委員長 浅尾逸司
	28	1953	11	国宝指定（功山寺仏殿・住吉神社本殿）
	30	1955	4	神田小学校・玄洋中学校開校
	31	1956	2	市史編修委員会発足
			4	下関商業短期大学開学、角倉小学校開校
	33	1958	7	下関陸上競技場完成
			8	第11回全国高等学校陸上競技対抗選手権（インターハイ）開催

昭和	33年	1958年	12月	吉見公民館開館
	34	1959	4	向洋中学校開校
			10	日独交歓陸上競技大会開催
	35	1960	4	市営庭球場設置
			10	小月公民館開館
	36	1961	5	下関商業高等学校と鹿児島商業高等学校が姉妹校となる
			6	市民学級講座開講
	37	1962	4	下関市立大学開学、市立（現在県立）下関第一高等学校開校
	38	1963	4	第35回選抜高校野球大会で下関商業高等学校優勝
			8	第45回全国高校野球選手権大会で下関商業高等学校準優勝
			9	下関市体育館開設
			10	第18回山口国体秋季大会開催
			12	長府公民館開館
	39	1964	6	下関電子工業高等学校開校（現下関国際高校）
	40	1965	4	江浦幼稚園開園
			7	弥生遺跡綾羅木郷台地の発掘調査開始、川中公民館開館（現川中公民館分館）
			10	安岡公民館開館
	41	1966	4	山の田小学校、木屋川中学校（王喜・吉田両中の統廃合）開校
			8	第1回日韓親善関釜両市高校生交歓事業発足
	42	1967	9	長府図書館全面改築
	43	1968	8	全日本高校ハンドボール選手権大会で下関中央工業高校優勝 （以後44年、51年、52年優勝）
	44	1969	3	綾羅木郷遺跡緊急史跡指定
			4	山の田中学校、川中西小学校開校、生野・清末幼稚園開園
				下関市文化会館開館
			6	市指定文化財第1号の指定（蓮台寺木造十一面観音坐像）
			10	下関図書館移転改築完成
	45	1970	5	下関考古館開館、王司公民館開館
	46	1971	4	向山幼稚園開園、彦島公民館開館
			8	第1回関釜親善陸上競技大会開催、移動図書館業務開始
	47	1972	4	南部学校給食共同調理場完成、清末・内日公民館開館
			6	下関市武道館設置
	48	1973	3	市立青年の家完成
			4	川中西幼稚園開園、王喜・勝山公民館開館
	49	1974	1	彦島中学校火災
			3	全国子ども音楽コンクールで玄洋中学校全国1位（以後53年1位）
			4	桜山・第五幼稚園開園
			7	長府運動場完成、北部公民館開館
			10	桜山小学校六連分校廃校、彦島武道館開館
	50	1975	12	毎日音楽コンクールで安岡小学校全国1位
	51	1976	3	小月武道館完成
			7	市民プール完成
			10	下関市・韓国釜山直轄市姉妹都市盟約締結
			11	吉田公民館開館
	52	1977	1	全国合奏コンクールで下関西高校全国1位
			3	吉見武道館設置

昭和	52年	1977年	4月	彦島運動場設置	
			5	下関市民会館完成	
			7	吉見公民館移転改築	
	53	1978	3	長府武道館設置	
			4	川中幼稚園開園、吉母公民館開館 教育委員会が庁舎第一別館（旧逋信省下関電信局電話課庁舎）に移転	
	54	1979	4	長府小学校開校、西部公民館開館	
			8	第9回全国中学校バスケットボール選抜大会で彦島中学校優勝	
			10	下関市・中国山東省青島市友好都市締結	
	55	1980	4	玄洋・吉見中学校移転改築、長府博物館市移管（財団法人より）	
			10	下関・青島市不定期航路就航（日中友好の船「ユートピア号」）	
			12	川中武道館開館	
	57	1982	4	向井・垢田小学校開校、西山・垢田幼稚園開園、下関市弓道場開設	
9			蓋井小学校水泳プール完成（市内全小学校に設置完了）		
58	1983	4	下関市長府体育館開館		
		6	玄洋公民館開館		
		11	下関市立美術館開館		
		4	下関商業高等学校校舎全面改築完了		
59	1984	6	長州砲が120年ぶりにフランスから里帰り（博物館展示）		
		10	下関商業高等学校創立100周年記念		
		11	川中西小学校と中国山東省青島市上清路小学校が友好校締結 日新中学校と中国山東省青島市第17中学校が友好校締結 下関商業高等学校と中国山東省青島市第一職業高級中学校が友好校締結		
		4	垢田中学校開校		
		5	北運動公園に下関第二球場開設		
60	1985	10	中国青島市教育考察団来関		
		11	下関市青少年健全育成市民会議発足		
		4	一の宮小学校開校		
		8	全国高校総体開催（バドミントン・ウエイトリフティング・弓道）		
		10	下関商業高等学校と韓国釜山直轄市釜山商業高等学校（現 開成高等学校）が姉妹校調印		
62	1987	8	下関相撲場開設		
63	1988	3	豊浦幼稚園舎全面改築完了		
		7	北運動公園に新下関球場開設		
		11	内日中学校水泳プール完成（市内全中学校に設置完了）		
平成	元	1989	4	下関市制施行100周年記念、彦島体育館開館、森の家下関オープン	
			8	下関市彦島庭球場開設	
			12	“あるかぼ〜と下関”起工	
	2	1990	1	下関市立大学と韓国釜山直轄市東義大学が姉妹校調印	
			4	熊野小学校開校 長成中学校開校 下関市立大学学術センター完成 中部学校給食共同調理場完成	
			7	彦島図書館開館	
			3	3	教員委員会が庁舎第一別館から教員委員会棟（旧水道局庁舎）に移転
			4	4	下関アーチェリー場開設 下関市垢田体育館開設
	3	1991	5	仁馬山古墳が国指定史跡となる	

平成	3年	1991年	7月	第1回下関市中学校海外派遣研修（韓国）
			9	台風17、19号により学校諸施設に多数の被災を受ける
			10	下関図書館コンピュータ化に着手
	4	1992	3	史跡綾羅木郷遺跡の西地区を古墳の森として整備 向洋町スポーツセンターテニスコート全天候型に改修完了
			6	川中公民館移転改築
			9	学校週5日制スタート
	5	1993	8	第41回日本海洋少年団全国大会開催 （常陸宮殿下、同妃殿下来関）
			10	吉見体育館開設
	6	1994	3	下関商業高等学校図書館改築
			4	下関市立下関・長府・彦島各図書館コンピューター処理開始 北運動公園庭球場設置
	7	1995	1	生涯学習推進本部設置
			5	下関市立考古博物館開館 （三笠宮殿下・同妃殿下来関）
	8	1996	10	一の宮児童クラブ（別棟教室）開設
	9	1997	4	下関市体育館リニューアルオープン
			5	長府東公民館開館
			8	「下関市生涯学習まちづくり推進基本構想」策定
			10	熊野児童クラブ（別棟教室）開設
	10	1998	4	下関市民会館リニューアルオープン 財団法人下関市文化振興財団発足
			10	下関陸上競技場リニューアルオープン
	11	1999	5	旧下関英国領事館が重要文化財に指定
	12	2000	3	勝山児童クラブ（別棟教室）改築
			5	小月公民館リニューアルオープン
			12	「下関市生涯学習まちづくり推進プラン」策定
	13	2001	4	児童・ふれあいクラブが保健福祉部こども課に移管 火の山ユースホステルが産業経済部観光施設課に移管 下関市立しものせき水族館「海響館」オープン 「唐戸市場」リニューアルオープン
			10	移動図書館車「ともしび号」にかわり、新車「ブックル」で運行開始
	14	2002	4	社会教育課同和教育係の事務を人権啓発課に移管 青少年課の係を廃止 第54回国際捕鯨委員会（IWC）年次会合開催
	15	2003	4	北九州市との図書館広域利用開始
			10	第18回世界宇宙飛行士会議・コミュニティデーin下関開催
			11	下関市フットサル場完成
	16	2004	6	文化課の係を廃止し、文化課を文化財保護課に改める
	17	2005	2	下関市と豊浦郡4町が合併し、新しい下関市が誕生する 菊川、豊田、豊浦、豊北の各教育支所を設置する
			4	豊浦中学校と宇賀中学校を統合し、夢が丘中学校を開校
			10	図書館のコンピュータシステム統合
	18	2006	4	小野ふれあいセンター開館 豊北第一中学校・豊北第二中学校・豊北第三中学校・角島中学校を統合し、豊北中学校を開校

平成	18年	2006年	9月	下関球場スコアボード電光掲示板供用開始
	19	2007	10	第28回国際・全日本マスターズ陸上競技選手権山口（下関）大会開催
	20	2008	3	「下関市子どもの読書活動推進計画」策定
			4	教育委員会機構改革 総務課を教育政策課と学校支援課へ分割 学校教育課を学校教育課と学校安全課に分割 指導課を廃止し学校教育課内に教育研修室を設置 社会教育課と青少年課を生涯学習課として統合 教育支所の課を廃止
	21	2009	4	幼保一体化施設「西市こども園」、「豊北こども園」開園
			5	彦島公民館リニューアルオープン
			11	下関図書館閉館
	22	2010	1	鳥山民俗資料館が下関市川棚温泉交流センター内に移転、開館
			3	生涯学習プラザ開館 中央図書館開館
			4	川中中学校が伊倉新町の新校舎に移転
			6	東行記念館開館
			8	長州藩下関前田台場跡（前田砲台）が国指定史跡となる
	23	2011	2	教育委員会が教育委員会棟から上田中町庁舎（旧下関図書館）に移転
			4	教育委員会機構改革 教育部を設置 体育課の事務（学校体育を除く）を観光交流部スポーツ振興課に移管し、体育課を廃止 長府博物館、東行記念館を文化財保護課に移管 鳥山民俗資料館及び豊北歴史民俗資料館を人類学ミュージアムに移管 学校安全課内に生徒指導推進室を設置
			11	豊北歴史民俗資料館リニューアルオープン
	24	2012	4	豊田西中学校と豊田東中学校を統合し、豊田中学校を開校
	25	2013	4	下関商業高等学校の新講堂が竣工
	26	2014	2	勝山公民館リニューアルオープン
			3	神田公民館廃止
			4	第二、第四、桜山、檜崎幼稚園を廃園
			8	全国コミュニティ・スクール研究大会 in 下関開催
			12	豊浦図書館が豊浦総合支所2階にリニューアルオープン
	27	2015	3	「下関市子どもの読書活動推進計画（第二次）」策定 三豊、二見、田耕小学校を閉校
			4	西市公民館開設
			5	第1回下関市総合教育会議開催 「下関市教育振興基本計画（下関市教育大綱）」策定
			7	第23回世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラム開催
	28	2016	3	下関市教育センターオープン 教育委員会が上田中町庁舎から下関市教育センターに移転 殿居小学校を閉校
			4	教育委員会機構改革 教育研修室を廃止し、教育研修課を設置 生徒指導推進室を学校安全課内から学校教育課内に移管 歴史博物館を設置、学校安全課を組織改正し、学校保健給食課の設置

平成	28年	2016年	5月	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
			10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞
			11	下関市立歴史博物館開館
29	2017	3	神田小学校（西神田町）を閉校	
		4	関門海峡が「関門ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として日本遺産に認定	
		10	NHK全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞（2年連続） 「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記録」に登録	
30	2018	3	「下関市立図書館基本計画」策定	
		4	旧菊川体育館を菊川中学校体育館として学校支援課に移管	

教 育 要 覧

平成 30 年度

発行：下 関 市 教 育 委 員 会
〒751-0830

山口県下関市幡生新町 1-1 下関市教育センター

編集：下関市教育委員会 教育部 教育政策課
T E L 0 8 3 - 2 3 1 - 1 5 6 0